諸 会 議 報 告

会	議	名	令和5年第2回カリキュラム評価委員会
開	催	日	令和6年3月27日 (水)
報	告	者	藤 永 教 授

議題・報告事項・連絡事項及び要旨

議題

1. 共用試験 CBT 過去3年分の結果について・・・資料 No. 1-1、1-2

議長より資料 No. 1 に基づき説明があった。2023 年度は生体物質の代謝、代謝障害、乳房において、正答率70%を切っていた。

関連して、医学教育研修センターの中島教員から資料 No. 1-2 に基づいて、入試における生物選択の有無による医学の学修への影響について分析した結果、生物選択の影響が見られるのは1年次のみであり、2年次以降にはその影響が弱まること、また非選択者のほとんどは単位修得に必要な学力を有していることの報告があり、全体へのサポートは不要だが、下位10名程度の生物非選択者へのサポートをすることは可能との報告があった。

また、生体物質の代謝に関連して、生化学について種々意見等をいただき、今後の改善に生かしていくこととした。

2. 共用試験 OSCE 過去3年分の結果について・・・資料 No. 2

議長より資料 No. 2 に基づき説明があった。機構での集計方法が変わったため単純な比較は難しいが、 例年同様、患者への配慮や身体診察において「A」評価での合格の割合が高い旨、説明があった。 6 年生 OSCE については、例年並みの成績である旨、報告があった。

3. 医学科における進級状況について・・・資料 No. 3

議長より資料No.3 に基づき説明があった。留年者数は例年とほぼ同じ程度であり、1、2年でメンタル的に不調となってしまうという傾向が続いている旨、報告があった。

4. 医学科 5・6 年生における医学生としての能力について・・・資料 No.4

議長より資料 No.4 に基づき説明があった。いずれの項目においても5年生よりも6年生の方ができていると回答しており、臨床実習を経て、医学科生としての能力が身に付いていることが示されている旨、説明があった。

5. カリキュラム (2、3年) についての検証・分析と評価・・・資料 No.5

議長より資料 No. 5 について説明があった。2年生はカリキュラムについて全体の80%以上が満足、おおむね満足の回答があったこと、3年生は2年生と比較するとやや不満が多く、授業内容や試験の頻度等について意見等が寄せられている旨、説明があった。

- 6. 令和5年度前期授業における点検と評価・分析について・・・資料 No.6
- 議長より資料 No. 5 について説明があった。授業アンケートの回収率が、学年が上がると低くなっているため、アンケート協力をお願いしたい旨、説明があった。
- 7. 信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価の実施について・・・資料 No.7

議長より資料 No. 7 について説明があった。点検の結果、各項目については概ね良好であるとした。 資料 No. 7-10 について、医学教育研修センターにおいて県内研修医と直接面談する取り組みを行い、取りまとめたものであり、本学のカリキュラムで学んだことが生かされている、学生生活について満足であった旨の回答を得られている旨、報告があった。

※協議を要する事項

なし

CBTの出題数と正答率

	コマカリ内容	2023	3年度	2022	2年度	2021年度	
	コアかり内容	出題数	正答率	出題数	正答率	出題数	正答率
A-1	プロフェッショナリズム	228	89.0%	251	81.3%	269	89.2%
A-2	医学知識と問題対応能力	21	76.2%	26	84.6%	21	85.7%
A-3	診療技能と患者ケア	84	84.5%	81	86.4%	65	89.2%
A-4	コミュニケーション能力	183	85.2%	178	85.4%	180	85.6%
A-5	チーム医療の実践	49	81.6%	76	81.6%	52	92.3%
A-6	医療の質と安全の管理	246	83.3%	292	81.2%	301	86.0%
A-7	社会における医療の実践	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し
A-8	科学的探究	7	71.4%	13	100.0%	9	77.8%
A-9	生涯にわたって共に学ぶ姿勢	14	100.0%	27	85.2%	47	93.6%
B-1-1)	統計の基礎	10	80.0%	0	出題無し	2	100.0%
B-1-2)	統計手法の適用	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し
B-1-3)	根拠に基づいた医療 <ebm></ebm>	0	出題無し	0	出題無し	9	88.9%
B-1-4)	疫学と予防医学	487	77.0%	572	78.5%	540	75.0%
B-1-5)	生活習慣とリスク	163	79.8%	198	82.8%	183	82.0%
B-1-6)	社会・環境と健康	170	80.6%	173	79.8%	196	84.7%
B-1-7)	地域医療•地域保健	286	71.0%	279	74.9%	324	75.9%
B-1-8)	保健・医療・福祉・介護の制度	299	76.3%	343	77.0%	347	72.0%
B-1-9)	国際保健	13	76.9%	9	88.9%	10	100.0%
B-2	法医学と関連法規	234	80.3%	313	76.4%	263	79.1%
B-3	医学研究と倫理	2	100.0%	1	0.0%	14	64.3%
B-4	医療に関連のある社会科学領域	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し
C-1	生命現象の科学	197	83.8%	200	78.0%	226	80.5%
C-2-1)	細胞の構成と機能	267	70.0%	354	67.5%	321	71.7%
C-2-2)	組織・各臓器の構成、機能と位置関係	368	74.2%	390	70.5%	397	76.1%
C-2-3)	個体の調節機構とホメオスタシス	418	71.1%	442	70.1%	427	76.1%
C-2-4)	個体の発生	414	73.2%	502	67.5%	517	75.2%
C-2-5)	生体物質の代謝	420	63.8%	474	65.6%	478	73.6%
C-3-1)	生体と微生物	412	75.5%	470	77.0%	466	80.9%
C-3-2)	免疫と生体防御	445	78.4%	514	70.2%	554	73.1%
C-3-3)	生体と薬物	387	79.6%	430	80.2%	390	81.3%
C-4-1)	遺伝的多様性と疾患	189	80.4%	219	76.3%	204	79.9%
C-4-2)	細胞傷害・変性と細胞死	84	75.0%	118	71.2%	118	81.4%
C-4-3)	代謝障害	51	68.6%	79	72.2%	79	73.4%
C-4-4)	循環障害、臓器不全	91	82.4%	102	77.5%	106	81.1%
C-4-5)	炎症と創傷治癒	86	76.7%	76	73.7%	94	83.0%
C-4-6)	腫瘍	303	75.2%	325	80.6%	343	80.8%
C-5	人の行動と心理	28	60.7%	25	52.0%	0	出題無し

コアカリ内容		2023	3年度	2022	2年度	2021	.年度
	コアカウド)合	出題数	正答率	出題数	正答率	出題数	正答率
D-1	血液・造血器・リンパ系	482	79.9%	563	79.8%	567	83.2%
D-2	神経系	832	79.0%	944	76.0%	944	81.5%
D-3	皮膚系	321	80.1%	407	77.1%	404	80.7%
D-4	運動器(筋骨格)系	435	73.8%	459	77.1%	467	80.9%
D-5	循環器系	832	78.8%	944	77.0%	944	79.4%
D-6	呼吸器系	832	82.0%	944	81.5%	944	80.0%
D-7	消化器系	832	79.0%	944	76.9%	944	77.9%
D-8	腎・尿路系 (体液・電解質バランスを含む)	421	77.4%	467	78.6%	442	76.7%
D-9	生殖機能	326	76.7%	358	76.8%	400	80.0%
D-10	妊娠と分娩	231	70.6%	298	71.1%	299	70.6%
D-11	乳房	164	68.9%	175	73.7%	173	76.9%
D-12	内分泌·栄養·代謝系	511	77.3%	537	80.3%	540	81.7%
D-13	眼•視覚系	420	78.3%	511	74.0%	475	81.5%
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系	412	80.1%	433	76.0%	469	78.3%
D-15	精神系	437	82.2%	512	83.6%	484	83.7%
E-1	遺伝医療・ゲノム医療	27	81.5%	29	82.8%	23	78.3%
E-2	感染症	1003	77.3%	1190	75.6%	1200	81.6%
E-3-1)	腫瘍の定義・病態	88	86.4%	100	82.0%	74	82.4%
E-3-2)	腫瘍の診断	105	84.8%	131	71.8%	95	75.8%
E-3-3)	腫瘍の治療	257	75.9%	275	80.4%	267	81.3%
E-3-4)	腫瘍の診療の基本的事項	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し
E-3-5)	腫瘍各論	832	80.9%	944	79.0%	944	83.2%
E-4	免疫・アレルギー	634	86.8%	669	84.5%	665	85.0%
E-5	物理・化学的因子による疾患	266	81.6%	243	83.1%	249	82.3%
E-6	放射線の生体影響と放射線障害	106	84.0%	159	69.2%	150	76.7%
E-7	成長と発達	455	79.1%	483	75.4%	504	79.8%
E-8	加齢と老化	234	82.5%	301	76.1%	278	83.1%
E-9	人の死	176	83.5%	202	85.1%	301	82.7%
F-2	基本的診療知識・臨床推論	1435	77.9%	1646	74.4%	1651	79.3%
F-3	基本的診療技能	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し

カリキュラム評価委員会 (R6.03.27) 資料No.1-2

高校生物が医学科の学修に与える影響の調査

医学教育研修センター

高校生物が医学科の学修に与える影響の調査

< 背景>

- 生物学は医学の土台となる学問であり、医学科基礎系科目の多くと強く関連する。
- 一方、医学生の約7割は生物を選択しておらず、その修得に苦労していることが推測される。
- しかし、生物選択か否かが、どの程度医学の学修に影響しているかは不明である。

<目的>

• 高校生物の選択者と非選択者の間で、医学科入学後の学修に差があるかを調査すること。

<解析方法>

- 2016~2023年度に本学科へ入学した学生(16M~23M)を対象とした。
- 入試の理科選択科目が、生物・化学(⇒生物群)か物理・化学(⇒物理群)かで 2群に分けた。 (生物・物理選択者は2~3年に1人程度のため除外。留年者も除外。)
- 生物群と物理群の間で、下記に示す生物系科目の評価素点(再試前の評価点)に差があるかを 統計学的に調査した。2群間の比較はマン・ホイットニーのU検定により行った。
- 解析科目:

Ⅰ年前期・・・・ヒト生物学Ⅰ、生化学、生物学A(選択科目)

| 1年後期・・・ヒト生物学2、ゲノム・染色体・遺伝子、発生学総論/再生医学

2年前期 … 薬理学総論

以下、旧カリキュラム

2年後期 · · · 生理学演習·実習(器官系)、同(統御系)、生化学演習·実習 |

3年前期 · · · 薬理学演習·実習

<結果> 次ページのグラフもご覧ください。

- [|年前期]「ヒト生物学|」、「生化学」、および「生物学A」の評価点は、いずれも生物群の方が物理群よりも有意に高かった。
- [| 年後期] 「ヒト生物学2」と「発生学総論/再生医学」の評価点は、生物群の方が物理群よりも有意に高かった。一方、「ゲノム・染色体・遺伝子」では、2群間に差はみられなかった。
- [2年前期] 「薬理学総論」では、生物群と物理群の間に差はみられなかった。
- [旧カリキュラム] 2年次の「生理学(器官系)」・「生理学(統御系)」・「生化学」、および3年次の「薬理学」では、いずれも生物群と物理群の間に差はみられなかった。

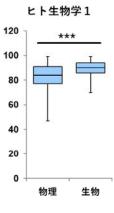
<まとめ>

- 1年次では、6科目中5科目で生物選択者の方が非選択者よりも成績が良い傾向がみられた。 一方、2年次以降の科目では生物選択の優位性はみられなかった。このことから、生物選択の影響がみられるのは1年次であり、2年次以降にはその影響は弱まることが示唆された。
- 1年次には生物選択の優位性がみられたが、非選択者のほとんど(8割以上)は単位修得に必要な学力を有しており、学修に苦労する者は限定的であることが示唆された。

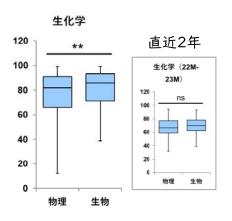
<今後の方針案>

- 現状、全体に対して新たなサポートを行う必要性は低いと考えている。
- 一方、下位10名程度の学生に対しては、ゼミ形式でサポートすることは可能である。

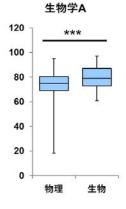
l 年前期



N = 350 vs 127(20M-23M)



N = 350 vs 127(20M-23M)

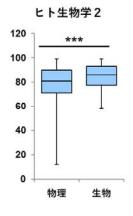


N = 291 vs 117(20M-23M)

<箱ヒゲ図> 箱: 中央の横線は 中央値、上・下端は 75・25%値 ヒゲ: 上・下限は 最大値・最小値

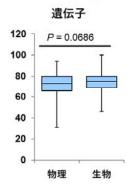
<統計解析> * P < 0.05, ** P < 0.01, *** P < 0.001; ns, not significant

|年後期



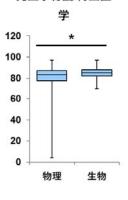
N = 349 vs 127(20M-23M)

ゲノム・染色体・



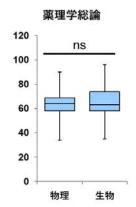
N = 266 vs 89 (21M-23M)

発生学総論/再生医



N = 267 vs 89(21M-23M)

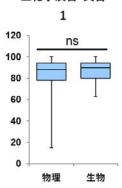
2年前期



N = 171 vs 65 (21M-22M)

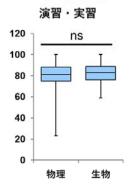
2年後期(旧カリ)

生化学演習·実習



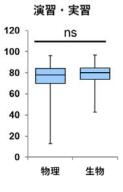
N = 177 vs 53 (17M-18M)

生理学 (器官系)



N = 337 vs 127(17M-20M)

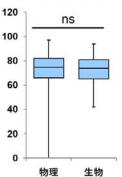
生理学(統御系)



N = 337 vs 127(17M-20M)

3年前期(旧カリ)

薬理学演習・実習



N = 407 vs 165(16M-20M)

4年次臨床実習前OSCE

	項目別人数割合(%)					
年度	(4段階)	患者への配慮	医療面接	診察技能 (身体診察)	診察技能 (基本的臨床手技)	救急
	А	86.7	50.5	68.6	62.9	73.3
2023	В	11.4	44.8	27.6	25.7	20.0
2023	С	1.9	4.8	3.8	3.8	5.7
	F	0.0	0.0	0.0	7.6	1.0

参考 2020~2022年度

					平均得	点率 (%)				
年度	医療面接			身体	診察			救急	基本的	感染対策
	区原田安	胸部	腹部	神経	頭頸部	バイタル	四肢と脊柱	水心	臨床手技	您 本的果
2022	89.6	90.3	91.1	89.9	91.8	89.8	91.7	92.2	88.8	80.7
2021	93.1	96.9	91.3	95.5	96.2			94.7		
2020	85.2	89.2	87.4	88.5	92.2			94.3		

6年次臨床実習後OSCE

年度	機構課題	平均得点率	年度平均得点率(%)
	1	65.6	
2023	2	66.2	66.0
	3	66.1	
	1	67.6	
2022	2	68	67.8
	3	67.7	
	1	68.4	
2021	2	69.7	70
	3	71.9	

カリキュラム評価委員会 (R6.03.27) 資料No.2

医学部医学科進級者・留年者データ

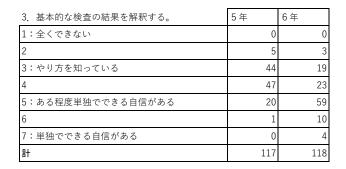
2024.3.13時点

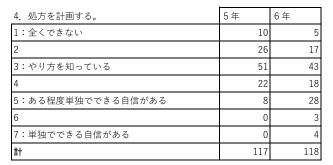
							2024.0.	
令	学年	進 級 者 (卒業者)	留年者	う 休学者	ち 留学者	退学者	合計	進級率
和	1年生	119	3	1	0	0	122	97.5
	2年生	117	6	0	0	1	124	94.4
3	3年生	121	5	1	0	0	126	96.0
年	4年生	114	4	3	0	1	119	95.8
4	5年生	130	0	0	0	0	130	100.0
度	6年生	129	11	2	0	0	140	92.1
	合計	730	29	7	0	2	761	95.9
令	学年	進 級 者 (卒業者)	留年者	う 休学者	ち 留学者	退学者	合計	進級率
和	1年生	122	1	0	0	0	123	99.2
4	2年生	109	16	1	0	0	125	87.2
4	3年生	112	10	3	1	0	122	91.8
左	4年生	122	3	0	0	0	125	97.6
年	5年生	113	1	0	1	0	114	99.1
<u> </u>	6年生	135	6	2	0	0	141	95.7
度	合計	713	37	6	2	0	750	95.1
令	学年	進 級 者 (卒業者)	留年者	う 休学者	ち 留学者	退学者	合計	進級率
和	1年生	120	1	0	0	0	121	99.2
_	2年生	125	12	3	0	0	137	91.2
5	3年生	116	4	2	0	0	120	96.7
<i>_</i>	4年生	104	11	0	0	0	115	90.4
年	5年生	122	0	0	0	0	122	100.0
	6年生	113	7	3	1	0	120	94.2
度	合計	700	35	8	1	0	735	95.2

現時点でのあなたの医学生としての能力について

1. 病歴を聴取して身体診察を行う。	5年	6年
1:全くできない	0	1
2	2	0
3:やり方を知っている	55	18
4	41	16
5:ある程度単独でできる自信がある	20	70
6	0	7
7:単独でできる自信がある	0	7
計	118	119

2. 鑑別診断を想定する。	5年	6年
1:全くできない	1	1
2	8	2
3:やり方を知っている	57	24
4	32	23
5:ある程度単独でできる自信がある	20	59
6	C	7
7:単独でできる自信がある	C	3
計	118	119



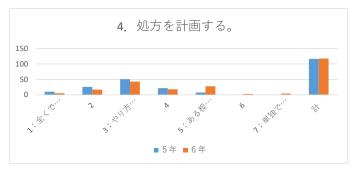


5. 診療録(カルテ)を記載する。	5年	6年
1:全くできない	0	0
2	4	1
3:やり方を知っている	35	20
4	37	17
5:ある程度単独でできる自信がある	40	58
6	1	8
7:単独でできる自信がある	0	14
計	117	118







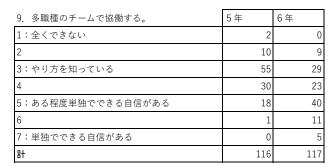


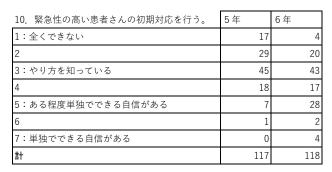


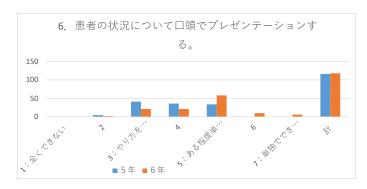
6. 患者の状況について口頭でプレゼンテーショ		
ンする。	5年	6年
1:全くできない	0	0
2	5	2
3:やり方を知っている	41	21
4	36	21
5:ある程度単独でできる自信がある	34	58
6	0	10
7:単独でできる自信がある	0	6
計	116	118

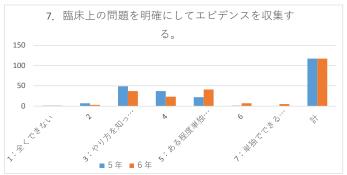
7. 臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集		
する。	5年	6年
1:全くできない	1	1
2	7	3
3:やり方を知っている	49	37
4	37	23
5:ある程度単独でできる自信がある	22	41
6	1	7
7:単独でできる自信がある	0	5
計	117	117

8. 患者さんの申し送りを行う・受け取る。	5年	6年
1:全くできない	5	2
2	11	4
3:やり方を知っている	51	34
4	32	28
5:ある程度単独でできる自信がある	18	41
6	0	5
7:単独でできる自信がある	0	4
計	117	118











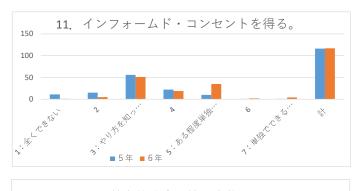


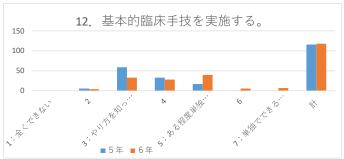


11. インフォームド・コンセントを得る。	5年	6年
1:全くできない	11	1
2	15	5
3:やり方を知っている	56	51
4	22	19
5:ある程度単独でできる自信がある	10	35
6	1	2
7:単独でできる自信がある	1	4
計	116	117

12. 基本的臨床手技を実施する。	5年	6年
1:全くできない	0	0
2	6	4
3:やり方を知っている	59	33
4	33	28
5:ある程度単独でできる自信がある	17	40
6	1	6
7:単独でできる自信がある	0	7
計	116	118

13. 組織上の問題の同定と改善を通して医療安		
全に貢献する。	5年	6年
1:全くできない	2	7
2	14	9
3:やり方を知っている	57	30
4	24	19
5:ある程度単独でできる自信がある	18	41
6	1	5
7:単独でできる自信がある	0	6
計	116	117







R5_2年前期_医学部カリキュラムに関するアンケート

1. カリキュラムについて

カリキュラムを総合的にみて、満足のいくものでしたか。あなたの考えに最も近い項目をお選びください。

冲 足	30
おおむね満足	71
やや不満足	6
不満足	0
計	115

意見のある方は具体的に入力してください。

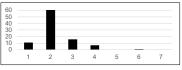
満足	授業に行くのが大変な時があるので、オンデマンドを充実させてほしい。
	最初に行われた1年間の見通しについての説明をいつでも見返せるようにして欲しい。
おおむね満足	
	薬理学の試験範囲は広く浅すぎるため、あまり身についた感じがしてなかった。(試験
おおむね満足	が終わるとすぐ忘れてしまう内容量だったと思う)
やや不満足	薬理学の難易度が高く理解が追い付かない。
やや不満足	テストの量が多い。
	ほとんど満足ではあるが、一部どういったものを得られるのか分からない授業があっ
やや不満足	<i>t</i> ∈。

2. ディプロマポリシーについて

各DPについて、現時点でどのレベルまで達していると自身で感じていますか。

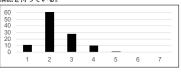
温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。

大間は下間で 間空既と表刊ける個点で	大阪と対し
1:高校卒業時のレベル	11
2:成人としてのレベル	81
3	16
4:臨床実習を開始できるレベル	7
5	0
6:卒業時に求められるレベル	1
7:それ以上のレベル	0
ā†	116



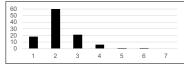
医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

韴	としての高い見識と誠実な態度を身につ	け、病める
	1: 高校卒業時のレベル	11
	2:成人としてのレベル	66
	3	28
	4:臨床実習を開始できるレベル	10
	5	1
	6:卒業時に求められるレベル	0
	7:それ以上のレベル	0
	計	116



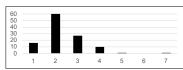
患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

『の身体的・心理的・社会的状態を科学的	引に評価し、
1: 高校卒業時のレベル	18
2:成人としてのレベル	69
3	21
4:臨床実習を開始できるレベル	6
5	1
6:卒業時に求められるレベル	1
7: それ以上のレベル	C
計	116



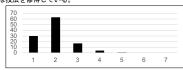
患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、

ム医療を推進する能力を持っている。		
1: 高校卒業時のレベル	16	
2:成人としてのレベル	60	
3	27	
4:臨床実習を開始できるレベル	10	
5	1	
6:卒業時に求められるレベル	0	
7:それ以上のレベル	1	
計	115	



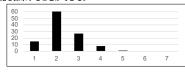
疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。

の止催な診断と週切な冶療を遂行する/	
1: 高校卒業時のレベル	30
2:成人としてのレベル	63
3	17
4:臨床実習を開始できるレベル	4
5	1
6:卒業時に求められるレベル	0
7:それ以上のレベル	0
計	115



常に<u>最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学</u>習課題を開拓し探求することができる。

<u>最新の医療情報を収集するとともに、5</u>	E涯目らの字
1:高校卒業時のレベル	15
2:成人としてのレベル	64
3	27
4: 臨床実習を開始できるレベル	8
5	1
6:卒業時に求められるレベル	0
7:それ以上のレベル	0
計	115



カリキュラム評価委員会 (R6.03.27) 資料No.5

4. その他 意見・要望

信州大学医学部のカリキュラムをよりよくする上で、どのようにすればよいか、またはどのようにしてほしいか、意見があり ましたら自由に記載してください。

英語教育を充実して欲しい。共通教育だと医学英語ではないのでやや不足している気がします。 既に満足です。 研究室での体験実習をやってほしい!院進(など)でしか研究室にいけないのはもったいないと思います。 シラバスがインターネット上で簡単に見られるようにしてほしいです。

R5_2年後期_医学部カリキュラムに関するアンケート

1. カリキュラムについて

カリキュラムを総合的にみて、満足のいくものでしたか。あなたの考えに最も近い項目をお選びください。

満足	19
おおむね満足	72
やや不満足	26
不満足	11
計	128

意見のある方は具体的に入力してください。

	感染症の試験日程が、花岡先生の期末と最近の期末はどう考えても過密すぎます。消化
	器の授業を先にやって、1週間は授業の全コマが終わった後に時間を取ってください。
満足	
ナンナン4の注口	循環器はもう少し余裕をもってやってほしい。テストのレベルと時間が合わない。
おおむね満足	Marine Colored Address Colore
おおむね満足	総試ではなく科目ごとの追試のほうが良い。
おおむね満足	オンラインでの講義はeALPSに動画を載せてもらいたい。
おおむね満足	忙しすぎ。
おおむね満足	テスト範囲が大きすぎる。感染症のテスト日程が詰まっていて勉強時間が足りない。
おおらは神圧	映像授業であるなら何度も見れるようにするべき。早朝から対面ではないのがかなり不
おおむね満足	滿。
おおむね満足	1科目でも落ちたら総合試験で全科目やり直しはキツイです。
おおむね満足	あとあと楽になるならいいけれど、2年生からだいぶ忙しいとは思った。
おおむね満足	勉強が本当に大変。
83 83 G 18 MI AC	個人的に、循環器の試験のスケジュール(1週間おきのミニテスト×4+期末試験)だと勉
	強量を小分けに出来て各週集中しやすかったので、なるべく多くの科目で同じようなス
***	ケジュールになると嬉しいなと思いました。特に感染症は分量が多かったのでそうなっ
おおむね満足	てほしいです。
やや不満足	試験のスケジュールが過密なところが多々ある。
やや不満足	テスト直前にテスト範囲の授業を行うのは出来る限りやめてほしい。
やや不満足	詰込みのため理解を深くする余裕がない。
やや不満足	内容が難しい。
やや不満足	総合試験の存在が精神的にきつい。1コマに対する講義内容量に差がある。
やや不満足	前期、後期のスケジュールに忙しさの差が大きかった。
	ユニット講義のテンポがいくらなんでも早すぎます。薬理学が授業時間の割に詳しいと
	ころまで聞きすぎ、また資料に記載されていいない事項も多いので、非常に、強く改善
やや不満足	して欲しいです。
	現状の総試システムでは科目ごとによって難易度の不均等が発生しているので、改善し
やや不満足	て欲しい。
やや不満足	テストの日程が大変だった。
T T I MAKE	内容が高度で分かりにくく、量が多い科目が多い。試験日程も無理があるものだった。
やや不満足	17日の同及でカルグに、(、重ルタン計画ルタン。) 断数目径の無差があるのだった。
T. C. I. MILE.	
やや不満足	いたりとメンタルずたぼろになった。もう少しゆとりを持つべき。
やや不満足	循環チョームズだぜ。
やや不満足	テストに追われるばかりで1つ1つの科目をきちんと学べたという実感がない。
やや不満足	試験の間隔が狭く、十分な勉強をして試験にのぞめない。
やや不満足	テストが多く、それに対してテスト勉強にあてられる時間が少なすぎる。
	感染症と免疫アレルギーのテストラッシュをずらしてほしい。感染症の成績で、中間テ
	スト1つで50%、期末はテスト3つを合計して50%となっており、そこの比が偏っている
不満足	ように感じた。
	新カリキュラムになってから勉強量が報われない試験が多い。講義で強調しているとこ
不満足	ろから、テストが出ないから講義=時間のムダ (特に感染症)
不満足	試験と試験の間隔があまりにも短くて十分な試験勉強ができなかった。
	理解しにくい(単語、図のみのスライド、小声)。スケジュールがきつい。感染症など
不満足	の試験が連続するのは勉強が間に合わない。
不満足	循環器の小テストの日程どうにかならないんですか?
1.000	生理学、薬理学などが知識が曖昧なままカリキュラムが進んでいる思いがある。毎回の
	講義で同内容を繰り返すことも多々あり、時間の無駄。一方で新しい知識は薄い理解で
不満足	一方で刺しい知識は海い生産で 留まってしまう。(時間を使えていないので)
不満足	
个凋足	流石に詰め込みすぎ。
	総合試験を受験する必要があるかどうか判明するのが遅すぎる。せめて1ヶ月の勉強時
不満足	間は確保できるようにして欲しい。
不満足	テスト問題が短く、テストのための勉強しかできない。それすら間に合わない。
不満足	11月の試験が過密。

2. ディプロマポリシーについて

各DPについて、現時点でどのレベルまで達していると自身で感じていますか。

温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。

1: 高校卒業時のレベル	5
2:成人としてのレベル	71
3	40
4:臨床実習を開始できるレベル	10
5	0
6:卒業時に求められるレベル	2
7:それ以上のレベル	1
計	129



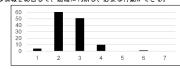
医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

フげ、柄のる
3
57
47
19
1
0
2
129



患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

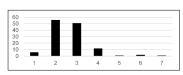
的に評価し、
4
63
51
10
0
1
0
129



患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、

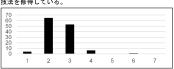
チーム医療を推進する能力を持っている。

1: 高校卒業時のレベル	6
2:成人としてのレベル	56
3	51
4:臨床実習を開始できるレベル	12
5	1
6:卒業時に求められるレベル	2
7:それ以上のレベル	1
計	129



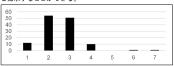
疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。

1:高校卒業時のレベル	4
2:成人としてのレベル	65
3	53
4:臨床実習を開始できるレベル	6
5	0
6:卒業時に求められるレベル	1
7: それ以上のレベル	0
â†	129



常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。

1: 高校卒業時のレベル	12
2:成人としてのレベル	54
3	51
4:臨床実習を開始できるレベル	10
5	0
6:卒業時に求められるレベル	1
7:それ以上のレベル	1
計	129



4. その他 意見 要望

あなたが社会に求められる医師として成長するために、カリキュラムをどのようにすればよいか、またはどのようにしてほしいか、意見がありましたら自由に記載してください。

とりあえず、循環器の先生方は教室に来て授業をして欲しい。レジュメは良いと思うので。

分量と間隔を程度に合わせて調整して欲しい。

試験間隔をあける。

授業で教わったことを全て覚えれば高得点がとれるテストにして欲しい。授業中に習わなかったところからも大量に 出題されているのでやめてほしい。

新カリキュラムになって1科目ごとに集中して勉強できるのでいいです。

グループワークで鑑別とかあったら面白そう。

もっと一年に授業を下ろして良いと思います。

スライドにないものがテストで問われていたりして難しかった。

他の科目も循環器のようにミニテストを課して欲しい。

医者になるためには頑張らなくてはと思う一方、体調やメンタルをすり減らしてまですることではないと思う。医者になる前に言者のお世話になりたくはない。

医学の理解を一歩一歩広められるようなカリキュラムにしてほしい。今のカリキュラムだと毎回薄く覚えて毎回忘れて結局何も身につかず。。。ということになってしまう気がしています。一年の講義の方がよほど色々身に付けられたような。 (講義回数は圧倒的に少なかったのに)

9月の途中から授業が始まっても良いので、循環器に時間を割いてほしかった。また、免疫・アレルギーの中間の範囲 のスライド、授業も分かりにくかったし、何を勉強していいのか分からなかった。免疫・アレルギーも感染症も非常 に内容が重いので、この2つの同時平行はいかがなものかと思う。ただ、免疫・アレルギーの期末範囲や、消化器は、 授業、スライドともに非常に分かりやすく、楽しかったし、その分野に大きな興味を持つことが出来た。

テストの日程をもう少しばらけさせて欲しいです。

1年、2年前期での勉強の復習期間を2年後期に設ける。

座学ばかりだとだんだん辛くなってくるので、たまに実習を挟んでいただけるえとモチベーションの維持に役立つと思います。(なので、3年次に新実習が増えること、とても嬉しいです!ありがとうございます!)体調やメンタルを崩したときに出席が不安になるので、せめて感染症報告システムへの報告→公欠のしくみが復活してくれると嬉しいなと思います。いつもありがとうございます。

2年次のうちから詰め込みすぎではないだろうか。

R5_3年前期_医学部カリキュラムに関するアンケート

1. カリキュラムについて

カリキュラムを総合的にみて、満足のいくものでしたか。あなたの考えに最も近い項目をお選びください。

海 足	11
おおむね満足	71
やや不満足	21
不満足	5
計	108

意見のある方は具体的に入力してください。

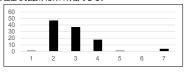
る万は具体的に人刀してくたさい。	
おおむね満足	2. 3週間にわたるテストラッシュよりも、新カリの週~テストの方が勉強しやすくて良
00000-10/14/2	L's
ナナナル。港口	授業をまとめて行うスタイルは良いと思う。
おおむね満足	
おおむね満足	授業中に先生が使うスライドと配布されるスライドが違うので、授業中に混乱してしま
	う。使えない画像以外は同じものを載せてほしい。
おおむね満足	賛否あると思いますが、1つ1つの単元に集中できるので自分はいいと思います。
おおむね満足	カリキュラムが変わって、先のカリキュラムについての知らせがない。自主研はどう
	なったのか、4年前期どんな感じか、全然わからない。毎日ずっと一科目より、2,3コ
	ある方が集中力が切れにくい。ラストの3科目(頭頚部、視覚器、皮膚)のように、午
	前、午後違う科目だと嬉しい。
おおむね満足	1限の開始時間をもう少し遅らせたい。テストで点さえ取れば、授業の出席確認は必要
83834147MAE	ないのではないかと思う。
おおむね満足	同じ授業が重複しているのでしなくてよい。
おおむね満足	神経と運動器を同時期に行うのをやめてほしい。
おおむね満足	カリキュラムに関しては問題ない。学務と各教室間で意思の統一が出来ていなく、学生
	が混乱している。東医体とテストを被らせないで欲しい。
おおむね満足	テストの間隔をある程度空けてくれた点がとても助かった。ただ1限がきつい。毎日
83834147MAE	8:40から授業で16:40まで暗い5階の部屋に閉じ込められて精神的に参った。リモートで
	授業を受けたい。
おおむね満足	自習の授業時間を出席照会に含めないで欲しい。(出席状況の確認がしにくいため)
おおむね満足	レジュメの質が先生ごとに大きな差がある。全体的な質を高めると同時に最低限の質の
	保証をして欲しい。臨床研修などのキャリアを考えるのに役立つ学習や情報が少なすぎ
	る。新カリについてはそこまで大きな不満なし。2年の薬理は本当にどうにかしたほう
	がいい。3年の糖内代、腎の後にやるべき内容。
おおむね満足	試験が月曜ではなく、水曜とかだと学生としては嬉しい(土日が潰れてしまうため)
おおむな神圧	試験が万曜ではなく、 小曜とかだと子王としては嬉しい (エロか損れてしま)だめ)
おおむね満足	3週に2回のペースでテストがあるのはしんどい。
おおむね満足	中間テストがなくて、毎日小テストがあるのは困る。
おおむね満足	昨年度までのカリキュラムや制度と変わった点を把握していない教室があったので、情
	報の連携をして欲しいと思った。
おおむね満足	追試の有無やレポートの評価など、事前に提示しておいてほしいと思った。
	2年生のカリキュラムに比べれば良かった。
おおむね満足	
おおむね満足	レポートの課題があるならば、明確に何を要求しているのかを示すか、採点結果を提示
	して欲しい。あと学務と各科の情報共有を改善して欲しい。
おおむね満足	難しかった。
やや不満足	総合試験にて合格科目も受験する必要はないと思う。
やや不満足	後期に比べて前期のテストが多すぎやしないか。
やや不満足	試験日程に関しては、いいと思ったが、一教科不合格だと、総合試験になってしまうの
1 1 11-12-	は不満です。追試などにして欲しいです。
やや不満足	テストが1,2週間に1回はあり、ずっと忙しい状態が続いている感じがきつい。
やや不満足	/ ハ ハ ・
	先輩方のカリキュラムを急に大幅変更はやめてほしい。
やや不満足	1教科でも落とすと総試、追試は行わない、出席率は基本100%、これらの急激な方針の
	変更は生徒に対して厳しすぎる、責任を押し付けすぎているのではないか。これらのこ
	とや、またこの解答欄の狭さ的にも、生徒に寄り添う気持ちが少ないように感じるを得
	ない。
やや不満足	常にテストに追われ続けて精神的に休まる時間がなかった。テスト週間のようにまとめ
(- ()-//-/AL	てテストをする週を作っても良いと思う。例年、追試を実施している授業の追試意をな
	くし、総試をやらせるのは非常だと思った。
やや不満足	中間試験までの時間が少なく、学習内容の定着が難しい。
やや不満足	テストがほぼ毎日あるので、週末に自由な時間が取りにくかった。
やや不満足	毎週テストがあるのは結構しんどかった。1ヶ月に1週間(月・水・金)とか少しまとめ
	ても良い気がします。
やや不満足	きついです。
やや不満足	
でで个洞足	流石に詰め込みすぎでは?と感じる。一回でも落とすと総試(夏休みが消える)という
	ことを考えるとかなりキツかったと思う。
不満足	体調不良などで明らかな遅れを生じる。また、その人達への配慮に欠けている気がす
	<u> </u>
不満足	例年なら8月第1週はテストがなかったのに、今年からテストがあるせいで東医体への参
1	加がしづらい。テストは7月末までに終わるようにして欲しい(自習を減らすなど)
1	1
不満足	前期や後期の科目を一科目でも落とした場合、その期間の全科目が範囲の総合試験を受
	けて回収しなければならないというのは、あまりに非効率的であり、精神的にも負担が
I	大きいため、やめるべきである。総合試験は、追試のさらに補充措置的立ち位置にある
	バスティススペートのできる からはいない 地口の (大) という こうに (大) が (日間) は
	ベキレ表える
7 #0	べきと考える。
不満足	べきと考える。 前期はずっとテスト勉強に追われていたので、もう少しゆとりが欲しい。授業もテスト も月中にすべて終わらせてほしい。

2. ディプロマポリシーについて

各DPについて、現時点でどのレベルまで達していると自身で感じていますか。

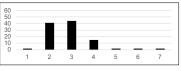
温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。

1: 高校卒業時のレベル	1
2:成人としてのレベル	47
3	37
4:臨床実習を開始できるレベル	18
5	1
6:卒業時に求められるレベル	0
7:それ以上のレベル	4
計	108



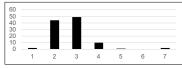
医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

μ,	<u>としての向い兄畝と誠夫な悲及を身にっ</u>	ハノ、炯のた
	1: 高校卒業時のレベル	2
	2:成人としてのレベル	41
	3	44
	4:臨床実習を開始できるレベル	15
	5	2
	6:卒業時に求められるレベル	2
	7:それ以上のレベル	2
	計	108

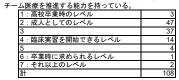


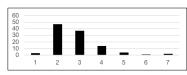
者<u>の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、</u>さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

の身体的・心理的・社会的状態を科学的]に評価し、
1:高校卒業時のレベル	2
2:成人としてのレベル	44
3	49
4:臨床実習を開始できるレベル	10
5	1
6:卒業時に求められるレベル	0
7: それ以上のレベル	2
計	108



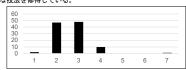
患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、





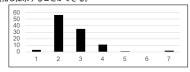
疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。

2
47
48
10
0
0
1
108



常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。

収別の位は日報で収入すること ひに、エ	一注日りの子
1:高校卒業時のレベル	3
2:成人としてのレベル	56
3	35
4:臨床実習を開始できるレベル	11
5	1
6:卒業時に求められるレベル	0
7:それ以上のレベル	2
計	108



4. その他 意見・要望

信州大学医学部のカリキュラムをよりよくする上で、どのようにすればよいか、またはどのようにしてほしいか、意見がありましたら自由に記載してください。

|「つ1つの科目に関して特に不満はないが、全体のテスト数の調節をお願いしたい。東医体には被らないようにして頂きたい。

東医体のことを考えて日程を組んで欲しい。遅くても7月末までにテストを全て終わらせてほしい。

薬理学のやるタイミング。

折角授業の録画をとっているので、復習のために見返せるようにして欲しい。また、多学年の授業も見れるようにして欲し

1限の開始時刻が通勤ラッシュなどと重なり、道路の渋滞が激しいです。車通学がしんどくなってきた。また、1限は人が少ないと感じるので、1限から授業のある日を少なくしてほしいです。

スライドの出来を改善して欲しい。授業スライドにはあるのに配布スライドには入っていない内容があったり、A4で6分割されていて文字がかなり小さくなっているもの、アニメーションを考慮せずPDF化されたもの、要点が整理されておらず、ただ文字を列挙したもの、枚数が極端に少なかったり多すぎたりするもの、PDF化せず配布するものなどなど勉強する気にならないものはやめてほしい。授業中にスライドの写真を撮らざるを得ない状況を作らないで欲しい。

テストで過去問をそのまま出すのはやめてほしい。ただ問題作成をサポっているようにしか思えず、授業で扱っていない内容を出したり、細かすぎる内容を出したりしている。授業を聞き、スライドで勉強している人が報われず、過去問暗記をした人が得をするような状況になっている。過去問と同じような問題を出すなら、選択肢を変えたり、問い方を変えるなどの工夫をして欲しい。

背景が黒のスライドもメモをしにくいためやめてほしい。スライドをただ読み上げる授業ではなく、内容をきちんと解釈して 欲しい。なぜそうなるのかという部分が一番知りたい。そういうところをきちんと説明するべき。

授業中、マイクの音が切れたり、ポインターが画面に反映されていなかったり、授業環境が悪い。

授業時間やカリキュラム、他の人の授業内容を知らない先生が多すぎる。それくらいは知ったうえで授業をして欲しい。 テスト日程を個人の都合で変更しないで欲しい。授業がない所に(頭頚部)これが部活の都合を学生が提案した時も同じ。 (懇意ではなかった。)他人が反対しなければ懇意として学務に報告した。

運動器の試験に関してですが、eALPS上にも本誌直前でも追試を行うという趣旨の連絡があったのにも関わらず、試験結果発表後に「行わない」と変更したのは良くないよではないかと思う。試験の日程上、教科によって勉強量を考えなければならないと思うので、追試の有無は非常に重要なことだと思う。学校としての方針統一をはかってほしいと感じた。

追試をやらない理由を知りたいです。

後期のスタートがもう少し遅いとありがたかったです。テストがある日の授業は、せめて午後からが良いです。

ーつの期間にユニット2, 3コ。レポートの指示をはっきり。

神経の授業である先生が、ホルモンバランスの関係で、若い人ほど早起きするのが大変な傾向がある。我々のような年齢から したら早起きするのはそこまで苦ではなく、早起きした方が時間を効率的に使えるかもしれないが、学生にとってこの1限の開 始時刻は早いのではないか、というような旨を話されておりました。なので、個人的にももう少し1限の開始時刻を遅らせて頂 けると幸いです。

テストの日に授業を入れない。全体的な授業を減らす(内容に被りが生じている)。東医体に参加している生徒に優しいカリキュラム作りを!!

同じ事柄を授業で繰り返しやるのが面倒なので、もう少し纏めて授業数少なくしてほしい。あまり授業を教室に受けに行くメリットがないので(自転車置き場から遠い、5階に上がるのが大変、教室の空気がきたない)オンデマンドでの配信でいいと思う。逆にメリットがあるなら、学生に必ず教えてほしい。

学務は各教室との連携をしっかりしてほしい。試験時間が数時間ずれるだけでも、他の大事な要件に影響する人がいる。

一科目でも落としたら総合試験、しかも夏休み明けにあるっていうのはきつい気がする。一科目落としたら、以降の科目のや る気がなくなるし、一科目落とした人と全科目落とした人が同じ量の勉強をしなきゃいけないのが意味わからん。

1限の開始を遅らせる。朝早すぎて起きるのが辛い。最後の授業の終了時間を遅らせても、その方が学校に行くことに気分の落ち込むことが滅るのではないか。もう少し教室に日光の光が欲しい。原則全出席ではなく、2/3ルールか出席を任意にする。毎日一限(8:30)から学校に通うようになって、不眠、耳鳴り、気分の落ち込みがひどくなった。これはあくまで大学の授業によるものではなく、大学の時間割によるものだと自覚している。病気でなくともリモート出席を導入することで、柔軟に授業を受けられて心的ストレスは滅ると思う。大学に来なくなり留年してしまう人や中退してしまう人がいるが、出席を任意にしようが義務にしようが進級している人は進級しているし、進級していない人は進級していないと思う。つまり、出席を全出席にしなくても成績は変わらないと思う。

総合試験は休みの前半がいい。

1~6限を一週間ずっとは辛い。→ 1限をなくす。全休の日を設ける。

総合試験で落とした科目を回収するようなシステムはやめてほしい。一度も試験を落としたことはないし、これからも落とす つもりはないが、科目ごとに追試を行う方がやる気も失わないし、十分な学習が出来ると思う。

テストの日程、授業日等、もう少しバランスよくしてほしいです。例えば、前期は毎週テストがあったり(特に7,8月にテスト多い)、後期11月とかは授業数がかなり少ないなど。

月曜日がテストだと、土日に遊べなかったり、部活動の活動があったりするので、毎週毎週月曜日テストは嫌でした。

細めなアンケートの実施、講義に対する学年の意見の収集。金銭的に困っている学生へ個別対応の実施、充実、公衆衛生学的な観点から、医学部施設、カリキュラムの評価、見直し(『「医学生だから」「自分たちも経験したことだから」しょうがない』という考えはやめてほしい)、大学・医学部・医学教育研修センターと学生との相互コミュニケーションの機会を増やす。必要なら学生会、クラ運を活用してください。

テストも含めて全部7月中に終わったら有難い。

まとめて試験が行われずに、授業ごとに行われているのは、ひとつひとつの授業の理解度をはかる上で役立ったものの、授業のはじまりからテストまでの期間が短く、特に1週間程で行われたものは、しっかりと復讐する時間がとれずに苦労しました。

テストと同日に通常の授業をするのをやめてほしい。テストと同日の授業なんて誰が聞ける余裕がありますか?全授業原則出席とか言っておきながら、出席させるだけで理解させる気なんてないですよね。

ずっと座学はモチベーションが続かないので、数か月に1回、病院見学があると嬉しい。(希望制)

学生どもが意見を言える場を作る。

内科などの主要な科を2~3週間で詰め込み、試験を行うのはあまり知識が定着していないように感じます。

試験について、医局に話したいことがある時に、学務がアポイントをつないでくれるとありがたいなと思いました。直接メールや医局訪問を個人的に生徒のみで行ってしまうと、教授の方々にも迷惑が掛かってしまうので、直接医局に行けと言うだけではなく、学務の方々がお話をつないでくれると良いかなと思います。また、総合試験について、学務の方々と医局の方々で認識が異なっていたため、追試か総合試験化がはっきりしなかった点が気になりました。

3年後期の基礎医学実験とは何かを早めに説明して頂きたいです。

試験のせいで東医体に出られないのは仕方がないのでしょうか。各科目の授業が始まってから、試験までの期間が短すぎて、試験にうかるための勉強・短期記憶になっていて、CBTや国試の前には苦労しそうだと思いました。

カリキュラム以前に、医学教育センターと学務、授業間でコミュニケーションをもっとしっかりとってほしい。運動器追試問題、頭頚部期末日程問題等があり、不安になる。夏休みが消えるのはさすがにかわいそう。前期14回テスト+3回のレポートはさすがにキツかった。乳腺・歯科等は後期にもっていってもいいかもしれない。

新カリキュラムの4年生以降の予定を早く知りたいなと思います。

①追試について

追試を行わなくなった理由が日程的な余裕がないからというのをどこかで見た気がしますが、その理由だけでは不十分だと思います。今までやっていた追試がなくなって、総合試験一発になるのはきついです。

②休みについて

3年前期を8月上旬までやるのをやめてほしいです。後期に1週間授業がない週があるので、そこにつめて欲しいです。7月の3科目のうち1科目を後期に回せばいいと思います。共通教育科目がある2年生までがそっちに合わせて8月上旬まであるのは分かりますが、実習性も7月中に終わるのに3年生が8月上旬までやるのはきついです。

③カリキュラムの変更について

基礎と臨床を融合する、多くの科目で中間試験を作る、授業とテストの日程を変えるというのが全て21Mから新しく始まって、かなりきつかったです。(もう慣れたので大丈夫ですが。)

カリキュラムのことについて多くの先生方が気にかけてくださって、とても優しくてありがたいです。各科目の試験は授業に沿ったものが多く、とても為になると思います。しかし、根本の制度が少しきついです。特に休みについては今まで色んな人が意見を言っても改善しなかったと聞いているので、そんなに変わらないのかなとは思っていますが、ぜひとも変えて欲しいです。

レポート、試験、総試の取り扱いについて。学生にもう少し明確に伝えてほしい。

授業、テストを7月中にできれば全て終わらせてほしい。共通教育は仕方ないとしても、3年生になっても東医体にテストが理由で参加できないことに不満があるため。学生の活動の機会を奪っていると思う。

誰がカリキュラムを考えているのかは知らないけれど、医学科の先生に考えてほしい。(すでにそうなら申し訳ない) CBTに向けて、効率的で、有意義なカリキュラムは経験者が一番わかっていると思う。

21Mのカリキュラムは、少し難しすぎるし、追試をなくして総試にした意味がよくわからない。落としてない科目で留年する可能性のある仕組みにしたのが不思議。

R5_3年後期_医学部カリキュラムに関するアンケート

1. カリキュラムについて

カリキュラムを総合的にみて、満足のいくものでしたか。あなたの考えに最も近い項目をお選びください。

満足	21
おおむね満足	70
やや不満足	15
不満足	2
÷1	100

意見のある方は具体的に入力してください。

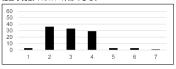
サロ	10 F (6 90 F 1) 12 F 0 F 290 F 291 F 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
満足	3年後期に比べて3年前期が忙しい。4年のスケジュールも埋まっている。3年前期か4年 前期のテストをいくつか3年後期に持っていってもいいような気がする。
満足	理不尽なカリキュラムの詰込みではなく、テスト前に自習コマが多くあったことでしっ
	かりテスト勉強ができた。呼吸器が少し難しかった。
満足	楽だった。
満足	後半がヒマ。
おおむね満足	歴瘍の総論を最後にもってきているのはナンセンス。3年後期が暇すぎる。4年前期の内
83 83 93 18 API AC	容を早めに終わらせてCBTの勉強に余裕を持たせてほしい。
おおむね満足	カリキュラムではないですが、プロジェクターの使い方が不明。そもそも授業開始時刻
83 83 C 18 MI AE	を把握しておらず、授業が遅れて始まることが多いので、そこを改善して欲しいです。
おおむね満足	3年後期は比較的、授業に余裕があり、学期によって差が大きいため、アルバイトなどに
	影響が出てしまうので、ならしてほしいです。
おおむね満足	短期間で授業をし、直後にある試験のために覚え、すぐ忘れることの繰り返しだったた
	め、CBTや国試に向けた勉強としてはいまいち身になっていないと感じる。授業が詰まり
	すぎて辛い時期となさすぎて暇をしている時期があるのでもう少しならしてほしい。
5. 5. 5. 1. ST E	
おおむね満足	年始の授業が早すぎる。
おおむね満足	1日の授業数が多い日のスライドを早く上げてくれると、準備して授業にのぞめるの
	で、余裕をもって受けられるスライドを使った授業ではeALPSにスライドを上げてほし
	ι' _°
おおむね満足	生理学をまとめて勉強していないのが不安。
おおむね満足	中間テストはなくてもいいと思う。
おおむね満足	夏と秋冬の授業数のバランスが良くないかなと思った。夏(特に夏休み前)は忙しかっ
	たが、秋冬はそうでもなかった。
おおむね満足	科によって追試の有無の差があるのは不平等に感じた。
おおむね満足	1/4.5の授業を次の週につめることは出来なかったのか。
おおむね満足	授業内容が他の講義と似ているという講義があったので、精査すればもう少し講義数を
	減らせるのではないかと思った。
おおむね満足	間の休みが多い。それなら冬休み、春休みを長くしてほしい。
おおむね満足	2年後期の科目が重たいなと感じました。3年前期の科目と何かトレードしてもいいのか
	なと思います。
おおむね満足	前期と後期で難易度の均等性のあるように科目を振り分けてほしかった。
おおむね満足	後期に1週間×2とか、不定期の全体が多くあった一方、年始の始まりが1/4と早かった。
	休みを年始に持ってきたり、学期末にまとめて春休みの入りを早くするなどの調整をし
	て欲しい。
やや不満足	4年前期にCBT・OSCEに向けて勉強できるよう、余裕があるとの話だったが、授業を前
	倒した不利益と、実際のスケジュールによる利益が釣り合ってない。3年後期に勉強で
	きるようにしたつもりなら、もっと早くに伝えるべき。見通しを立てられるような情報
	が全くない。
やや不満足	生理学をきちんとやってほしい。薬理も入ってこない。2年の消化器・循環器の時に生
	理学が理解できておらず、この時にやっていたことが、腎泌のあたりでようやく理解が
	追い付いた印象がある。(2)のDPがまったく高まらない座学しかやっていないので、
	人として成長しない。
やや不満足	基礎医学など、授業か実習か具体的なことがわからない科目に関しては早めに情報を出
(- ()-/M/AC	してほしい。
やや不満足	3年前期、4年前期が忙しい割に3年後期が暇すぎる。もう少しバランスを考えてほし
C C I MAL	いた。
やや不満足	
やや不満足	2年後期と3年前期の負担が大きい割に3年後期の科目数が少ないのがバランス悪い。
V. V. I. WHI VE	2十度初に3年間初の見温が入るい間に3千度初の行口数が少ないのがバブノ入意い。
やや不満足	前期~10月にかけては内容が重く、テストも多くてとてもきつかったが、それ以降はか
A CHANGE	nn州~10月にかけては内谷が重く、デストも多くてこてもさりかったが、それ以降はか なり余裕があり、1年の中で負担が偏っているように感じた。
やや不満足	3.4年生が忙しすぎる。
やや不満足	成績(テストの結果)が出るのが遅い。
	成績(アストの結果)が出るのが遅い。 新カリキュラムにしたのであれば、成績不良者への追試・総試の対応や、公欠者への対
不満足	新ガリキュラムにしたのであれば、放緩不良者への追試・総試の対応や、公父者への対応をより明確にし、一貫性のあるものにするべき。3年後期があまりにも暇すぎるため、
	13年前期の一部マイナー科目や4年の授業を入れるべき。
不満足	3年後期が暇すぎるので、4年前期が忙しい。カリキュラムを緩和して欲しい。
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
不満足	削期はすっとナスト型強に追われていたので、もう少しゆとりか欲しい。投業もナスト も7月中にすべて終わらせてほしい。
	も1月中に9个し於イクらせらほしい。

2. ディプロマポリシーについて

各DPについて、現時点でどのレベルまで達していると自身で感じていますか。

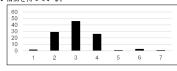
温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。

1: 高校卒業時のレベル	
1. 同似千木吋のレベル	
2:成人としてのレベル	3(
3	3
4:臨床実習を開始できるレベル	2
5	
6:卒業時に求められるレベル	
7: それ以上のレベル	
計	10



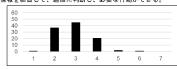
医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

としての高い見識と誠美な態度を身に、	ノけ、病め・
1:高校卒業時のレベル	
2:成人としてのレベル	2
3	40
4:臨床実習を開始できるレベル	20
5	
6:卒業時に求められるレベル	
7:それ以上のレベル	
\$ +	10



の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

の身体的 心理的 社会的状態を科学的	りに評価し、
1: 高校卒業時のレベル	1
2:成人としてのレベル	37
3	45
4:臨床実習を開始できるレベル	21
5	2
6:卒業時に求められるレベル	1
7:それ以上のレベル	0
āt	107

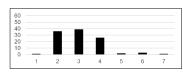


患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、

チーム医療を推進する能力を持っている。

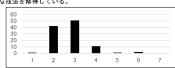
1:高校卒実時のレベル
2:成人としてのレベル
3
4:臨床実習を開始できるレベル
5
6:卒業時に求められるレベル

: それ以上のレベル



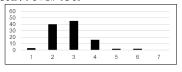
疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。

1
42
51
11
1
2
0
108



常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。

1: 高校卒業時のレベル	;
2:成人としてのレベル	40
3	45
4:臨床実習を開始できるレベル	16
5	
6:卒業時に求められるレベル	- 2
7:それ以上のレベル	0
āt	108



4. その他 意見・要望

あなたが社会に求められる医師として成長するために、カリキュラムをどのようにすればよいか、またはどのようにしてほしいか、意見がありましたら自由に記載してください。

基礎医学実験の予定をもう少し早めに出してほしい。呼吸器以外テストの結果が出ていないと思うので、他科目も早く出してほしいです。

CBTの勉強時間をきちんと確保して欲しい。そうすることで今までの内容がきちんと消化できると思う。

科目によって試験の難易度のばらつきが大きいのが気になった。難しいと感じた科目はそれだけ臨床でも多くの知識が求められるものだと思うので易化してほしいというわけではないが、授業内容の量に応じた自習時間の設定や、も |う一回解説を聞けるように授業映像の公開など可能であれば検討して欲しい。

腫瘍の講義のように期末試験以外の成績評価の機会があった方が良く勉強すると思った。(小テストとか)

全体的に詰まっている印象があるので、余裕が欲しい。今のカリキュラムは自分にとって、ひたすらやってくるテストを乗り切るためになっていて、あまり身についていない感じがする。

総試を受けない人も、力試しとして解けるよう総試の問題・回答を公開して欲しい。色々な科目でテストの万台が回収されてしまうのが良くないと思う。追試などの措置の後、記名した希望者には返却して欲しい。

4年前期にゆとりをもたせてほしい。

人として成長できる。学力を高めることが出来る。人生経験をつめる、そんなカリキュラムにして欲しい。昭和医大では講義は全てオンデマンド化し、授業では講義を一切行っていないが、それでも今年のCBTで全員合格、1~3年次の留年者も信大と同じくらいだったと聞いた。信大でそこまでやるかはともかく、先行事例の研究を検討ぐらいは行ってほしい。そして、その内容を教授間で共有して議論してみてほしい。

治療の映像や、実際の腫瘍の写真を見ることが出来た授業は印象的で、記憶にも残りやすかったです。そういった授業が増えると少し変わると思います。

知識だけでなく、コミュニケーションや団体行動も大切なので、部活動との両立がしやすいカリキュラムにして欲しいです。東医体前に試験を詰めすぎないなど。

成績開示を早めに行ってほしい。成長と発達などの教科は数か月前に終了したものであり、開示が遅れている理由がわからない。総合試験がテストの点数によるものであるのなら、学修のためにも成績開示を早く行った方が良いと思 う。

カリキュラムとはまた異なるが、いまだに合否判定が出ていない授業があるため早急に出してほしい。

小テストのある授業は半強制的に授業の復習をしなければならないが、試験勉強の取り組みやすさが格段に上がり、 理解も深まった。少ない回数でも小テストがあると良いと思う。

総試について不満を抱いている学生が多くいるように感じる。例えばある試験では本試で落としても追試があるが、ある試験では病気などの欠席でも追試はなく総試を受けなければならなかった、という場合があると聞いた。この点は不公平感や不信感を持つ要因となりうるのではないか。

さすがに出席システムをもう少し厳しくすべき。現状のQRコードで不正に出席登録している人がかなりの数いて、1、2回しか授業に来ていない人も多い。私は再受験で入学し、前の大学は私立文系でかなりゆるい学部だったが、出席に関しては当時よりもサボっている人が多い印象を受ける。「社会に求められる」医師ならば、さすがにこのガバガバ出席はひどいなと感じる。呼吸器は日程にもう少しゆとりを持たせるべき。特に中間。花岡先生は試験を簡単にするつもりが無いと思うので、カリキュラムを変えるともっと勉強でき、知識もつくであろう。

授業内容をより国試を意識したものにして欲しい。

毎年東医体のことで学生から声が上がると思うが、3年後期がかなり暇だったので、7月後半の授業を移すべき。眼科、耳鼻科、皮膚科のどれか1つを後期にうつすだけで改善されると思う。4年前期も授業が詰まっていたので、3年後期にうつしてもいいと思う。毎年クラス運営が出席するZOOM会議を行っていると思うが、あまり意見が反映されていない気がする。呼吸器、精神科、薬理学など、国試の内容を逸脱した授業が多すぎる。外科医師による実習生への不適切な態度があったとうわさが出回っていてとても不安。もし本当ならもみ消さずにしっかり対処して欲しい。

バイトに使う時間がないので、学生の生活に寄り添ったカリキュラムにして欲しいです。バイトをしていないと生きていけない医学生もいるということを忘れないで欲しいです。

就職についての知識を、低学年から教えたほうが良い。

21Mは2~3年のカリキュラムが割と大変だったので(例年に比べて)4年は少しでも楽になれば嬉しいです。

できれば授業中のビデオを見ることが出来るようにしてほしい。メモをとるのも限界があるので、後から分からなかったところを聞き返すことが出来る。

実際の手術の映像や患者さんの治療前の様子、また治療後にどのように変化していったのかがスライドに載せられていると、医師になる自覚が芽生え、学習意欲も上がる。

医学概論の内容がカリキュラムが主体的とみせかけた。積極的受動態であるように感じた。医師の過労死問題が話題になっているように、医師の自己犠牲精神を大学のカリキュラムから改善すべきだと思う。例えば週のコマ数の変更や理不尽なテストの内容、頻度を改善する等の詰込み学習ではなく、もう少し学生の選択の自由を増やすことで、より主体的に医学も学び、医学以外のこともしっかり学べるのではないか。医学だけを学んだ医師よりも様々なことを主体的に体験した医師の方が患者に寄り添えるのではないか。

生理学はやはり、まとまったやつもするべきではないでしょうか。

早めに臨床科目を学ぶよりも、基礎をしっかりとしてから学びたかった。

テスト直後(同日)に授業をするのをやめてほしい。皆徹夜で疲れてまともに聞けていないし、そもそもほとんど出席していない。ただでさえ過密スケジュールなのに。

循環器は3年に入ってからやった方が理解が深まると思う。

カリキュラムの変更に関する十分な説明(1~6年の見通し)(前年で違うところ等)ガイダンスでより細かく説明して欲しい。

3年でもう少し授業を詰めれば、4年のCBTの勉強を主体的にできる。わざわざ大学に行って、学ぶようなことはなかったので、全てオンラインにすればいいのではないかと強く思う。基礎医学実験は内容薄そうなので、授業にあててCBTの勉強にあててほしかった。

各教科、ここは押さえておきたいというところを、まず覚えさせようとするのは悪いことではないと思う。 学年が上がってからの病院実習は医師としての立場に近い。患者側の目線を一度きちんとやしなうという目的での実 習を低学年のうちに入れると良いと思う。きちんと目を見て、話を聞けて、話すことが苦じゃない、お医者さんに なって、ということを、親戚はじめ、バイト先のお客さんなど、様々な人に言われる。そういう態度の必要性を感じ たり、トレーニングしたりするカリキュラムが社会に求められる医師像に近づくために必要だと思う。

教育の内部質保証システムの点検・検討の記録

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

目的: それぞれの教育プログラムにおいて教育の質保証のためのプロセス管理をしていることを 部局で確認する

本学の質保証の仕組み

①授業の達成目標への到達度で成績評価 ⇒ 科目 GPA が教育成果の指標に

②科目 GPA の正当性を授業アンケートで担保する

よって, 点検の観点は

③授業の達成目標の内容と設定レベルや授業間のつながりは適切か

④科目 GPA が伝えるものと授業アンケートの結果が同じ方向を向いているか

※作業していただく「点検・検討の記録」は、外部に対して提出する義務はなく、外部評価の直接の対象となるものでもありませんが、毎年の記録は、教育の質保証に不断に取り組んでいることを証明するエビデンスになります(=プロセス管理)。ただし、教育の質保証に取り組んでいても、それが学部や学科内部で閉じられてしまうとチェック機能が働かず、教育のアカウンタビリティ(説明責任)を果たせません。大学として教育の質保証に取り組んでいることの一環として各部局での作業を進めていくことが求められるため、ひとつの方法として、高等教育研究センターとのやり取りを通して、各学部・学科の取り組みが確かに妥当であるということを確認しながら進めるという手続きをとります。教育の質保証を担保する仕組みについては、「信州大学の教育の質保証について」をご参照ください。

【教育の質と質保証システムを担保するしくみの考え方】

学生が確かに学んだということを、第三者にどのように証明することができるのか、これが質保証システムの要になります。それぞれの評価項目につき、何らかの指標を使う場合、その指標が「妥当であり、信用しても良いとみなせる」ということを示す必要があります。それがそれだけで信用されるものであれば問題ありませんが、多くはそうではありません。その場合は、「他の指標でその妥当性を担保する」という方法をとります。

成績を妥当な指標として信ぴょう性のあるものにするには、成績を出す手続きが正当でなければならず、その前提となる授業の量と質、学生の学びの量と質が妥当であるということが示される必要があります。そのため、教育の質保証に向けて、教員レベルで取り組み、組織として部局レベルでも取り組むことになります。(中略)

学生が努力して学べば、それが確実に成果として成績に反映されます。提出した課題がフィードバックされれば、自身の力として自信を得ることができ、自己効力感につながります。その学びへの手ごたえは、成績と、授業アンケートの「授業外学習時間」「到達度」「達成感」の数値によって示されます。教員が良い授業を設計し、実施したことも、学生の成績と授業アンケートの「授業外学習時間」「到達度」「達成感」の数値によって証明されることになります。

「信州大学の教育の質保証について」より抜粋 令和元年11月20日 第197回教育研究評議会承認

令和5年度(前期)学生による授業評価の集計結果について

1年(121名)

科目名	回答数	回答率	科目GPA
01_ヒト生物学 I	110	91%	3.21
02_生化学	86	71%	2.54
03_新入生ゼミナール	116	96%	3.58

2年(137名)

科目名	回答数	回答率	科目GPA
04_解剖学	86	63%	2.45
05_薬理学総論	22	16%	2.19

3年(120名)

科目名	回答数	回答率	科目GPA
06_腎・泌尿器	64	53%	2.59
07_糖尿病・内分泌・代謝	69	58%	2.89
08_乳腺・産科・婦人科	1	1%	3.00
09_神経	36	30%	2.77
10_運動器(筋骨格)	2	2%	2.80
11_視覚器	8	7%	3.62
12_頭頸部	2	2%	3.28
13_皮膚	4	3%	3.43
14_心理学·行動科学	22	18%	3.10

4年(115名)

科目名	回答数	回答率	科目GPA
15_臨床医学TBL	51	44%	2.74
16_ユニット講義(呼吸器)	27	23%	2.55
17_ユニット講義(消化器)	43	37%	3.05
18_ユニット講義(感染症)	35	30%	2.55
19_ユニット講義(免疫・アレルギー)	50	43%	3.10
20_ユニット講義(成長発達)	9	8%	2.70
21_ユニット講義(神経)	53	46%	2.83
22_ユニット講義(運動器)	13	11%	2.71
23_ユニット講義(臨床薬理学)	5	4%	3.00
24_系統講義(皮膚科)	16	14%	3.27
25_系統講義(麻酔科)	18	16%	2.91
26_系統講義(病態解析診断学)	3	3%	2.50
27_系統講義(救急集中治療医学)	24	21%	3.00
28_系統講義(臨床遺伝学)	50	43%	3.75
29_系統講義(医療情報)	31	27%	3.89

6年(120名)

<u> </u>			
科目名	回答数	回答率	科目GPA
30 ユニット講義(社会医学・医療管理)	5	4%	3.35

科目名		生化学							
受講者数		記載不要	121 名	授業アン	ノケー	ト回答率	71%		%
授業の開講	計・時限	F	前期	対象学年	F.	1年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	針			≪基础	楚的・専門的	りな知識と技	能≫	
						≪科学的	」探求力≫		
その学位技	受与の方針	疾病の正確	産な診断と適切	な治療を	遂行す	-るためのI	幅広い知識と	高度	な技能
について,	この授業が	を修得して	いる。						
担う部分を	, 説明して	常に最新の	医療情報を収算	集するとと	さもに	,生涯自ら	の学習課題を	と開拓	5し探求
ください。		することが	できる。						
1. 成績評価	価(「科目 GP	'A」)は学生z	が授業の達成目	標にどの	くらい	>到達して!	ハたかを表す	数値	であり,
授業ア	ンケートの	「到達度」の	数値は、学生が	5自分は授	業の!	達成目標に	.どのくらい郅	引達し	ていた
と思う	のかを表す数	文値です。 教	育プログラムの	ねらいと	照らり	_ン 合わせて	, その2つの	り数与	こをどの
ように	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	い。					
		「到達度」	の回答分布		強くそ	う思う	2	7. 9	%
	2. 54		ケート結果のク		そう思	う	4	0.7	%
科目 GPA			に到達しました		どちら	でもない	2	3. 3	%
			(に対定しない) !してください。		そう思	わない		5. 8	%
		· · iEC [Air			全くそ	う思わない		2. 3	%
教育プロク	グラムのね	GPA は、学	生の得点の度数	対布のピ	一クカ	₹60-70点	ま台にあること	を反	快してい
らいと照り	うし合わせ	る。しかしそ	れに比して学生	が到達感	を感じ	ているのは	、想定したレ	ベルと	:理解が
	PA の数値と	適切なためであると考える。							
	の回答分布								
	千・解釈して								
いるか									
)学びがどれだり						
			ぶどれだけ学び						
		らし合わせ	て, その2つの)数子をと	このよ	つに分析し	解釈している	らかる	記入し
てくだ	C V '0	「海市県・	の同ダハ左		強ノフ	āШā	0	9 7	%
			の回答分布 ⁄ケート結果の		強くて そう思	う思う		3. 7 5. 5	%
科目 GPA	2, 54	_	シクート結果の きの一連の経験			っ でもない		7.4	%
TT D UTA	2. 04		その一連の経験 を得ましたか」			かない わない		2.3	%
		転記してく	-			わない う思わない		2. 3 1. 2	%
数容プロ/	 グラムのね		の回答は肯定的						
	うし合わせ		感じている。こ						
	PA の数値と		:びが一定以上6					<u>ц</u> 1 <u>Т</u> .	10 .00 1000
	の回答分布		おける基礎医学				-	ノト・ラ	シシー
(土)人(23)	マロゴガ州	四十秋月代	-401/ 0/25/REIO -	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	下 4 一 海田	·// △丁卟	, <u>c.</u> T-110700	/	

をどう分析	 ∱・解釈して	「医学知識と問題対応能力」を身	に付けるための授業として		後能して			
いるか		いると考える。						
3. 成績評(面(「科目 GPA	I A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり) , 授業フ	ンケー			
トの「雪	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値です	ト。教育に	プログラ			
ムのね	らいと照らし	合わせて,その 2 つの数字をどの	ように分析し解釈している	かを記り	してく			
ださい。	>							
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	3. 5	%			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	5.8	%			
科目 GPA	2. 54	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	27. 9	%			
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	39. 5	%			
		記してください。	30 分未満	23. 3	%			
教育プロタ	グラムのね	学生は授業中を含めて、かなり効	率的な勉強をしたとも理解	ൂできる。	もう少			
らいと照り	らし合わせ	し自習が増えれば、GPA はもっと	上がることが期待され、学	生には個	すびしろ			
て, 科目 GI	PA の数値と	があると考えられる。						
「学習時間	引」の回答分							
布をどう分	が析・解釈し							
ているか								
4. 成績評価	価(「科目 GP	A」),および上記の3つの検証作業	から見て, 想定したレベル	が適切で	であった			
かどう;	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。					
想定した!	レベルが適	想定したレベルは適切である						
切であった	かどうか							
その理由		想定したレベルは、生化学の初学	者には少し高かったが、医	ミ学教育に	は基礎→			
		臨床→臨床研修→専門医と螺旋的	りにレベルを高めながら再	学習を終	り返す			
		プロセスであり、最初に高い到達	点を提示することは中長期	削的な意刻	急がある			
		と考える						
	た教育成果	教育成果は得られたのではないか	と思う					
が得られた								
そう言える	理由	GPA は GPA として、毎回の小テス						
		の努力を行い一定の成果を得たと						
		膨大な数の構成物や経路の名前を	シ始め及第に値する生化学	の基礎を	コ識を獲			
得したと考えられる。								

科目名		解剖学						
受講者数		記載不要 137 名	授業ア	ンケー	- ト回答率	63%		%
授業の開請	日・時限	前期	対象学	:年	2年	必修選択の別		於
達成する学	位授与の方	針			技能	• 知識		
その学位技	受与の方針	疾病の正確な診断と適	切な治療を	è遂行	するための「	幅広い知識と	高度	を技法
について,	この授業が	を修得している。						
担う部分を	, 説明して	常に最新の医療情報を	収集すると	ともに	こ、生涯自ら	の学修課題を	開扌	石し探求
ください。		することができる。						
1. 成績評	価(「科目 GP	A」)は学生が授業の達成	目標にどの	りくら	い到達してい	ヽたかを表す数	如值	であり,
授業ア	ンケートの	「到達度」の数値は,学生	上が自分は	授業の)達成目標に	どのくらい到	達し	ていた
と思う	のかを表す数	対値です。教育プログラム	らのねらい	と照ら	し合わせて	その2つの	数写	2をどの
ように	分析し解釈し	ているかを記入してくた	ごさい。					
		「到達度」の回答分布		強く・	そう思う	29	. 1	%
		・到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果(カガラフ	そう	思う	65	. 1	%
科目 GPA 2	2. 45	「授業目標に到達しま		どち	らでもない	5	. 8	%
		の値を転記してください	-	そう	思わない		0	%
		の個を報記してくたる。	′ '0	全く・	そう思わない		0	%
教育プロ	グラムのね	「到達度」の回答は非常	常に肯定的	であり)、学生は自	分たちが授業	の資	を 成目標
らいと照り	うし合わせ	に到達していると判断	している。	GPA は	2.45 で、少	し想定したレ	ベバ	レが高か
て,科目G	PA の数値と	ったものの、学生が自然	覚的には解	剖学を	を理解できた	と感じている	とま	きえる。
「到達度」	の回答分布							
をどう分析	・解釈して							
いるか								
2. 成績評(五(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれ	だけ成功し	ていけ	こかを表す数	で値であり、授	業フ	アンケー
トの「j	達成感」の数	値は, 学生がどれだけ学	びの手応え	を感	じていたかを	表す数値です	。孝	女育プロ
グラム	のねらいと照	ろうし合わせて, その 2 -	つの数字を	どの』	ように分析し	解釈している	かを	記入し
てくだ	さい。			1				
		「達成感」の回答分布		強く・	そう思う		57	%
		※授業アンケート結果		そう		41	. 9	%
科目 GPA	2. 45	「この授業の一連の経	験を通し	どち	らでもない	1	. 2	%
		て,達成感を得ましただ	ハ」の値を	そう	思わない		0	%
		転記してください。		全く·	そう思わない		0	%
教育プロタ	グラムのね	「達成感」の回答は非常	常に肯定的	であり)、学生は自	分たちが授業	にま	さいて達
らいと照り	らし合わせ	成感を得たと感じてい	る。この結	果は「	到達度」の回	回答結果と整合	汁性	がある。
て,科目 GI	PA の数値と	GPA は 2.45 で、少し想:	定したレベ	いかがる	高かったもの	の、学生が自	覚的	りには十
「達成感」	の回答分布	分な学びの手応えを感	じていると	判[株]	ている.			

をどう分析	F・解釈して	E学教育における基礎医学の重要性に鑑み、医学部医学科のコンピテンシー							
いるか		「医学知識と問題対応能力」を身	に付けるための授業として	、十分機	能して				
		いると考える。							
3. 成績評値	西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり	,授業ア	ンケー				
トの「兽	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	:んでいたかを表す数値です	「。教育フ	プログラ				
ムのね	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈している	かを記入	してく				
ださい。	,								
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	34. 9	%				
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	22. 1	%				
科目 GPA	2. 45	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	27. 9	%				
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	10.5	%				
		記してください。	30 分未満	4. 7	%				
教育プロク	グラムのね	学生がこの授業のために学習した	時間は一週間でおおよそ 2	2~3 時間	程度で				
らいと照り	うし合わせ	あり、「到達度」「達成感」に見合	う長さとなっている。やや)自習時間	見の少な				
て, 科目 GF	PAの数値と	い学生もいるため、全体的にもう	少し自習が増えれば、GPA	はもっと	上がる				
「学習時間	引」の回答分	ことが期待され、学生には十分な	伸びしろがあると考えられ	る。					
布をどう分	が析・解釈し								
ているか									
4. 成績評値	価(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベル	が適切て	ごあった				
かどうた	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうかい	こついてご記入ください。						
想定した『	レベルが適	GPA から考えると、想定したレベ	ルはやや高かった可能性も	あるが、	適切で				
切であった	かどうか	あったと思う。							
その理由		想定したレベルは解剖学の初学者	には少し高かったが、医学	・教育は基	は礎→臨				
		床→臨床研修→専門医と螺旋的は	ニレベルを高めながら再学	習を繰り	返すプ				
		ロセスであり、優秀な学生に最初	に高い到達点を提示するこ	とは中長	長期的な				
		意義があると考える。							
期待された	た教育成果	概ね十分に得られたのではないか	と思う。						
が得られた	かどうか								
そう言える	理由	大半の学生は未熟ながら解剖学を	理解するための努力を行い	、一定の	成果を				
		得たと考えている。							

科目名		薬理学総論						
受講者数		記載不要 137 名	授業アンケート回答率 16%			%		
授業の開講	日・時限	前期	対象学	:年	2年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	針		•	技能	• 知識		
その学位技	その学位授与の方針 疾病の正確な診断と適切				するための	幅広い知識とる	高度	で技法
について,	この授業が	を修得している。						
担う部分を	, 説明して	常に最新の医療情報を収	集すると	ともに	、生涯自ら	の学修課題を	開邦	石し探求
ください。		することができる。						
1. 成績評価	価(「科目 GP	A」) は学生が授業の達成目	標にどの	りくらい	ハ到達してい	ハたかを表す数	値	であり,
授業ア	ンケートの	「到達度」の数値は,学生だ	が自分は	授業の	達成目標に	どのくらい到	幸し	ていた
と思う	のかを表す数	α値です。教育プログラムの	りねらい	と照ら	し合わせて	, その2つの	效写	2をどの
ようにな	分析し解釈し	ているかを記入してくだる	えい。					
		「到達度」の回答分布		強くそ	う思う	18.	2	%
科目 GPA	2. 19	※授業アンケート結果の	グラフ	そう思	3.5	(50	%
		「授業目標に到達しまし		どちら	っでもない	27.	3	%
		の値を転記してください		そう思	わない	4.	5	%
		o lee pale o concern	,	全くそ	う思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	評価に対して、到達度が	高すぎる	0				
らいと照り	うし合わせ							
て、科目 GI	PA の数値と							
「到達度」	の回答分布							
をどう分析	f・解釈して							
いるか								
2. 成績評価	ਜ਼(「科目 GP』	A」)は学生の学びがどれだ	け成功し	ていた	かを表す数	(値であり、授	業フ	アンケー
		値は、学生がどれだけ学び	–					
		らし合わせて,その2つ	の数字を	どのよ	うに分析し	解釈している	かる	記入し
てくだ	さい。			ı				
		「達成感」の回答分布			こう思う	18.	2	%
		※授業アンケート結果の		そう思	見う	54.	5	%
科目 GPA	2. 19	「この授業の一連の経験			っでもない	18.		%
		て,達成感を得ましたか」	の値を		わない		5	%
		転記してください。			こう思わない	4.	5	%
	グラムのね	評価に対して、到達感が	高すぎる	0				
	らし合わせ							
	PA の数値と							
「達成感」	の回答分布							

たどう分析	· ・解釈して						
いるか	7171 C						
	ਜ (「科目 GP/		ていたかを表す数値であり	野業アンケ			
77 - 12 (1.7 1)		数値は、学生がどれだけ努力して学		. ,			
		一般では、チェがこれのにの努力してチント こ合わせて、その 2 つの数字をどの					
ださい。		7日47년 C, Cの 2 700 	S TEMPI CAPACO CV		- `		
76648		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	4.5 %			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	9.1 %			
科目 GPA	2. 19	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満				
11 D 01 N	2. 10	外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	40.9 %			
		記してください。	30 分未満	18.2 %			
教育プロク	ブラムのね	勉強量が少なすぎる。					
らいと照ら	らし合わせ						
て, 科目 GF	A の数値と						
「学習時間	」の回答分						
布をどう分	・析・解釈し						
ているか							
4. 成績評価	西(「科目 GP	- A」), および上記の 3 つの検証作業	から見て,想定したレベバ	- ンが適切であっ	た		
かどうた	かと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうかん	こついてご記入ください。				
想定したし	レベルが適	適切					
切であった	かどうか						
その理由		学生の勉強量が少ないので評価が	悪かったのであり、想定し	,たレベルは医	学		
		部医学科の教育レベルとしては適切					
期待された	に教育成果	得られなかった。					
が得られた	かどうか						
そう言える	理由	適切なレベルを想定して講義を行	ったが、評価が悪かっただ	ΝĠ.			

科目名		腎・泌尿器	1						
受講者数		記載不要	120名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	53%		%
授業の開講	日・時限	-	前期	対象学	年	3年	必修選択の別		必
達成する学	:位授与の方	計				技能	・知識		
その学位指	受与の方針	疾病の正確	産な診断と適切	な治療を	遂行	するための	幅広い知識と	高度	な技法
について,	この授業が	を修得して	いる。						
担う部分を	,説明して								
ください。									
1. 成績評価	西(「科目 GP	A」) は学生/	が授業の達成目	標にどの	くらい	ハ到達してい	ハたかを表す数	汝値	であり,
授業アン	ンケートの	「到達度」の	数値は、学生が	(自分は	受業の	達成目標に	どのくらい到	達し	ていた
と思うの	のかを表す数	な値です。 教	育プログラムσ	ねらい	と照ら	し合わせて	, その2つの	数字	こをどの
ようにタ	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	11/2					
		「到達度」	「到達度」の回答分布			とう思う	10). 9	%
			ケート結果の	グラフ	そうた	思う		75	%
科目 GPA	2. 59	_	に到達しました		どちり	うでもない	14	l. 1	%
			!してください。	-	そう月	思わない		0	%
		·> EC PAR			全くる	とう思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	GPA は、学	生の得点の度数	対分布の	ピーク	60 点台にお	らることを反明	として	ている。
らいと照り	うし合わせ	しかしそれ	に比して学生だ	ぶ到達感	を感じ	ているのは	、想定したレ	ベル	が高か
て,科目GF	PA の数値と	ったが、学	生が自覚的には	は腎・泌	尿器科	学を理解で	きたと感じて	いる	ためで
「到達度」	の回答分布	あると考え	.る。						
	·解釈して								
いるか									
			学びがどれだり						
			ぶどれだけ学び						
		らし合わせ	て、その2つの	り数字を	どのよ	うに分析し	解釈している	かを	記入し
てくだる	さい。	ENTER IN IN							
			の回答分布			たう思う		7. 2	%
th II on	0.50		ケート結果の		そうに			9	%
科目 GPA	2. 59		きの一連の経験			らでもない		9. 4	%
			を得ましたか」	の値を		思わない]	6	%
+1+0	W = 1 m 1	転記してく	-	o distri		とう思わない	One has a complete. N = N	0	%
	グラムのね		答は肯定的であり						
	らし合わせ	_)結果は、「到達度 *4. ~※ベル	-				GPA2	.61 と標
	Aの数値と		≰生の学びが一定」					r re-	224 4 266 1
「達成感」	の回答分布	医学教育にお	sける基礎医学の <u>1</u>	重要性に鎖	証み、医	:字部医学科の	コンビテンシー	· 医	字知識と

をどう分析	<u>・</u> 解釈して	問題対応能力」を身に付けるための授業	をどう分析・解釈して 問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考える。							
いるか										
3. 成績評价	五(「科目 GP/	- A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であ	り,授業ア	マンケー					
トの「等	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値で	す。教育フ	プログラ					
ムのねり	ういと照らし	合わせて,その 2 つの数字をどの	ように分析し解釈している	るかを記力	してく					
ださい。										
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	50	%					
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	14. 1	%					
科目 GPA	2. 59	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	15. 6	%					
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	17. 2	%					
		記してください。	30 分未満	3. 1	%					
教育プロク	グラムのね	やや自習時間が多いが GPA は低いと考え	やや自習時間が多いが GPA は低いと考えられた。アンケートを参照するに腎の病理学につ							
らいと照ら	らし合わせ	いてやや難解な部分が多いのかもしれた	¿, 12							
て, 科目 GF	'A の数値と									
「学習時間	」の回答分									
布をどう分	・析・解釈し									
ているか										
4. 成績評価	西(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベル	レが適切て	ぎあった					
かどうた	かと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。							
想定したし	/ベルが適	GPA から考えると、想定したレベルは高	らすぎた可能性もある。							
切であった	かどうか									
その理由		適切であったと思う。想定したレベルに	は、○○学の初学者には少し高	かったが、	医学教育					
		は基礎→臨床→臨床研修→専門医と螺	旋的にレベルを高めながら再写	学習を繰り	返すプロ					
		セスであり、優秀な学生に最初に高い到	達点を提示することは中長期	的な意義が	あると考					
		える。								
期待された	た教育成果	教育成果は得られたのではないか	と思う。							
が得られた	かどうか									
そう言える	理由	GPA は GPA として、実習レポートでは、	大半の学生は未熟ながら腎・	泌尿器科学	を理解す					
		るための努力を行い一定の成果を得た。	と考えている。また試験では、	人半の学生	は膨大な					
		数の腎・泌尿器科学の名前を始め及第に	ニ値する腎・泌尿器科学の基礎	知識を獲得	したと考					
		えられる。								

ください。								
科目名		糖尿病・内分泌・代謝						
受講者数		記載不要 120名	授業アンケート回答率 57%				%	
授業の開講	日・時限	前期	対象学	年	3年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	針			思考・	・判断		
					技能	・知識		
その学位技	受与の方針	患者の身体的・心理的・社	上会的状!	態を利	科学的に評価	し、さまざま	ミな情	骨報を総
について,	この授業が	合して、適確に判断し、必	必要な行!	動が	できる。			
担う部分を	, 説明して	疾病の正確な診断と適切	な治療を	遂行	するための	福広い知識と	高度	な技法
ください。		を修得している。						
1. 成績評価	価(「科目 GP	A」) は学生が授業の達成目	標にどの	くら	い到達してい	いたかを表す	数値	であり,
授業ア	ンケートの	「到達度」の数値は、学生が	自分は打	受業の	の達成目標に	どのくらい至	達し	ていた
と思う	のかを表す数	文値です。 教育プログラムの	ねらいと	:照6	っし合わせて,	その2つの	数字	こをどの
ように	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	い。					
				強く	そう思う	1	0.1	%
		「到達度」の回答分布	<i>i</i> =	そう	思う	6	9. 6	%
科目 GPA	2. 89	※授業アンケート結果のク		どち	らでもない	2	0.3	%
		「授業目標に到達しました	2	そう	思わない		0	%
		の値を転記してください。		全く	そう思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	80%が「到達度」に肯定的	りな結果	であ・	ったことはよ	かった。GPA	2. 89	である
らいと照り	うし合わせ	ことに矛盾しないと判断す	ra.					
て,科目 GI	PA の数値と							
「到達度」	の回答分布							
をどう分析	・解釈して							
いるか								
2. 成績評価	西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだい	ナ成功し	てい	たかを表す数	(値であり、拷	発業ア	ンケー
トの「i	達成感」の数	値は、学生がどれだけ学びの	り手応え	を感	じていたかを	表す数値です	上。秦	対育プロ
グラム(のねらいと照	ろうし合わせて、その2つの)数字を	どの、	ように分析し	解釈している	うかを	記入し
てくだ	さい。							
		「達成感」の回答分布		強く	そう思う	1	4. 5	%
		※授業アンケート結果の	グラフ	そう	思う	7	3. 9	%
科目 GPA	2. 89	「この授業の一連の経験	を通し	どち	らでもない	1	0.1	%
		て,達成感を得ましたか」	の値を	そう	思わない		1.4	%
		転記してください。		全く	そう思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	学生の学びの手ごたえは肯定的	りな評価が	85%	でGPA2.89で	あることに矛	盾l	ないと
らいと照り	らし合わせ	判断する。達成感を感じて	こもらえ	なか・	った個別の理	曲が知りたい	١,	
て,科目 G	PA の数値と							

「達成感」	の回答分布				
をどう分析	- ·解釈して				
いるか					
3. 成績評価	ffi(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であ	り、授業アンケー	
トの「岩	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値で	す。教育プログラ	
ムのねら	らいと照らし	合わせて、その 2 つの数字をどの	ように分析し解釈している	5かを記入してく	
ださい。					
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	37.7 %	
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	20.3 %	
科目 GPA	2. 89	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	17.4 %	
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	17.4 %	
		記してください。	30 分未満	7.2 %	
教育プログラムのね 学習時間には学生による個人差が大きいことが分かった。少なくとも勉強時間をこちらで					
らいと照ら	らし合わせ	支持することはあまり意味はないと考え	える。		
て,科目 GF	PA の数値と				
「学習時間]」の回答分				
布をどう分	が析・解釈し				
ているか					
4. 成績評(価(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベノ	レが適切であった	
かどうた	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうかい	についてご記入ください。		
想定したし	レベルが適	GPA から考察すると、想定したレベルは	は妥当であった。		
切であった	かどうか				
その理由		適切であったと思われるが、初めての核	受業構成であり、初学者が基礎	医学知識と臨床医学	
		知識を連続にマスターしていくには時間	間が不足していると感じる。基i	遊医学を学問として	
		しっかり学ぶ姿勢が薄れることは、本質	質的な学力低下につながると危	:惧している。	
期待された	を教育成果	内分泌代謝学の初学者としての学びはつ	<u></u> できた。		
が得られた	かどうか				
そう言える	理由	大半の学生は合格水準の試験結果を得ら	。 られた。		

科目名	乳腺・産科・婦人科					
受講者数	記載不要 120 名	授業アン		1%		%
授業の開講日・時限	前期	対象学年		必修選択の別		必
達成する学位授与の方		7137-1		· 判断	<u> </u>	XC.
是从701团队1990	p-			• 知識		
その学位授与の方針	患者の身体的・心理的・社	上会的状態			こな信	事報を総
について、この授業が						,,,,,,
担う部分を,説明して	疾病の正確な診断と適切			幅広い知識と	高度	な技法
ください。	を修得している。					
1. 成績評価 (「科目 GF	L PA」)は学生が授業の達成目	標にどの。	くらい到達してい	へたかを表す	数値	であり、
授業アンケートの	「到達度」の数値は,学生が	・ 自分は授	業の達成目標に	どのくらい至	達し	ていた
と思うのかを表す数	女値です。 教育プログラムの	ねらいと	照らし合わせて	その2つの	数与	こをどの
ように分析し解釈し	しているかを記入してくださ	U.				
		Ē	触くそう思う		0	%
	「到達度」の回答分布		そう思う		100	%
科目 GPA 3.00	※授業アンケート結果のク		どちらでもない		0	%
	「授業目標に到達しました		そう思わない		0	%
	の値を転記してください。	3	全くそう思わない		0	%
教育プログラムのね	GPA は、学生の得点の平均	点が 79.8	点であることを	:反映している	5. ž	た、科
らいと照らし合わせ	目 GPA 3.00 であり、学生	とはほぼ同	程度の達成度を	感じていると	: 半月))	Fできる
て,科目GPAの数値と	が、アンケートの回収率を	と高くする	必要があると思	われる。		
「到達度」の回答分布						
をどう分析・解釈して						
いるか						
2. 成績評価 (「科目 GP.	A」) は学生の学びがどれだい	ナ成功して	いたかを表す数	(値であり、授	後業プ	ンケー
トの「達成感」の数	値は, 学生がどれだけ学びの	の手応えを	感じていたかを	表す数値です	上。 差	対育プロ
グラムのねらいと照	買らし合わせて、その2つの)数字をど	`のように分析し	解釈している	うかる	記入し
てください。						
- 1,120.0						
. 1,120	「達成感」の回答分布	Ē	強くそう思う		0	%
. (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果の		触くそう思う そう思う		0 100	%
科目 GPA 3.00		グラフ・				
	※授業アンケート結果の	グラフ <i>-</i> を通し .	そう思う		100	%
	※授業アンケート結果の 「この授業の一連の経験	グラフ - を通し - の値を -	そう思う どちらでもない		100	%
	※授業アンケート結果の 「この授業の一連の経験 て、達成感を得ましたか」	グラフ - を通し - の値を -	そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない		100 0 0	% % % %
科目 GPA 3.00	※授業アンケート結果の「この授業の一連の経験 て、達成感を得ましたか」 転記してください。 アンケートの内容からも受	グラフ - を通し - の値を	そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない 自分たちが授業	において達成	100 0 0 0 0	% % % % %

「達成感」	の回答分布	ている。		-	
をどう分析	- ・解釈して	医学教育における基礎医学の重要	性に鑑み、医学部医学科の:	コンピラ	テンシー
いるか		「医学知識と問題対応能力」を身	に付けるための授業として、	十分機	幾能して
		いると考える。			
3. 成績評価	西(「科目 GPA	- A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり,	授業で	マンケー
トの「刳	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値です。	,教育フ	プログラ
ムのねり	らいと照らし	合わせて,その 2 つの数字をどの	ように分析し解釈しているだ	いを記り	してく
ださい。					
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	0	%
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	100	%
科目 GPA	3. 00	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	0	%
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	0	%
		記してください。	30 分未満	0	%
教育プログラムのね やや自習時間が少ないが、科目 GPA 3.00 と良好で学生はかなり効率的な					図的な勉
らいと照ら	らし合わせ	強をしたとも理解できる。			
て,科目GF	PA の数値と				
「学習時間	」の回答分				
布をどう分	が析・解釈し				
ているか					
4. 成績評(西(「科目 GP	A」),および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベルな	が適切で	ごあった
かどうフ	かと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうかり	こついてご記入ください。		
想定したし	レベルが適	GPA から考えると、想定したレベ	ルは適切であったと思われる		
切であった	かどうか				
その理由		想定したレベルは、学生の得点の	平均点からも乳腺・産科・如	帚人科肖	きの初学
		者に対して適切なレベルであった	と思われる。		
期待された	と教育成果	教育成果は得られたのではないか	と思う。		
が得られた	かどうか				
そう言える	理由	大半の学生は乳腺・産科・婦人科	学を理解するための努力を	と行いー	-定の成
		果を得たと考えている。また試験	では、大半の学生は及第に値	直する乳	腺・産
		科・婦人科学の基礎知識を獲得し	たと考えられる。		

科目名		神経						
受講者数		記載不要 120 名	授業ア	ンケー	一卜回答率	30%		%
授業の開講	日・時限	前期	対象学	丰	3年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	針			思考	判断		
					技能	• 知識		
その学位技	受与の方針	患者の身体的・心理的・社	上会的状態	態を利	斗学的に評価	し、さまざま	な情	報を総
について,	この授業が	合して、適確に判断し、必	必要な行動	助がつ	できる。			
担う部分を	:, 説明して	疾病の正確な診断と適切:	な治療を	遂行	するための	幅広い知識と	高度	な技法
ください。		を修得している。						
1. 成績評価	価(「科目 GP	A」) は学生が授業の達成目	標にどの	くら	い到達してい	ヽたかを表す数	女値 つ	ごあり,
授業ア	ンケートの	「到達度」の数値は,学生が	自分は持	受業の)達成目標に	どのくらい到	達し	ていた
と思う	のかを表す数	で値です。教育プログラムの	ねらいと	:照ら	し合わせて	その2つの	数字	をどの
ように	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	V,					
,		「到法库」の同僚八大		強く·	そう思う	2	. 8	%
		「到達度」の回答分布	チニコ	そう。	思う	80	. 6	%
科目 GPA	科目 GPA 2.77	※授業アンケート結果のク		どち	らでもない	16	. 7	%
		「授業目標に到達しました	5 N 1 0)	そう。	思わない		0	%
		値を転記してください。		全く・	そう思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	GPA は学生の得点の度数分	布のピー	ークカ	5 70 点台にあ	っることを反映	:して	いる。
らいと照り	らし合わせ	学生の到達感とおおむね-	-致する約	吉果と	と考えられる	0		
て,科目 G	PA の数値と							
「到達度」	の回答分布							
をどう分析	庁・解釈して							
いるか								
2. 成績評価	西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだい	ナ成功し、	ていた	たかを表す数	(値であり, 授	業ア	ンケー
トの「ヨ	達成感」の数	d値は,学生がどれだけ学U	がの手 応え	えを原	某じていたか	を表す数値で	す。	教育プ
ログラ、	ムのねらいと	照らし合わせて、その2つ	つの数字を	をどの	つように分析	し解釈してい	るか	を記入
してく	ださい。							
·		「達成感」の回答分布		強く·	そう思う	11	. 1	%
		※授業アンケート結果の	グラフ	そう。	思う	66	. 7	%
科目 GPA	2. 77	「この授業の一連の経験	を通し	どち	らでもない	16	. 7	%
		て,達成感を得ましたか」	の値を	そう。	思わない	5	. 6	%
		転記してください。		全く·	そう思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	「達成感」の回答は十分に	上肯定的	であり	受講生は	自分たちが授	業に	おいて
らいと照り	らし合わせ	達成感を得たと感じている	る。この	結果	は、「到達度	」の回答結果	およ	び科目
	PA の数値と	GPA の結果と整合性があり			3 - x - xn.	and the first of the second		

「達成感」	の回答分布	られる。						
をどう分析	解釈して							
いるか								
3. 成績評価	西(「科目 GP.	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であ	り、授業ア	ンケー			
トの「4	学習時間」の)数値は、学生がどれだけ努力して	学んでいたかを表す数値	です。教育	プログ			
ラムのオ	ねらいと照ら	っし合わせて,その 2 つの数字をど	のように分析し解釈して	いるかを記	入して			
ください	, \ ₀							
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	44. 4	%			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	30.6	%			
科目 GPA	2.77	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	16.7	%			
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	5.6	%			
		記してください。	30 分未満	2.8	%			
教育プログ	教育プログラムのね 十分な自習時間により一定の学習成果を上げていると考えられる。積極的な							
らいと照ら	らし合わせ	自学態度が得られていると考える。						
て, 科目 GF	PA の数値と							
「学習時間	」の回答分							
布をどう分	が析・解釈し							
ているか								
4. 成績評価	西(「科目 GF	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベ	ルが適切で	あった			
かどうた	かと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。					
想定したし	レベルが適	適切であったと考えられる。						
切であった	かどうか							
その理由		比較的十分な学習時間により良好	な GPA 値が得られたため	想定したレー	ベルは			
		適切であったと考えられる。						
	た教育成果	期待された教育効果は得られたと	考えられる。					
が得られた								
そう言える	理由	良好な GPA 値と相関する学生の到						
		得られており、期待された教育效	果は得られているものと	考えられる。	0			
1								

くたさい。 科目名		運動器(筋	骨格)						
受講者数		記載不要	120名	授業ア	ンケー	- ト回答率	2%		%
授業の開講	青日・時限	自		対象学	年	3年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	針				思考	・判断		
						技能	・知識		
その学位技	受与の方針	患者の身体	的・心理的・剤	上会的状	態を和	斗学的に評価	iし、さまざま	きな情	青報を総
について,	この授業が	合して、適	確に判断し、	必要な行	動がつ	できる。			
担う部分を	:, 説明して	疾病の正確	な診断と適切	な治療を	2遂行	するための	幅広い知識と	高度	な技法
ください。		を修得して	いる。						
1. 成績評	価(「科目 GP	'A」) は学生か	ジ授業の達成目	標にどの	つくら	い到達して	ハたかを表す	数值	であり,
授業ア	ンケートの	「到達度」の	数値は,学生か	首分は	授業の)達成目標に	.どのくらい至	達し	ていた
と思う	のかを表す数	対値です。教	育プログラムの	ねらい	と照ら	し合わせて	, その2つの	数学	こをどの
ように	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	V,					
		「列凑度」	の回答分布		強く・	そう思う		50	%
			の回合分布 ケート結果のク	ブラフ	そう	思う		50	%
科目 GPA 2.8	2.80				どち	らでもない		0	%
			に到達しまし <i>†</i> してください。		そう	思わない		0	%
		の順を転記	してください。		全く・	そう思わない		0	%
教育プロタ	グラムのね	アンケート	回答率が低く1	E確には	言えた	よいが、科目	GPA は良より	高く	、授業
らいと照り	らし合わせ	目標にはほ	とんどの学生だ	ぶ到達で	きたと	と考えます。			
て,科目 G	PA の数値と								
「到達度」	の回答分布								
をどう分析	〒・解釈して								
いるか									
2. 成績評(価(「科目 GPA	A」) は学生の	学びがどれだり	ナ成功し	ていけ	たかを表す数	女値であり、授	そ業で	ンケー
トの「j	達成感」 の数	値は,学生が	どれだけ学び	の手応え	を感	じていたかを	表す数値です	上。 拳	対育プロ
グラム	のねらいと照	らし合わせて	て,その2つの)数字を	どのよ	ように分析し	解釈している	うかを	記入し
てくだ	さい。								
		「達成感」	の回答分布		強く・	そう思う		50	%
		※授業アン	ケート結果の	グラフ	そう	思う		50	%
	2.80	「この授業	の一連の経験	を通し	どち	らでもない		0	%
科目 GPA				の結ま	マシ	思わない		0	%
科目 GPA		て,達成感	を得ましたか」	の胆を	C / ,	Duts 1964		U	7.5
科目 GPA		て,達成感を転記してく		少順を		そう思わない			%
	グラムのね	転記してく			全く・	そう思わない		0	%
教育プロ	グラムのね らし合わせ	転記してく アンケート	ださい。	E確には	全く・ 言えた	- そう思わない ないが、科目	GPA は良より	0 高く	% .、ほと

「茶出廊」	の同ダハナ				1
「達成感」 をどう分析	の回答分布・解釈して				
をとり近例 いるか	 用件材でして				
	r /Ext = an	1.1 1.2 H A PH 7 (2.2) 2 1.2 1.2 2 2 2 1.4 1.1 1.1	ていよう たまよ粉は云れ 10	一种来一	2)
		A」) は学生の学びがどれだけ成功し			·
		数値は、学生がどれだけ努力して学			
		.合わせて,その 2 つの数字をどの	よりに分析し解釈している	いを記り	
ださい。		[] V 777 a L BB	o n+ 88 ()		0/
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	50	%
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	50	%
科目 GPA	2.80	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	0	%
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	0	%
		記してください。	30 分未満	0	%
教育プロク	ブラムのね	アンケート回答率が低く正確には	言えないが、科目 GPA は良	より高く	、ほと
らいと照らし合わせ		んどの学生が1週間あたり時間外	で 2 時間以上学習できてい	た。	
て,科目 GF	A の数値と				
「学習時間	」の回答分				
布をどう分	析・解釈し				
ているか					
4. 成績評価	ਜ਼(「科目 GP	A」), および上記の 3 つの検証作業	から見て,想定したレベル	が適切て	ぎあった
かどうた	いと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうかん	こついてご記入ください。		
想定したし	/ベルが適	適切であった。			
切であった	かどうか				
その理由		科目 GPA が良より少し良いため。			
期待された	こ教育成果	適切であった。			
が得られた	かどうか				
そう言える	理由	適切であった。ほとんどの学生が	授業目標に到達でき、達成	惑が得ら	れたと
		感じているため。			

科目名		視覚器							
受講者数		記載不要 120名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	7%		%	
授業の開講	日・時限	前期	対象学	年	3年	必修選択の別		必	
達成する学	位授与の方	針			思考	判断			
					技能	• 知識			
その学位技	受与の方針	患者の身体的・心理的・社	者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総						
について,	この授業が	合して、適確に判断し、必	必要な行!	動がて	ごきる。				
担う部分を	,説明して	疾病の正確な診断と適切	な治療を	遂行	するための「	幅広い知識と	高度	な技法	
ください。		を修得している。							
1. 成績評価	西(「科目 GP	A」) は学生が授業の達成目	標にどの	くら	い到達してい	いたかを表す	数値	であり,	
授業アン	ンケートの	「到達度」の数値は,学生が	5自分は打	受業の	達成目標に	どのくらい至	達し	ていた	
と思うの	と思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて,その2つの数字をどの								
ようにタ	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	<i>V</i> ,°						
		「到達度」の回答分布		強く	そう思う		0	%	
		※授業アンケート結果のク	ブラフ	そう月	思う		100	%	
科目 GPA 3.62	「授業目標に到達しました		どちに	らでもない		0	%		
		の値を転記してください。	-	そうに	思わない		0	%	
		· IECHIEO C VICCE		全く?	そう思わない		0	%	
教育プロク	ブラムのね	GPA は他の授業と比較して	こも比較に	的高い	>数値となっ	ている。アン	ケー	- 卜回答	
らいと照ら	らし合わせ	率が7%と非常に低い点を考慮する必要があるが、この数値は、回答した受講							
て, 科目 GF	A の数値と	生全員が、達成目標に到達	をしたと,	思って	こいるからと	考えられる。			
「到達度」	の回答分布								
をどう分析	・解釈して								
いるか									
		A」) は学生の学びがどれだい							
		値は、学生がどれだけ学びの		_					
		『らし合わせて, その 2 つℓ)数字を	どのよ	こうに分析し	解釈している	かる	記入し	
てくだる	えい。	535 B B							
		「達成感」の回答分布			そう思う		25	%	
61 H an.		※授業アンケート結果の		そう月	_		50	%	
科目 GPA	3. 62	「この授業の一連の経験		_	うでもない		25	%	
		て、達成感を得ましたか」	の値を		思わない		0	%	
+1 0	u- , - ;	転記してください。	د على جيات		そう思わない	D4-N-A	_	%	
	ブラムのね	これも回答率が低いことを							
	らし合わせ	であり、受講生は自分たち						-	
て,科目GF	A の数値と	結果は、「到達度」の回答	結果と整	合性	がある。教員	負の評価は GI	PA3.	62 と高	

「達成感」	の回答分布	く、受講生の学びが一定以上成功していたと判定している。							
をどう分析	解釈して	医学教育における基礎医学の重要	性に鑑み、医学部医学科の	コンピラ	テンシー				
いるか		「医学知識と問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能して							
		いると考えられる。							
3. 成績評価	近(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり	,授業フ	アンケー				
トの「学	学習時間」の	数値は,学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値です	。教育フ	プログラ				
ムのねら	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈している	かを記力	してく				
ださい。									
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	37. 5	%				
		※授業アンケート結果のグラフ 2時間以		0	%				
科目 GPA	3. 62	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	25	%				
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	25	%				
		記してください。	30 分未満	12.5	%				
教育プロク	ブラムのね	3 時間以上学習した受講生が最多であり、GPA はそれを反映して比較的高い							
らいと照ら	し合わせ	数値になっていると考えられる。							
て, 科目 GP	Aの数値と								
「学習時間	」の回答分								
布をどう分	析・解釈し								
ているか									
4. 成績評価	西(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベル	が適切て	であった				
かどうた	いと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうかん	こついてご記入ください。						
想定したし	/ベルが適	GPA から考えると、想定したレベ	ルは妥当だったと考えられる	5.					
切であった	かどうか								
その理由		適切であったと思う。今回は新カ	リキュラムとなってから初	めての授	受業であ				
		り、想定したレベルは眼科学の初学者にはやや高かったが可能性があるが、							
		GPA は 3.5 を超えており、受講生	は十分内容を理解できたの	ではない	いかと考				
		えている。							
期待された	:教育成果	教育成果は得られたのではないか	と思う。						
が得られた	かどうか								
そう言える	理由	前述のように GPA は 3.5 を超えて	いる上に、試験では2名以	外が合格	各点に達				
		した。学生は授業から学ぶことに	より、基本的なことから応	用まで、	臨床実				
		習を行う際に必要な知識は得られ	たと思う。						

科目名		頭頸部	頂頸部					
受講者数		記載不要 120名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	2%		%
授業の開請	日・時限	前期	対象学	年	3年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	針			思考	• 判断		
					技能	・知識		
その学位技	受与の方針	患者の身体的・心理的・社	:会的状態	態を科	学的に評価	iし、さまざま	な情	骨報を総
について,	この授業が	合して、適確に判断し、必	必要な行動	動がで	きる。			
担う部分を	,説明して	疾病の正確な診断と適切7	な治療を	遂行	するための	幅広い知識と	高度	な技法
ください。		を修得している。						
1. 成績評	価(「科目 GP	A」) は学生が授業の達成目標	票にどの	くらい	ハ到達してい	いたかを表す	数值	であり,
授業ア	ンケートの	「到達度」の数値は,学生が	自分は持	受業の	達成目標に	どのくらい郅	達し	ていた
と思う	のかを表す数	対値です。教育プログラムの	ねらいと	照ら	し合わせて	, その2つの	数字	ニをどの
ように	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	い。					
		「到達度」の回答分布		強くそ	そう思う		0	%
			ブラフ	そう思	思う		50	%
科目 GPA	3. 28	※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」		どちら	うでもない		50	%
			_///^]	そう思	思わない		0	%
		の値を転記してください。		全くそ	とう思わない		0	%
教育プロ	グラムのね	回答率が2%と低いため、	分析不能	能				
らいと照	らし合わせ							
て,科目 G	PA の数値と							
「到達度」	の回答分布							
をどう分析	・解釈して							
いるか								
2. 成績評(五(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ	け成功し`	ていた	かを表す数	(値であり, 授	業プ	ンケー
トの「i	達成感」 の数	値は,学生がどれだけ学びの)手応え	を感じ	じていたかを	表す数値です	上。秦	対育プロ
グラム	のねらいと照	ほうし合わせて, その 2 つの	数字を	どのよ	うに分析し	解釈している	かを	記入し
てくだ	さい。							
		「達成感」の回答分布		強くそ	そう思う		50	%
		※授業アンケート結果の	グラフ	そう思	思う		50	%
科目 GPA	3. 28	「この授業の一連の経験	を通し	どちら	らでもない		0	%
		て,達成感を得ましたか」	の値を	そう思	思わない		0	%
		転記してください。		全くそ	そう思わない		0	%
教育プロ	グラムのね							
らいと照	らし合わせ	回答率が2%と低いため、	分析不能	能				
	PA の数値と							

「達成感」	の回答分布				
をどう分析	・解釈して				
いるか					
3. 成績評価	西(「科目 GP.	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり),授業フ	マンケー
トの「き	学習時間」の	数値は, 学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値です	上。教育に	プログラ
ムのね	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈している	かを記り	ししてく
ださい。	,				
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	50	%
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	0	%
科目 GPA	3. 28	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	50	%
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	0	%
		記してください。	30 分未満	0	%
教育プロク	グラムのね				
らいと照り	うし合わせ	回答率が2%と低いため、分析不	能		
て, 科目 GI	PA の数値と				
「学習時間	引」の回答分				
布をどう分	が析・解釈し				
ているか					
4. 成績評価	価(「科目 GF	PA」), および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベル	が適切で	であった
かどう	かと、期待さ	いれた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。		
想定した	レベルが適				
切であった	かどうか				
その理由		回答率が2%と低いため、分析不	能		
期待され7	た教育成果				
が得られた	かどうか				
そう言える	理由	回答率が2%と低いため、分析不	能		

科目名		皮膚							
受講者数		記載不要	120名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	3%		%
授業の開講	日・時限	Ē	前期	対象学	年	3年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	針				思考	・判断		
						技能	・知識		
その学位技	受与の方針	患者の身体	的・心理的・참	土会的状	態を科	学的に評価	iし、さまざ	まな情	青報を総
について,	この授業が	合して、適	i確に判断し、i	必要な行	動がて	ごきる。			
担う部分を	, 説明して	疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法							
ください。		を修得して	いる。						
1. 成績評(価(「科目 GP	A」) は学生z	が授業の達成目	標にどの	くらり	い到達してい	ハたかを表す	数值	であり,
授業アン	ンケートの	「到達度」の	数値は,学生か	首分は	受業の	達成目標に	.どのくらい	到達し	ていた
と思うの	のかを表す数	です。教	育プログラムの	ねらい	ヒ照ら	し合わせて	, その2つ	の数写	三をどの
ようにタ	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	()°					
		「到達度」の回答分布		強くさ	そう思う		0	%	
			ケート結果のク	ゲラフ	そう月	思う		100	%
科目 GPA	3. 43		に到達しましか		どちり	うでもない		0	%
			に刃崖しょし, !してください。	-	そう月	思わない		0	%
			10 (\/		全くる	そう思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	GPA は、学	生の得点の度数	女分布の	ピーク	が 80 点台	にあること	を反り	もしてい
らいと照り	らし合わせ	る。同様に、学生が到達感を感じている。こちらの想定したレベルと、学生							
て、科目 GF	PA の数値と	の自覚的到	達度は、ほぼ-	一致して	いると	考える。			
「到達度」	の回答分布								
をどう分析	・解釈して								
いるか									
2. 成績評価	赿(「科目 GP』	A」) は学生の	学びがどれだり	ナ成功し	ていた	こかを表す数	文値であり, 技	受業プ	アンケー
トの「這	達成感」 の数	値は、学生か	ぶどれだけ学びの	の手応え	を感し	じていたかを	表す数値で	す。耄	女育プロ
グラムの	のねらいと照	らし合わせ	て、その2つの	り数字を	どのよ	こうに分析し	解釈してい	るかを	記入し
てくだる	さい。								
		「達成感」	の回答分布		強くる	そう思う		0	%
		※授業アン	ケート結果の	グラフ	そう月	思う		100	%
科目 GPA	3. 43	「この授業	きの一連の経験	を通し	どちら	らでもない		0	%
		て,達成感	を得ましたか」	の値を		思わない		0	%
		転記してく	ださい。		全くさ	そう思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	「達成感」	の回答は肯定的	勺であり	、受請	孝生は、自分	たちが授業	こおり	\て達成
	うし合わせ		感じている。こ						
て,科目 GF	PA の数値と	教員の評価	iは GPA3. 43 と高	島く、受調	芽生の:	学びが成功	していたと判	定し	ている。

の回答分布	皮膚科学の授業の目標は達成され	ていると考える。					
·解釈して							
西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり、	授業フ	アンケー			
トの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラ							
らいと照らし	合わせて,その 2 つの数字をどの	ように分析し解釈しているカ	ゝを記ノ	してく			
	「学習時間」の回答分布	3 時間以上	25	%			
	※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	25	%			
3. 43	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	0	%			
	外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	50	%			
	記してください。	30 分未満	0	%			
ブラムのね	GPA はそれほどばらつきがなかっ	たが、自習時間が学生によっ	て異な	よる。学			
うし合わせ	生は効率的に勉強したものもあれ	ば、皮膚科学に興味を持って	勉強し	てもの			
Aの数値と	もいるかもしれない。						
」の回答分							
・析・解釈し							
西(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベルか	適切で	であった			
いと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	こついてご記入ください。					
レベルが適	GPA から考えると、想定したレベ	ルは適切であったと考える。					
かどうか							
	想定したレベルは、当初、皮膚科	学の初学者には少し高いと考	きえたか	び、非常			
	に満足できる結果であったことと	、授業アンケートもそれを裏	髪打ちし	ている			
	と考えたため。						
た教育成果	教育成果は得られたのではないか	と思う。	-				
かどうか							
理由	GPA の結果は、教育者としては満	足いくものであったため、皮	泛 膚科学	2の基礎			
	知識を得られたと考える。						
	・解釈して 「科目 GP」 「科目 GP」 「おいと E S N A S	・解釈して 面(「科目 GPA」) は学生の学びがどれだけ成功した習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学らいと照らし合わせて、その2つの数字をどの 「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1週間あたりどのくらい時間 外で学習しましたか。」の値を転記してください。 グラムのね GPA はそれほどばらつきがなかっちし合わせ 生は効率的に勉強したものもあれるの数値と もいるかもしれない。 「(「科目 GPA」)、および上記の3つの検証作業かと、期待された教育成果が得られたかどうかいがあ GPA から考えると、想定したレベルが適 GPA から考えると、想定したレベルが適けませた。 と教育成果 教育成果は得られたのではないかかどうか 理由 GPA の結果は、教育者としては満	(「科目 GPA」) は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、	(「科目 GPA」) は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業では時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育であいと照らし合わせて、その2つの数字をどのように分析し解釈しているかを記り、授業アンケート結果のグラフ 2時間以上3時間未満 25 1時間以上2時間未満 0 外で学習しましたか。」の値を転記してください。 30分以上1時間未満 50 30分以上1時間未満 50 30分以上1時間未満 50 40分と 4 はそれほどばらつきがなかったが、自習時間が学生によって異なるの数値ともいるかもしれない。 は何日 GPA はそれない。 で見るかともいるかもしれない。 「「科目 GPA」」、および上記の3つの検証作業から見て、想定したレベルが適切でかた、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。 でいんが適 GPA から考えると、想定したレベルは適切であったと考える。かどうか 想定したレベルは、当初、皮膚科学の初学者には少し高いと考えたがに満足できる結果であったことと、授業アンケートもそれを裏打ちした考えため。 な育成果 教育成果は得られたのではないかと思う。 かどうか 理由 GPA の結果は、教育者としては満足いくものであったため、皮膚科学のがといいのであったため、皮膚科学のがあるたため、皮膚科学の初学者には少し高いと考えたが、と考えたため。 な育成果 教育成果は得られたのではないかと思う。 かどうか 理由 GPA の結果は、教育者としては満足いくものであったため、皮膚科学のがあるたため、皮膚科学のがあるたため、皮膚科学のがあるないのであったため、皮膚科学のがあるたため、皮膚科学のがあるない。 ないまに、教育成果 教育成果は、教育者としては満足いくものであったため、皮膚科学			

ください。								
科目名		心理学・行動科学						
受講者数		記載不要 120名	授業ア	ンケ	ート回答率	18%		%
授業の開講	日・時限	前期	対象学	年	3年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	針			意欲	・態度		
					コミュニク	ケーション		
その学位接	受与の方針	温かい人間性や高い倫理額	見を裏付	ける	冨広い教養を	身につけ、社	:会の	健全な
について,	この授業が	発展のために行動できる。						
担う部分を	,説明して	医師としての高い見識と訓	成実な態	度を	身につけ、病	める人を救う	強い	情熱を
ください。		持っている。						
		患者やその家族と十分な意	意思の疎	通がで	でき、医療の	みならず保賃	や福	番祉の関
		係者と良好な関係を築くこ	ことで、	チー・	ム医療を推進	する能力を持	す って	こいる。
1. 成績評価	西(「科目 GP	A」)は学生が授業の達成目	標にどの	くら	い到達してい	いたかを表す	数値	であり,
授業アン	ンケートの	「到達度」の数値は、学生が	5自分は打	受業の	の達成目標に	どのくらい至	達し	ていた
と思うの	のかを表す数	文値です。教育プログラムの	ねらいと	:照6	っし合わせて,	, その2つの	数学	こをどの
ようにタ	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	γ ₀					
		 「到達度」の回答分布		強く	そう思う	1	3. 2	%
		※授業アンケート結果のグ 「授業目標に到達しました	ブラフ	そう	思う	6	8. 2	%
科目 GPA	3. 10		· ·	どち	らでもない	1	3. 6	%
		の値を転記してください。	-	そう	思わない		0	%
		の値を報配してください。		全く	そう思わない		0	%
教育プロク	ブラムのね	GPA は、学生の得点の度数	女分布の	ピー	クが 80 点台	にあることを	:反明	もしてお
らいと照ら	らし合わせ	り、学生の到達感に比例し	た結果	を示	しているもの	と考える。		
て, 科目 GP	A の数値と							
「到達度」	の回答分布							
をどう分析	・解釈して							
いるか								
2. 成績評価	m(「科目 GPA	A」)は学生の学びがどれだい	ナ成功し	てい	たかを表す数	(値であり、授	業プ	ンケー
トの「道	を成感」の数	値は、学生がどれだけ学びの	の手応え	を感	じていたかを	表す数値です	上。奉	女育プロ
グラムの	のねらいと照	引らし合わせて, その 2 つ <i>0</i>	数字を	どの。	ように分析し	解釈している	かを	記入し
てくださ	さい。							
		「達成感」の回答分布		強く	そう思う	13	3. 2	%
		※授業アンケート結果の	グラフ	そう	思う	6	3. 6	%
科目 GPA	3. 10	「この授業の一連の経験	を通し	どち	らでもない	1	3. 6	%
		て,達成感を得ましたか」	の値を	そう	思わない		4. 5	%
		転記してください。		全く	そう思わない		0	%
教育プロク	ブラムのね	「達成感」の回答は肯定的であ	らり、受講	生は、	自分達が授業	において達成感	を得	たと感じ

らいと照ら	らし合わせ	ている。この結果は、「到達度」の回答	結果と整合性がある。教員の評価	₺ GPA3	3.10 と高		
て,科目 GP	A の数値と	く、受講生の学びが成功していたと評価	fしている。				
「達成感」	の回答分布	医学教育において重要な人間性、高い倫	i理観、コミュニケーション能力を	身につ	けるため		
をどう分析	・解釈して	の授業として、十分機能していると考え	こる。				
いるか							
3. 成績評価	西(「科目 GP/	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり、	授業ア	ンケー		
トの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラ							
ムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してく							
ださい。							
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	0	%		
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	0	%		
科目 GPA	3. 10	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	0	%		
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	50	%		
		記してください。	30 分未満	50	%		
教育プロク	ブラムのね	学生に考えるためのヒントとなる先達の)理論を伝え、それについて深く思	素させ	ることを		
らいと照らし合わせ 意識した授業を行ったことから、成績評価は知識の定着を見る試験だけでなく、学生				学生個々			
て, 科目 GP	A の数値と	の考え方をみるためのレポートをかなり重視した。自習時間は少ないのに GPA が高かった					
「学習時間	」の回答分	ことは、学生が授業に刺激を受けて自分	なりに深く考察できた結果ではな	いかと	考えてい		
布をどう分	析・解釈し	ప .					
ているか							
4. 成績評価	缶(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベルが	適切て	であった		
かどうた	いと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうかり	こついてご記入ください。				
想定したし	/ベルが適	GPA から考えると、想定したレベルは適	切であったと考える。				
切であった	かどうか						
その理由		臨床の現場に出る前に、医師となる自分	自身を深く見つめる機会となる授	業を提	供し、そ		
		れに対して学生もよくその期待にこたえ	たた結果が示されたものと評価して	おり、	レベルと		
		して不適切であったとは思われない。					
期待された	と教育成果	教育成果は得られたのではないかと考え	こる。				
が得られた	かどうか						
そう言える	理由	GPA の結果が示すだけでなく、授業終了	後に教員のもとに自身の悩みや他	者との	関わり方		
		に対する疑問を相談に来る学生が、多く	はないが一定数いたことも踏まえ	ると、	教育成果		
		とは言いきれないかもしれないが、学生	に何らかの一石を投じ、自身の成	長につ	ながるき		
		っかけを与えた授業にはなったのではな	いかと考える。				

科目名		ユニット講	義(呼吸器)						
受講者数		記載不要	115 名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	23%		%
授業の開講	日・時限	Ē	前期	対象学	年	4年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	計				技能	• 知識	•	
その学位的	受与の方針	疾病の正確	産な診断と適切	な治療を	と遂行	するための	幅広い知識と	と高度	な技法
について,	この授業が	を修得して	いる。						
担う部分を	, 説明して								
ください。									
1. 成績評価	西(「科目 GP	A」) は学生z	が授業の達成目	標にどの	つくらり	い到達して	いたかを表す	数值	であり,
授業アン	ンケートの	「到達度」の	数値は、学生が	5自分は	授業の	達成目標に	こどのくらいヨ	削達し	ていた
と思うの	のかを表す数	です。教	育プログラムの	ねらい	と照ら	し合わせて	, その2つ	の数学	こをどの
ようにタ	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	()°					
ı		「到達度」	の回答分布		強くる	そう思う	3	33. 3	%
ĺ			ケート結果のク	ゲラフ	そう月	思う	(51. 9	%
科目 GPA 2.	2. 55		ァー ねホック に到達しました		どちり	うでもない	1	14.8	%
			に凶圧しよし, !してください。	-	そう月	思わない		0	%
		42 JE C 724C	10 (\/		全くる	そう思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	「到達度」	の回答は肯定的	勺であり	、受講	孝生は、自分	分たちが授業 (の達成	え目標に
らいと照り	らし合わせ	到達してい	ると判断してい	る。教	員の評	価は GPA 2.	. 55 であり、	受講生	Eがこの
て,科目GF	PA の数値と	授業の達成	目標を正しく理	里解し、	学習し	ていると考	きえられる。[医学音	『医学科
「到達度」	の回答分布	のコンピテ	ンシー「医学知	旧識と問	題対応	能力」を身	∤に付けるた≀	めの授	業とし
をどう分析	·解釈して	て、十分機	能していると	考える。					
いるか									
2. 成績評価	ffi(「科目 GP』	A」) は学生の	学びがどれだり	ナ成功し	ていた	こかを表す数	汝値であり, 扌	受業プ	ンケー
			ぶどれだけ学びの	–					
		らし合わせ	て,その2つの	り数字を	どのよ	こうに分析し	解釈してい.	るかを	記入し
てくだる	さい。	E34- N. N							
1			の回答分布			そう思う		18. 1	%
A II an			ケート結果の		そう月		4	14. 4	%
科目 GPA	2. 55		きの一連の経験			らでもない		3. 7	%
			を得ましたか」	の値を		思わない		3. 7	%
*4 *> -0	#= 1 m !-	転記してく		0 115 1 		そう思わない		0	%
	グラムのね		の回答はかなり						
	らし合わせ		·得たと感じてレ · rat ハ マナ	- 0 0.					
	Aの数値と		度を十分である						
「達成感」	の回答分布	- 医字知識	と問題対応能力	リ」を身	に付り	「るための形	え来として、-	十分税	絶形して

をどう分析	デ・解釈して	いると考える。						
いるか								
3. 成績評価	西(「科目 GP.	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり	,授業ア	ンケー			
トの「き	学習時間」の	数値は, 学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値です	。教育フ	プログラ			
ムのね	ムのねらいと照らし合わせて、その2つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してく							
ださい。	,							
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	25. 9	%			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	11. 1	%			
科目 GPA	2. 55	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	25. 9	%			
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	29.6	%			
		記してください。	30 分未満	7.4	%			
教育プロタ	グラムのね	学習時間が多い学生と少ない学生	に2極化している。50%以上	の受講生	Eが 1 週			
らいと照り	らし合わせ	間あたりの時間外学習時間が1時	間未満であるが、そのよう	な学生に	はかなり			
て,科目 GI	て、科目 GPA の数値と 効率的な勉強をしたとも理解できる。							
「学習時間	引」の回答分	学習時間と到達度および達成感の	相関を分析し、学習時間に	みあった	こ GPA が			
布をどう分	が析・解釈し	得られているかの評価する必要が	ある。					
ているか								
4. 成績評価	価(「科目 GF	'A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベル	が適切て	ぎあった			
かどう;	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうかん	こついてご記入ください。					
想定した「	レベルが適	GPA から考えると、想定したレベ	ルはやや高かった可能性も	ある。				
切であった	かどうか							
その理由		「到達度」と GPA の整合性は取れ	ているが、やや想定レベル	が高かっ	た可能			
		性がある。時間外学習時間が少な	い学生が多かったことが影	響してレ	る可能			
		性がある。						
	た教育成果	概ね十分であった。						
が得られた								
そう言える	理由	科目 GPA、学生の「到達度」「達成						
	教育成果を得るために、時間外学習を促すような取り組みが必要である。							

科目名		ユニット講義(消化器)	ユニット講義(消化器)					
受講者数		記載不要 115名	授業ア	ンケー	ート回答率	37%		%
授業の開講	日・時限	前期	対象学	年	4年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	針			技能	• 知識		
その学位を	受与の方針	疾病の正確な診断と適切	な治療を	遂行	するための「	幅広い知識と高	度	な技法
について,	この授業が	を修得している。						
担う部分を	,説明して							
ください。								
1. 成績評価	ਜ਼(「科目 GP	A」)は学生が授業の達成目	標にどの	つくら	い到達してい	へたかを表す数	値~	であり、
授業アン	ノケートの	「到達度」の数値は,学生な	が自分は	授業の	達成目標に	どのくらい到達	匿し	ていた
と思うの	りかを表す数	対値です。教育プログラムの	つねらい。	と照ら	し合わせて	, その2つの数	女字	をどの
ようにタ	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	۲۱۰° م					
		「到達度」の回答分布		強く・	そう思う	20.	9	%
		・到達及」の回各が中 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」		そう	思う	76.	7	%
科目 GPA	3.05			どち	らでもない	2.	3	%
		の値を転記してください。	_	そう	思わない		0	%
		シ 直で 我にして へんごく	1	全く・	そう思わない		0	%
教育プログラムのね GPA は、学生の得点の度数分布のピークが 70 点台にあることを反映してい								
らいと照り	っし合わせ	る。しかしそれに比して	学生が到	達感を	を感じている	のは、想定した	ニレ	ベルが
て, 科目 GF	Aの数値と	高かったが、学生が自覚的	的には消	化器内	内科学を理解	できたと感じて	こしい	るため
「到達度」	の回答分布	であると考える。						
をどう分析	・解釈して							
いるか								
2. 成績評価	ET(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだ	け成功し	ていけ	こかを表す数	(値であり, 授美	きア	ンケー
		値は、学生がどれだけ学び						-
		引らし合わせて, その 2 つo	の数字を	どの』	ように分析し	解釈しているだ	ゝを	記入し
てくだる	えい。	T =						
		「達成感」の回答分布			そう思う	34.		%
		※授業アンケート結果の			思う	60.		%
科目 GPA	3. 05	「この授業の一連の経験			らでもない	4.		%
		て、達成感を得ましたか」	の値を		思わない		0	%
		転記してください。			そう思わない		0	%
教育プロク		「達成感」の回答は肯定的で						
	っし合わせ	じている。この結果は、「到達					GP/	13.05 と
て、科目 GP		標準的で、受講生の学びが一						
「達成感」	の回答分布	医学教育における基礎医学の	重要性に鎖	監み、医	医学部医学科の	コンピテンシー	医生	学知識と

をどう分析	をどう分析・解釈して 問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考える。							
いるか								
3. 成績評価	西(「科目 GP.	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり),授業ア	ンケー			
トの「≜	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値です	ナ。教育フ	プログラ			
ムのね	ムのねらいと照らし合わせて,その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してく							
ださい。	>							
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	18.6	%			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	18.6	%			
科目 GPA	3. 05	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	25.6	%			
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	30. 2	%			
		記してください。	30 分未満	7	%			
教育プロタ	グラムのね	やや自習時間が少ないが、学生はかなり	効率的な勉強をしたとも理解	できる。も	う少し自			
らいと照り	らし合わせ	習が増えれば、GPA はもっと上がること	が期待され、学生には十分なん	申びしろが	あると考			
て,科目 GI	て、科目 GPA の数値と えられる。							
「学習時間	引」の回答分							
布をどう分	が析・解釈し							
ているか								
4. 成績評価	価(「科目 GF	PA」), および上記の3つの検証作業	から見て, 想定したレベル	/が適切て	ぎあった			
かどう;	かと,期待さ	られた教育成果が得られたかどうかい	こついてご記入ください。					
想定した	レベルが適	GPA から考えると、想定したレベルは高	fすぎた可能性もある。					
切であった	かどうか							
その理由		適切であったと思う。想定したレベルは	は、消化器内科学の初学者には	少し高かっ	たが、医			
		学教育は基礎→臨床→臨床研修→専門	医と螺旋的にレベルを高めなか	ら再学習	を繰り返			
		すプロセスであり、優秀な学生に最初に	高い到達点を提示することは「	中長期的な	意義があ			
		ると考える。						
期待され7	た教育成果	教育成果は得られたのではないかと思う	Ď.,					
が得られた	かどうか							
そう言える	理由	GPA は GPA として、実習レポートでは、	大半の学生は未熟ながら消化器	器内科学を	理解する			
		ための努力を行い一定の成果を得たとま	考えている。 また試験では、人 [*]	半の学生は	膨大な数			
		の名前を始め及第に値する消化器内科等	学の基礎知識を獲得したと考え	られる。				

科目名		ユニット講	義 (感染症)						
受講者数		記載不要	115 名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	30%		%
授業の開講	日・時限	Ī	前期	対象学	年	4年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	計				技能	• 知識		
その学位的	受与の方針	疾病の正確	産な診断と適切	な治療を	遂行	するための	幅広い知識と	高度	な技法
について,	この授業が	を修得して	いる。						
担う部分を	, 説明して								
ください。									
1. 成績評価	西(「科目 GP	A」) は学生/	が授業の達成目	標にどの	つくら	い到達してい	ハたかを表す	数值	であり,
授業アン	ンケートの	「到達度」の	数値は、学生が	首分は	授業の	達成目標に	.どのくらい至]達し	ていた
と思うの	のかを表す数	でです。教	育プログラムの	ねらい	と照ら	し合わせて	, その2つの	つ数字	こをどの
ようにタ	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	()°					
		「到達度」	の回答分布		強く	そう思う	1	7. 1	%
			・シロ合力型 ・ケート結果のク	グラフ	そうた	思う	6	2. 9	%
科目 GPA	2. 55	_	ァー ねホック に到達しました		どちに	うでもない	1	4. 3	%
			に凶圧しよし, !してください。	_	そう月	思わない		5. 7	%
		▼ 日 で 特別に	10 (\/		全く	そう思わない		0	%
教育プロク	グラムのね	「到達度」	の回答はおおむ	プね肯定	的とい	ヽえ、受講生	は、自分たち	っが授	業の達
らいと照り	うし合わせ	成目標に到	達しているとキ	判断して	いる。	教員の評価	は GPA 2.55~	であり)、受講
て、科目 GF	PA の数値と	生がこの授	業の達成目標を	と正しく	理解し	、学習して	いると考えら	られる	。医学
「到達度」	の回答分布	部医学科の	コンピテンシー	- 「医学	知識と	問題対応能	力」を身に作	けける	ための
をどう分析	·解釈して	授業として	、十分機能して	ていると	考える) o			
いるか									
2. 成績評価	五(「科目 GPA	A」) は学生の	学びがどれだり	ナ成功し	ていた	こかを表す数	文値であり, 持	受業ア	ンケー
			らどれだけ学びの	–					
グラムの	のねらいと照	らし合わせ	て、その2つの	り数字を	どのよ	こうに分析し	解釈している	らかを	記入し
てくだる	さい。								
İ			の回答分布		強く	そう思う	2	5. 7	%
1		※授業アン	ケート結果の	グラフ	そうた	思う	5	4. 3	%
科目 GPA	2. 55		きの一連の経験			らでもない		4. 3	%
		て,達成感	を得ましたか」	の値を		思わない		5. 7	%
		転記してく				そう思わない		0	%
	グラムのね		の回答はおおむ						
	らし合わせ		を得たと感じて				·		
	A の数値と		達度を十分です						
「達成感」	の回答分布	一「医学知	職と問題対応能	も力」を	身に作	けけるための	授業として、	十分	機能し

をどう分析	 ・解釈して	ていると考える。					
いるか							
3. 成績評价	————— 西(「科目 GP/	I A」)は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり	り,授業7	マンケー		
トの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラ							
ムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してく							
ださい。							
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	14. 3	%		
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	8.6	%		
科目 GPA	2. 55	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	20	%		
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	37. 1	%		
		記してください。	30 分未満	20	%		
教育プロク	グラムのね	学習時間が多い学生と少ない学生	に2極化している。50%以」	上の受講生	上が1週		
らいと照り	らし合わせ	間あたりの時間外学習時間が1時	間未満であるが、そのよう	うな学生に	はかなり		
て, 科目 GF	て、科目 GPA の数値と 効率的な勉強をしたとも理解できる。						
「学習時間	引」の回答分	学習時間と到達度および達成感の	相関を分析し、学習時間に	こみあった	こ GPA が		
布をどう分	が析・解釈し	得られているかの評価する必要が	ある。				
ているか							
4. 成績評価	西(「科目 GP	A」),および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベバ	レが適切で	であった		
かどうた	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうかん	についてご記入ください。				
想定したし	/ベルが適	GPA から考えると、想定したレベ	ルはやや高かった可能性も	ある。			
切であった	:かどうか						
その理由		「到達度」と GPA の整合性は取れ	ているが、やや想定レベル	レが高かっ	った可能		
		性がある。時間外学習時間が少な	い学生が多かったことが影	Ӳ響して↓	\る可能		
		性がある。					
期待された	た教育成果	概ね十分であった。					
が得られた							
そう言える	理由	科目 GPA、学生の「到達度」「達成		_			
	教育成果を得るために、時間外学習を促すような取り組みが必要である。						

科目名		ユニット講	義(免疫・アレ	/ルギー)			ユニット講義(免疫・アレルギー)					
受講者数		記載不要	115名	授業ア	ンケー	- ト回答率	43%		%				
授業の開講	日・時限	Ė	前期	対象学	年	4年	必修選択の別		必				
達成する学	位授与の方	計				技能	知識						
その学位指	受与の方針	免疫異常に	起因した疾患	(膠原病	・アレ	ルギー・免	疫不全)の基	礎的	事項と				
について,	この授業が	症候学、診	断法および治療	き法につ	いて等	どぶ。将来、	医師として、	疾患	の正確				
担う部分を	, 説明して	な診断と適	i切な治療を遂行	行するた	めの	幅広い知識	と技法を習得	する	ことを				
ください。		目的とする	的とする。										
1. 成績評価	価(「科目 GP	A」)は学生だ	A」)は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、										
授業アン	ンケートの	「到達度」の	数値は、学生が	自分は	受業の	達成目標に	どのくらい到	達し	ていた				
と思うの	のかを表す数	です。教	育プログラムの	ねらい	ヒ照ら	し合わせて	, その2つの	数字	こをどの				
ようにタ	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	ر با در با									
		「到幸産」	の回答分布		強く	そう思う		24	%				
			ケート結果のク	ブラフ	そうた	思う		68	%				
科目 GPA	3. 10		に到達しました		どちに	うでもない		8	%				
			してください。	-10]	そう月	思わない		0	%				
		47 匝 6 4410			全くさ	そう思わない		0	%				
教育プロク	グラムのね	本講義の G	PA は、学生の律	景点の度	数分柱	Fが 80 点台:	をピークに約	65%	が 80 点				
らいと照り	うし合わせ	以上得点で	きたことを反明	やしたと	判断す	る。また学	生の到達感は	「そ	う思う」				
て,科目GF	PA の数値と	以上が 90%	を超えており、	広い専	門分里	予を網羅しな	ければならな	い館	域では				
「到達度」	の回答分布	あるが、学	生の大半が「免	疫とは	、アレ	·ルギーとは	、そして膠原	病よ	およびア				
をどう分析	f・解釈して	レルギー性	疾患の概略を理	里解でき	たと評	呼価する。							
いるか													
2. 成績評価	ਜ਼(「科目 GP』	l」) は学生の	学びがどれだい	ナ成功し	ていた	こかを表す数	(値であり, 授	業ア	ンケー				
			どれだけ学びの	–									
		らし合わせ	て、その2つの)数字を	どのよ	こうに分析し	解釈している	かを	記入し				
てくだる	さい。												
			の回答分布			そう思う		32	%				
		_	ケート結果の		そうた			56	%				
科目 GPA	3. 10		の一連の経験			らでもない		12	%				
			を得ましたか」	の値を		思わない		0	%				
tat —ba 0		転記してく				そう思わない		0	%				
	グラムのね		も「到達度」と										
	うし合わせ		内容を丸覚え					_					
	PA の数値と	-	個別のコメント										
「達成感」	の回答分布	に結びつい	たことが感じ頃	又れる。	その-	・万で、 どち	らでもない」	学生	の頻度				

をどう分析	・解釈して	と低得点(40~60%台)の頻度が近似しており、理解が追いついていないこと						
いるか		への回答である可能性も懸念され	た。					
3. 成績評価	匠(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり、	受業ア	ンケー			
トの「賞	全習時間」の	数値は,学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値です。	教育フ	プログラ			
ムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してく								
ださい。								
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	8	%			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	4	%			
科目 GPA	3. 10	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	30	%			
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	36	%			
		記してください。	30 分未満	22	%			
教育プロク	ブラムのね	「達成感」「到達度」とは解離した	内訳と考える必要がある。全位	本的に	には自習			
らいと照ら	らし合わせ	時間が少なく、一方で頻度のバラ	ツキが見られることから個人	差は考	ぎ慮され			
て、科目 GPA の数値と る。効率的な勉強をしたとも理解できるが、もう少し自習が増えれば、「達					、「達成			
「学習時間」の回答分 感」「到達度」と合わせて考慮するに、GPA はもっと上がることが期待され				される。				
布をどう分析・解釈し 学生には十分かつ効率的な学習を行わせる工夫が必要かもしれない。								
ているか								
4. 成績評価	ਜ਼(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベルが	適切て	ごあった			
かどうた	いと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうかん	こついてご記入ください。					
想定したい	/ベルが適	GPA の結果からは、想定したレベ	ルは妥当と考える。					
切であった	かどうか							
その理由		想定したレベルは、臨床実習に入	る前に最低限に習得すべき内容	容で構	靖成され			
		ており、「できる・できない」にか	かわらず、医師として将来を	担うり	人上は身			
		につける必要がある。「達成感」「	到達度」の評価からは、学生的	則から	しても			
		決して無理のないレベルであるこ	とが考察される。段階を追って	て高い	ヽレベル			
		を目指すことは良いが、このレベ	ルを下げることは妥当ではなり	ν _ν ,				
期待された	に教育成果	講義を通じての教育成果は得られ	たと思う。					
が得られた	かどうか							
そう言える	理由	GPA や「達成感」「到達度」の評価z	からは、期待された教育成果と	判断	できる。			
		一方で、学習時間のバラツキや全化	本的に学習時間が少ないことに	ま、(個	1人の効			
		率は考慮されるべきも) 期末試験	で全員が合格に達しない(極い	帯に低	ほ得点の			
		学生が見受けられる) 問題には直	結すると思う。					

科目名		ユニット講義 (成長発達)						
受講者数		記載不要 115 名	授業ア	ンケート回	答率	8%		%
授業の開講	日・時限	前期	対象学	年 4	年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	計		1	技能	知識		
その学位持	受与の方針	疾病の正確な診断と適切な	な治療を	·遂行する/	こめの	幅広い知識と	高度	まな技法
について,	この授業が	を修得している。						
担う部分を	,説明して							
ください。								
1. 成績評値	価(「科目 GP	A」) は学生が授業の達成目	票にどの	くらい到達	をしてい	ハたかを表す数	女値	であり,
授業アン	ンケートの	「到達度」の数値は,学生が	自分は持	受業の達成	目標に	ぎのくらい到	達し	していた
と思うの	のかを表す数	は値です。教育プログラムの	ねらいと	照らし合	わせて	, その2つの	数与	字をどの
ようにク	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	い。					
				強くそう思	う	44	. 4	%
			※授業アンケート結果のグラフ			55	. 6	%
科目 GPA	2. 70	「授業目標に到達しました		どちらでも	ない		0	%
		の値を転記してください。	_///-]	そう思わな	\ \ \		0	%
		マード マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		全くそう思	わない		0	%
教育プロク	グラムのね	到達度の回答は肯定的であ	っるが、(GPA を上回	った肯	定的な回答と	ЬV	ヽえる。
らいと照り	らし合わせ	回答率が低いため、GPA 上位	位者の回]答が多かっ	ったの	ではないかとう	7.想	される。
て,科目 GF	PA の数値と	回答率自体が上がるように	努める。	必要がある	٥			
「到達度」	の回答分布							
をどう分析	f・解釈して							
いるか								
2. 成績評価	西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ	け成功し	ていたかを	表す数	対値であり, 授	業プ	アンケー
		値は、学生がどれだけ学びの						
		引らし合わせて,その 2 つの)数字を	どのように	分析し	解釈している	かき	記入し
てくだ	さい。							
		「達成感」の回答分布		強くそう思	う		. 4	%
		※授業アンケート結果の		そう思う			. 4	%
科目 GPA	2. 70	「この授業の一連の経験を				22	. 2	%
		て,達成感を得ましたか」。	の値を	そう思わな			0	%
		転記してください。		全くそう思			0	%
教育プロク	グラムのね	GPA を反映した達成感の結	果と解釈	界できる。	標準的	GPA であり、	学生	との学び
	らし合わせ	が一定以上成功していたと	:判定し	ている。				
	PA の数値と							
「達成感」	の回答分布							

をどう分析	・解釈して						
いるか							
3. 成績評価	匠(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり	, 授業アンケー			
トの「学	全習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	たんでいたかを表す数値です	一。教育プログラ			
ムのねり	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈している	かを記入してく			
ださい。							
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	11.1 %			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	0 %			
科目 GPA	2.70	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	22.2 %			
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	44.4 %			
		記してください。	30 分未満	22.2 %			
教育プロク	ブラムのね	1 つの臨床科目の学習に長時間を	かけることは容易でない、	むしろ効率よく			
らいと照ら	らし合わせ	学習して欲しいと考えているが、	30 分未満と回答した学生の	り中にほとんど			
て, 科目 GP	Aの数値と	学習していない学生がどのくらい	いるかが気がかりである。	少しでも学習			
「学習時間	」の回答分	し、GPA の向上に努めて欲しい。					
布をどう分	析・解釈し						
ているか							
4. 成績評価	ਜ਼(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベル	/が適切であった			
かどうた	いと,期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。				
想定したし	/ベルが適	GPA から考えると、想定したレベ	ルはやや高い可能性がある	0			
切であった	かどうか						
その理由		想定したレベルは、優秀な学生の	到達点を想定して設定して	いる。成長発達			
		は臨床実習および臨床研修の中で	段階的に積み上げられてレ゙	いく学問であり、			
		臨床実習の経験や優秀な学生との	議論を積み重ねながら、最	終的に想定した			
		レベルに到達点すれば良いと考え	. る。				
期待された	と教育成果	教育成果は得られたのではないか	と思う。				
が得られた	かどうか						
そう言える	そう言える理由 実習レポートおよび実習のまとめの討論の中で、大半の学生が努力を行い、						
	成長発達に関する貴重な経験を得たことを確認している。						

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

ユニット講義 (神経)

科目名

☑ # 北米									
受講者数		記載不要	115 名	授業ア	ンケー	- ト回答率	46%		%
授業の開請	 青日・時限	前	 方期	対象学	年	4年	必修選択の別		必
達成する学	学位授与の方:	針			•	技能	• 知識		
その学位	授与の方針	疾病の正確	な診断と適切	な治療を	遂行	するためのロ	幅広い知識と	高度	まな技法
について,	この授業が	を修得して	いる。						
担う部分を	£, 説明して								
ください。									
1. 成績評	価(「科目GP	A」)は学生が	授業の達成目	標にどの	くら	い到達してい	いたかを表す数	效値	であり
授業ア	ンケートの	「到達度」の数	数値は,学生だ	ぶ自分は	受業⊄	達成目標に	どのくらい到	達し	てい
と思う	のかを表す数	対値です。教育	育プログラムの	つねらいる	ヒ照ら	し合わせて	, その2つの	数写	字をど
ように	分析し解釈し	ているかを言	己入してくださ	٥٠ ١٥					
		「五小牛・	の日体ハナ		強く	そう思う	26	. 4	%
	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ		ガニコ	そうり	思う	67	. 9	%	
科目 GPA	2.83				どちに	うでもない	5	. 7	%
	「授業目標に到達しましたか」 <i>0</i> 値を転記してください。		<u>にかりの</u>	そう!	思わない		0	%	
		個を転記し	てください。		全く	そう思わない		0	%
 教育プロ	グラムのね	GPA は学生の	り得点の度数分	}布のピー	ークが	70 点台にあ	っることを反映	ŧレ	ている
らいと照	らし合わせ	学生の到達	感とおおむね-	一致する	結果と	:考えられる	'o		
て, 科目 G	PA の数値と								
	PA の数値と の回答分布								
「到達度」									
「到達度」	の回答分布								
「到達度」 をどう分析 いるか	の回答分布	A」)は学生の	学びがどれだ	け成功し	ていオ	こかを表す数	で値であり、授	業フ	マンケ
「到達度」 をどう分析 いるか 2. 成績評	の回答分布 f・解釈して 価(「科目 GP』	= :	•				r値であり,授 を表す数値で		
「到達度」 をどう分材 いるか 2. 成績評 トの「	の回答分布 F・解釈して 価(「科目 GPA 達成感」の数	対値は、学生な	がどれだけ学び	びの手応.	えを感	なじていたか		す。	教育
「到達度」 をどう分析 いるか 2. 成績評 トの「 ログラ	の回答分布 F・解釈して 価(「科目 GPA 達成感」の数	対値は、学生な	がどれだけ学び	びの手応.	えを感	なじていたか	を表す数値で	す。	教育
「到達度」 をどう分析 いるか 2. 成績評 トの「 ログラ	の回答分布 F・解釈して 価 (「科目 GP」 達成感」の数 ムのねらいと	対値は,学生だけ : 照らし合わせ	がどれだけ学び	びの手応.	えを慮 をどの	なじていたか	を表す数値でし解釈してい	す。	教育
「到達度」 をどう分析 いるか 2. 成績評 トの「 ログラ	の回答分布 F・解釈して 価 (「科目 GP」 達成感」の数 ムのねらいと	が値は、学生が ・照らし合わせ 「達成感」	がどれだけ学び せて, その 2 ~	がの手応. つの数字	えを慮 をどの	くじていたかりように分析 である。	を表す数値で ・し解釈してい 35	す。	教育 かを記 %
「到達度」 をどう分析 いるか 2. 成績評 トの「 ログラ してく	の回答分布 F・解釈して 価 (「科目 GP」 達成感」の数 ムのねらいと	が値は、学生だ : 照らし合わせ : : : : : : : : : : : : :	がどれだけ学び せて, その 2 ~ の回答分布	がの手応っつの数字	えを感 をどの 強く そう!	くじていたかりように分析 である。	を表す数値で ・し解釈してい 35 53	す。 るた	教育 かを記 % %
「到達度」 をどう分析 いるか 2. 成績評 トの「 ログラ してく	の回答分布 f・解釈して 価(「科目GP」 達成感」の参 ムのねらいと ださい。	が値は、学生だ : 照らし合わせ 「達成感」 ※授業アン 「この授業	がどれだけ学で せて, その 2 ⁻ の回答分布 ケート結果の	がの手応っての数字 グラフ を通し	えを感 をどの 強くこ そう!	なじていたか つように分析 そう思う 思う	を表す数値で ・し解釈してい 35 53	す。 るか .8	教育 かを記 % %
「到達度」 をどう分材 いるか 2. 成績評 トの「 ログラ してく	の回答分布 f・解釈して 価(「科目GP」 達成感」の参 ムのねらいと ださい。	が値は、学生だ : 照らし合わせ 「達成感」 ※授業アン 「この授業	がどれだけ学で せて、その 2 - の回答分布 ケート結果の の一連の経験 を得ましたか」	がの手応っての数字 グラフ を通し	えを <i>感</i> をどの 強くうり そうり	をいたかのように分析 でもあり まう まう こでもない	を表す数値で ・し解釈してい 35 53	す。 るた .8 .8	教育 いを記 % %
「到達度」 をどう分材 いるか 2. 成績評 トの「 ログラ してく 科目 GPA	の回答分布 f・解釈して 価(「科目GP」 達成感」の参 ムのねらいと ださい。	が値は、学生が ・照らし合わせ 「達成感」。 ※授業アン 「この授業 で、達成感を 転記してく	がどれだけ学で せて、その 2 - の回答分布 ケート結果の の一連の経験 を得ましたか」 ださい。	がの手応っつの数字 クラファを通し の値を	えを感 強 そ ど そ 全	をじていたか のように分析 そう思う 思う らでもない 思わない そう思わない	を表す数値で ・し解釈してい 35 53	す。 るか .8 .8	教育 かを記 % % %
「到達度」 をどう分材 いるか 2. 成績評 トの「 ログラ してく 科目 GPA	の回答分布 〒・解釈して 価(「科目 GP. 達成感」の参 ムのねらいと ださい。 2.83	が値は、学生が ・照らし合わせ 「達成感」。 ※授業アン 「この授業 で、達成感を 転記してくこ 「達成感」。	がどれだけ学で せて、その 2 ・ の回答分布 ケート結果の の一連の経験 を得ましたか」 ださい。 の回答は非常(がの手応、つの数字 グラフ を通し で値を に肯定的	えを感 強 そ ど そ 全 で あ	なじていたか つように分析 そう思う 思う っでもない 思わない そう思わない ・ でもない	を表す数値で ・し解釈してい 35 53 1 1	す。 .8 .8 .9 .9 .9	教育 いを記 % % % % %
「到達度」 をどう分材 いるか 2. 成績評 トログて してく 科目 GPA	の回答分布 〒・解釈して 価(「科目 GPA 達成感」の数 ムのねらいと ださい。 2.83	か値は、学生が 照らし合わせ 「達成感」 ※授業アン 「この授業で で、達成感で 転記してくご 「達成感を得	がどれだけ学で せて、その 2 - の回答分布 ケート結果の の一連の経験 を得ましたか」 ださい。 の回答は非常に たと感じてい	がの手応. つの数字 グラフ を の値を こ肯定的 る。この	えをどの強くうけって結果に	をう思う とう思う とう思う とうでもない 思わない そう思わない とう思わない とう思わない よ、「到達度	を表す数値で ・ し解釈してい 35 53 1 1	す。	教育 % % % % % %

をどう分析	・ 解釈して			
いるか				
3. 成績評価	西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であ	り,授業アンケー
トの「	学習時間」 0.	数値は、学生がどれだけ努力して	学んでいたかを表す数値で	です。教育プログ
ラムの	ねらいと照ら	し合わせて,その 2 つの数字をど	のように分析し解釈してい	いるかを記入して
ください	(\ ₀			
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	15.1 %
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	20.8 %
科目 GPA	2.83	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	32.1 %
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	24.5 %
		記してください。	30 分未満	7.5 %
教育プログ	グラムのね	標準的な自習時間により一定の学	習成果を上げていると考	えられる。標準的
らいと照り	らし合わせ	な自学態度が得られていると考え	る。	
て, 科目 GF	PA の数値と			
「学習時間]の回答分			
布をどう分	↑析・解釈し			
ているか				
4. 成績評(缶(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベル	レが適切であった
かどうフ	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうかん	についてご記入ください。	
想定したし	レベルが適	適切であったと考えられる。		
切であった	かどうか			
その理由		標準的な学習時間により良好な GI	PA 値が得られたため想定!	したレベルは適切
		であったと考えられる。		
	と教育成果	期待された教育効果は得られたと	考えられる。	
が得られた				
そう言える	理由	良好な GPA 値と相関する学生の到		
		得られており、期待された教育効	果は得られているものと	考えられる。

科目名		ユニット詩	義 (運動器)						
受講者数		記載不要	115 名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	11%		%
授業の開講	青日・時 限	Ī	前期	対象学	:年	4年	必修選択の別		必
達成する学	や位授与の方:	計				技能	知識		
その学位技	受与の方針	疾病の正確	重な診断と適切 しゅうしょう かいかい かいかい かいかい かいかん かんかん かんかん かんかん かんか	な治療を	遂行	するための	幅広い知識と	高度	な技法
について,	この授業が	を修得して	いる。						
担う部分を	, 説明して								
ください。									
1. 成績評	価(「科目 GP	A」)は学生	が授業の達成目	標にどの	つくらり	い到達してい	ハたかを表す	数值	であり,
授業ア	ンケートの	「到達度」の	数値は、学生か	自分は	授業の	達成目標に	.どのくらい至	達し	ていた
と思う	のかを表す数	な値です。 教	育プログラムの	ねらい	と照ら	し合わせて	, その2つの	数学	こをどの
ように	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	(V)					
1		「四本店」	の日然ハナ		強くる	そう思う	3	0.8	%
			の回答分布	ゲニー	そう月	思う	6	9. 2	%
科目 GPA	2.71	_	ケート結果のク		どちり	うでもない		0	%
			!に到達しましナ !! エィギキ!:		そう月	思わない		0	%
		の個を転記	己してください。		全くる	そう思わない		0	%
教育プロ	グラムのね	アンケート	・回答率が低くエ	E確には	言えな	いが、科目	GPA は良より	高 <	、授業
らいと照	らし合わせ	目標にはほ	ほとんどの学生だ	ぶ到達で	きたと	:考えます。			
て, 科目 G	PA の数値と								
「到達度」	の回答分布								
をどう分析	斤・解釈して								
いるか									
2. 成績評(西(「科目 GPA	A」) は学生の)学びがどれだい	ナ成功し	ていた	こかを表す数	女値であり, 持	受業プ	ンケー
トの「i	達成感」の数	値は、学生が	らどれだけ学びの	の手応え	を感し	じていたかを	表す数値で	上。 耄	対育プロ
グラム	のねらいと照	らし合わせ	て、その2つの	つ数字を	どのよ	こうに分析し	解釈している	うかを	記入し
てくだ	さい。								
		「達成感」	の回答分布		強くる	そう思う	3	0.8	%
		※授業アン	/ケート結果の	グラフ	そう月	思う	5	3.8	%
科目 GPA	2.71	「この授業	との一連の経験 かんしょう かんかん かんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃりん しゃり しゃく	を通し	どちら	らでもない		7. 7	%
		て,達成感	を得ましたか」	の値を	そう月	思わない		7. 7	%
<u></u>		転記してく	ださい。		全くる	そう思わない		0	%
教育プロ	グラムのね	アンケート	・回答率が低くエ	E確には	言えな	いが、科目	GPA は良より	高<	、ほと
らいと照	らし合わせ	んどの学生	が授業の一連の	り経験を	通して	「, 達成感を	得ることがで	できた	と考え
て,科目 G	PA の数値と	る。							
「達成感」	の回答分布								

いるか	/mt / E-th III - on	4 .) 1.2.25 fb on 255 18.18 1812 28.11 25-12	~ , . b . 2 . 2 + 1 . 1 . 1 1 .	to less alle -	75.1
7 7 - 12 41 1		A」)は学生の学びがどれだけ成功し		. ,	
		数値は、学生がどれだけ努力して学			
		.合わせて,その 2 つの数字をどの	ように分析し解釈している	るかを記力	くして
ださい	0	EW 33 4 L P	o nt BB of I		0/
		「学習時間」の回答分布	3時間以上。時間以上	7. 7	
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	-	%
科目 GPA	2. 71	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満		
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	46. 2	%
		記してください。	30 分未満		%
教育プロ	グラムのね	アンケート回答率が低く正確には	言えないが、科目 GPA は良	より高か	ったが
よいと昭	らし合わせ	1週間あたり時間外で2時間以上	学習できていた学生は少な	よかった。	
2 4 . C 1/2		120000000000000000000000000000000000000			
	PA の数値と	12/14/07/2014/07/2014/07/2014			
て,科目 G		124000000000000000000000000000000000000			
て,科目 G 「学習時間	PA の数値と				
て,科目 G 「学習時間 布をどうタ	PA の数値と 引」の回答分				
て,科目 G 「学習時間 布をどうタ ているか	PA の数値と 引」の回答分 分析・解釈し	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベノ	ルが適切て	ごあっ
て,科目 G 「学習時間 布をどうタ ているか 4. 成績評	PA の数値と 引」の回答分 分析・解釈し 価 (「科目 GF			レが適切 で	であつ:
て,科目 G 「学習時間 布をどうら ているか 4. 成績評 かどう	PA の数値と 引」の回答分 分析・解釈し 価 (「科目 GF かと, 期待さ	A」), および上記の 3 つの検証作業		ルが適切で	であっ
て,科目 G 「学習時間 布をどうタ ているか 4. 成績評 かどう 想定した	PA の数値と 引」の回答分 分析・解釈し 価 (「科目 GF かと, 期待さ	A」), および上記の 3 つの検証作業 れた教育成果が得られたかどうか(ルが適切で	であつ
て,科目 G 「学習時間 布をどうか ているか 4. 成績評 かどう 想定した 切であった	PAの数値と 別」の回答分 分析・解釈し 価(「科目 GF かと、期待さ	A」), および上記の 3 つの検証作業 れた教育成果が得られたかどうか(レが適切で	であつ :
て,科目 G 「学習時間 布をどうか ているか 4. 成績評 かどう 想定した 切であった	PAの数値と 別」の回答分 分析・解釈し 価(「科目 GF かと、期待さ	A」), および上記の3つの検証作業 れた教育成果が得られたかどうかい 適切であった。		レが適切で	ごあっ
て,科目 G 「学習時間 布をどうか ているか 4. 成績評 かどう 想定した 切であった	PAの数値と 別」の回答分 分析・解釈し 価(「科目 GF かと、期待さ	A」), および上記の3つの検証作業 れた教育成果が得られたかどうかい 適切であった。		ルが適切で	ごあつ
て,科目 G 「学習時間 布をどうか ているか 4. 成績評 かどう 想定した 切であった	PAの数値と 別」の回答分 分析・解釈し 価(「科目 GF かと、期待さ	A」), および上記の3つの検証作業 れた教育成果が得られたかどうかい 適切であった。		ルが適切で	であつ
て,科目 6 「学習時間 布をどうら ているか 4. 成績評 かどう 想定した 切であった	PAの数値と 引」の回答分 分析・解釈し 価(「科目 GF かと、期待さ レベルが適 たかどうか	A」)、および上記の3つの検証作業れた教育成果が得られたかどうかい適切であった。 科目 GPA が良より少し良いため。		ルが適切で	ごあつ゛
て, 科目 6 「学習時間 布をどうか 4. 成績評 かどう 想定であった その理由 期待され	PAの数値と 引」の回答分 分析・解釈し 価(「科目 GF かと、期待さ レベルが適 こかどうか	A」)、および上記の3つの検証作業 れた教育成果が得られたかどうかい 適切であった。 科目 GPA が良より少し良いため。		レが適切で	ごあつ `
て, 科目 6 「学習時間 布をどうか 4. 成績評う かどしたった での理由 特待られた	PAの数値と 引」の回答分 分析・解釈し 価(「科目 GF かと,期待さ かと、がが適 こかどうか た教育成 たれどうか	A」), および上記の3つの検証作業れた教育成果が得られたかどうかい適切であった。 科目 GPA が良より少し良いため。 適切であった。	こついてご記入ください。		
て,科目 6 「学習時間 布をどうか 4. 成績評 かどう 想定した 切であった その理由 期待され	PAの数値と 引」の回答分 分析・解釈し 価(「科目 GF かと,期待さ かと、がが適 こかどうか た教育成 たれどうか	A」)、および上記の3つの検証作業れた教育成果が得られたかどうかい適切であった。 科目 GPA が良より少し良いため。	こついてご記入ください。		

科目名		ユニット講義(臨床薬理学	ユニット講義 (臨床薬理学)					
受講者数		記載不要 115 名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	4%		%
授業の開講	日・時限	前期	対象学	年	4年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方針	針			技能	・知識		
その学位指	受与の方針	疾病の正確な診断と適切	な治療を	遂行	するための	幅広い知識とi	高度	な技法
について、	この授業が	を修得している。						
担う部分を	,説明して							
ください。								
1. 成績評価(「科目 GPA」) は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、								
授業アンケートの「到達度」の数値は,学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していた								
と思うの	りかを表す数	α値です。教育プログラムの	ねらい	と照ら	し合わせて	, その2つの	数字	こをどの
ようにタ	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	۱, ۱°					
		「到達度」の回答分布		強くそ	こう思う		60	%
		※授業アンケート結果のク	ブラフ	そう思	! う		20	%
科目 GPA	3.00	「授業目標に到達しました		どちら	っでもない		20	%
		の値を転記してください。	_14.7	そう思	見わない		0	%
		の間に対記してください。		全くそ	とう思わない		0	%
教育プロク	ブラムのね	「到達度」の回答は肯定的	りであり	、受講	生は授業の	達成目標に到	達し	ている
らいと照り	らし合わせ	と判断する。教員の評価に	t GPA3. (00 であ	り、担当教	(員は受講生の	到這	産度を十
て,科目GF	A の数値と	分であると判断している。	これら	のこと	から、受講	生はこの授業	の至	達目標
「到達度」	の回答分布	を正しく理解し、学修して	こいると	考えら	れる。医学	:教育における	基硅	性医学の
をどう分析	・解釈して	重要性に鑑み、医学部医学	ዸ科のコ	ンピテ	ンシーであ	る「医学知識	と間	題対応
いるか		能力」を身につけるための	受業と	して、	十分に機能	している。		
2. 成績評価	西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだい	ナ成功し	ていた	かを表す数	対値であり, 授	業フ	ンケー
トの「遠	を成感」の数	値は, 学生がどれだけ学びの	り手応え	を感じ	じていたかを	表す数値です	。拳	対育プロ
		らし合わせて,その2つの)数字を	どのよ	うに分析し	解釈している	かを	記入し
てくだる	さい。							
		「達成感」の回答分布			こう思う		60	%
		※授業アンケート結果の		そう思			20	%
科目 GPA	3.00	「この授業の一連の経験			っでもない		20	%
		て,達成感を得ましたか」	の値を		わない		0	%
		転記してください。			う思わない		0	%
	ブラムのね	「達成感」の回答は肯定的						
	っし合わせ	じている。この結果は、「3						
て、科目 GF		GPA3.00 であり、担当教員						-
達成感」	の回答分布	医学教育における基礎医学	生の重要	性に鑑	み、医学部	医学科のコン	ピラ	・ンシー

をどう分析	・解釈して	である「医学知識と問題対応能力	」を身につけるための授業と	して、	十分に
いるか		機能している。			
3. 成績評価	西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり、	授業で	アンケー
トの「当	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値です。	教育に	プログラ
ムのねり	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈しているか	を記り	してく
ださい。					
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	0	%
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	0	%
科目 GPA	3. 00	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	20	%
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	40	%
		記してください。	30 分未満	40	%
教育プログ	グラムのね	受講生がこの授業のために学修し	た時間は、1週間でおおよそ	1 時間	未満で
らいと照ら	らし合わせ	であるものの、十分な「到達度」「	「達成度」を達成している。少	ない等	全修時間
て,科目 GF	PA の数値と	で十分な「到達度」「達成度」が得	られている。学生には十分な	伸びし	ころがあ
「学習時間	」の回答分	ると考えられ、もう少し自習が増	えれば、GPA はもっと上がる	ことか	ぶ期待さ
布をどう分	が析・解釈し	れる。			
ているか					
4. 成績評(西(「科目 GP	A」),および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベルが	適切で	ごあった
かどうフ	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。		
想定したし	レベルが適	GPA から考えると、想定したレベ	ルが少し低い可能性がある。		
切であった	かどうか				
その理由		少ない学習時間で十分な「到達度	」「達成度」が得られており、	想定し	たレベ
		ルが少し低かったと判断される。	学生には十分な伸びしろがあ	り、高	引到達
		点を得るために想定レベルを高く	再設定する必要がある。		
期待された	と教育成果	概ね十分であった。			
が得られた	かどうか				
そう言える	理由	科目 GPA、学生の「到達度」「達成	対度」は十分な成果と言えるだ	- め。	
1					

科目名		系統講義	(皮膚科)						
受講者数		記載不要	115 名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	14%		%
授業の開講	日・時限	Ī	前期	対象学	年	4年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	計				技能	知識		
その学位持	受与の方針	疾病の正確	重な診断と適切 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	な治療を	·遂行	するための	幅広い知識	と高度	な技法
について,	この授業が	を修得して	いる。						
担う部分を	,説明して								
ください。									
1. 成績評価	西(「科目 GP	A」)は学生	が授業の達成目	標にどの	つくらい	ハ到達してい	ハたかを表す	数値	であり,
授業アン	ンケートの	「到達度」の	数値は、学生が	5自分は	授業の	達成目標に	どのくらい	到達し	ていた
と思うの	りかを表す数	でです。教	育プログラムの	ねらい	と照ら	し合わせて	, その2つ	の数写	こをどの
ようにタ	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	()°					
		「到達度」	の回答分布		強くる	とう思う		25	%
			ケート結果のク	グラフ	そう見	思う		68.8	%
科目 GPA	3. 27		「		どちり	っでもない		6. 3	%
			、に凶圧しよし, Bしてください。		そう月	思わない		0	%
		*ン屋で特別	10 (\/		全くる	とう思わない		0	%
教育プロク	ブラムのね	GPA は、学	生の得点の度数	対分布の	ピーク	が 80 点台	にあること	を反明	もしてい
らいと照ら	らし合わせ	る。それと	: 同様に、到達原	感を感じ	ている	学生が多い	。こちらの	想定し	たレベ
て,科目GP	A の数値と	ルと、学生	Eの自覚的到達用	度は、ほ	ぼ一致	てしていると	考える。		
「到達度」	の回答分布								
をどう分析	・解釈して								
いるか									
2. 成績評価	ffi(「科目 GPA	A」) は学生の)学びがどれだい	ナ成功し	ていた	かを表す数	対値であり,	授業フ	ンケー
			ぶどれだけ学びの						
		らし合わせ	て, その2つ0	り数字を	どのよ	うに分析し	解釈してい	るかを	記入し
てくだる	さい。								
			の回答分布			とう思う		43.8	
**		_	/ケート結果の		そう見			50. 0	%
科目 GPA	3. 27		きの一連の経験			らでもない			%
			を得ましたか」	の値を		思わない		0	%
tut —ba o		転記してく		the chief of the		とう思わない	T. 13 2 2	0	%
	ブラムのね		の回答は非常に						
	らし合わせ		:得たと感じてレ	-					
て, 科目 GP			して GPA3.					いたと	判定し
「達成感」	の回答分布	ている。皮	で 「	り目標は	達成さ	れていると	考える。		

をどう分析	f・解釈して						
いるか							
3. 成績評価	西(「科目 GP/	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であ	り,授業アンケー			
トの「賞	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値で	す。教育プログラ			
ムのね	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈してい	るかを記入してく			
ださい。	•						
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	6.3 %			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	6.3 %			
科目 GPA	3. 27	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	18.8 %			
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	18.8 %			
		記してください。	30 分未満	50 %			
教育プロク	グラムのね	GPA はそれほどばらつきがなかっ	たが、自習時間が学生に	よって異なる。多			
らいと照り	らし合わせ	くの学生は2時間未満であり、半	巻は 30 分未満であるこ	とから、非常に効			
て,科目 GF	PA の数値と	率的に学習していると考える。					
「学習時間	引」の回答分						
布をどう分	↑析・解釈し						
ているか							
4. 成績評(価(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベル	ルが適切であった			
かどうフ	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	こついてご記入ください。				
想定したい	レベルが適	GPA から考えると、想定したレベルは適切であったと考える。					
切であった	かどうか						
その理由		想定したレベルは、皮膚科学の初生	学者には少し高いと考えた	た。しかし、GPA は			
		満足できる結果であったことと、	授業アンケートもそれを	裏打ちしていると			
		考えたため。					
期待された	た教育成果	教育成果は得られたのではないか	と思う。				
が得られた	かどうか						
そう言える	理由	GPA の結果は、教育者としては満					
		知識を得られたと考える。また、	授業アンケートでも、学	生が実感を持って			
		いることが伺えるため。					

科目名		系統講義	(麻酔科)						
受講者数		記載不要	115 名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	16%		%
授業の開講	青日・時限	Ī	前期	対象学	年	4年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	計			•	技能	知識		
その学位技	受与の方針	疾病の正确	重な診断と適切 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	な治療を	遂行	するための	幅広い知識と	高度	な技法
について,	この授業が	を修得して	いる。						
担う部分を	, 説明して								
ください。									
1. 成績評	価(「科目 GP	A」)は学生	が授業の達成目	標にどの	くらい	ハ到達してい	ハたかを表す	数值	であり,
授業ア	ンケートの	「到達度」の	数値は、学生か	自分は	受業の	達成目標に	.どのくらい至	達し	ていた
と思う	のかを表す数	でです。教	育プログラムの	ねらい。	ヒ照ら	し合わせて	, その2つの)数字	こをどの
ように	分析し解釈し	ているかを	記入してくださ	() °					
		「私本在」	の同ダハモ		強くる	とう思う	3	3. 3	%
			の回答分布	ゲニー	そう見	思う		50	%
科目 GPA	2. 91		ケート結果のク		どちら	うでもない	1	1. 1	%
			₹に到達しましナ ∃してください。		そう見	思わない		0	%
		の順を転乱	10 (\ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		全くる	そう思わない		5. 6	%
教育プロ	グラムのね	GPA は比較	的高く、学生も	83.3%で	達成原	感を感じてV	いると考えられ	れる。	したが
らいと照	らし合わせ	って、学生	Eが自覚的にはM	床酔蘇生	学を理	具解できたと	感じていると	:考え	:る。
て, 科目 G	PA の数値と								
「到達度」	の回答分布								
をどう分析	斤・解釈して								
いるか									
2. 成績評(西(「科目 GPA	A」) は学生の)学びがどれだい	ナ成功し	ていた	こかを表す数	対値であり、持	受業プ	ンケー
トの「i	達成感」 の数	値は、学生が	らどれだけ学びの	の手応え	を感し	こていたかを	表す数値で	ナ。 差	対プロ
グラム	のねらいと照	らし合わせ	て、その2つの)数字を	どのよ	うに分析し	解釈している	らかを	記入し
てくだ	さい。								
		「達成感」	の回答分布		強くる	そう思う	3	8. 9	%
		※授業アン	/ケート結果の	グラフ	そう月	思う	4	4. 4	%
科目 GPA	2. 91	「この授業	きの一連の経験	を通し	どちら	らでもない	1	1. 1	%
		て,達成感	を得ましたか」	の値を	そう月	思わない		0	%
		転記してく	ださい。		全くる	そう思わない		5. 6	%
教育プロ	グラムのね	そう思う以」	上の「達成感」回答	李は 83. 3%	と肯定	的であり、受	講生は、自分だ	こちが	授業にお
らいと照	らし合わせ	いて達成感	を得たと感じている	る。この約	吉果は、	「到達度」の	回答結果と整合	性が	あり、教
て,科目 G	PA の数値と	員の評価も(GPA2.91 と比較的記	高値で、受	講生の	学びが一定以	上成功していた	:と判	定してい
「滓出歐」	の回答分布	る。							

をどう分析	- ・解釈して						
いるか							
3. 成績評価	西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であ	り,授業アンケー			
トの「賞	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値で	す。教育プログラ			
ムのね	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈してい	るかを記入してく			
ださい。							
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	0 %			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	0 %			
科目 GPA	2. 91	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	11.1 %			
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	22.2 %			
		記してください。	30 分未満	66.7 %			
教育プロク	グラムのね	やや自習時間が少ないが、このような短	豆い時間で十分な成果をあげた	とと考えられ、学生は			
らいと照り	らし合わせ	かなり効率的な勉強をしたと考えられる	る。さらに自習が増えれば、G	PA はもっと上がるこ			
て,科目 GF	PA の数値と	とが期待される。					
「学習時間	」の回答分						
布をどう分	が析・解釈し						
ているか							
4. 成績評値	西(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベ	ルが適切であった			
かどうフ	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。	i			
想定したい	レベルが適	GPA から想定したレベルは適切と考える。					
切であった	かどうか						
その理由		想定したレベルは、麻酔蘇生学の初学者	針には少し高かったかも知れた	ないが、麻酔蘇生学は			
		生理学と薬理学の臨床応用を基盤として	ており、基礎的分野を再度勉強	触し、臨床研修に出で			
		繰り返しレベルを高めていけば、さらい	こ理解度が高まると考える。				
	た教育成果	教育成果は得られたのではないかと思っ	5.				
が得られた							
そう言える	理由	自習時間が短い中で、比較的高い GPA を	を達成されており、学生の達成	成感も高いことから、			
		教育効果は得られたと考える。					

科目名		系統講義(病態解析診断学	É)							
受講者数		記載不要 115 名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	3%		%		
授業の開講	目・時限	前期	対象学	年	4年	必修選択の別		必		
達成する学	位授与の方	針			技能	・知識				
その学位技	受与の方針	疾病の正確な診断と適切	な治療を	遂行	するための	幅広い知識と	高度	な技法		
について,	この授業が	を修得している。								
担う部分を	, 説明して	常に最新の医療情報を収集	真すると	ともに	- 、生涯自ら	の学修課題を	開拓	5し探求		
ください。		することができる。								
1. 成績評価	価(「科目 GP	A」) は学生が授業の達成目	標にどの	くらい	い到達してい	ハたかを表す	效値	であり,		
授業ア	ンケートの	「到達度」の数値は、学生が	自分は	受業の	達成目標に	.どのくらい到	達し	ていた		
と思うの	のかを表す数	で値です。教育プログラムの	ねらいる	:照ら	し合わせて	, その2つの	数字	こをどの		
ようにタ	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	い。							
				強くる	そう思う	66	i. 7	%		
		「到達度」の回答分布	<i>,</i>	そう見	思う	33	3. 3	%		
科目 GPA	2. 50	※授業アンケート結果のク		どちら	うでもない		0	%		
		「授業目標に到達しました	[£ (7) 3	そう月	思わない		0	%		
		の値を転記してください。		全くる	そう思わない		0	%		
教育プロク	グラムのね	GPA は学生の試験結果を反	び映して	いる。	それに比べ	べ到達度が高	いこ	とは、		
らいと照り	うし合わせ	アンケート回収率が低いた	こめ判断	ができ	ない。強い	て言えば、到	達度	であるい		
て,科目 GI	PA の数値と	学生がアンケートに回答し	た結果	と考え	られる。					
「到達度」	の回答分布									
をどう分析	f・解釈して									
いるか										
2. 成績評価	西(「科目 GP.	A」) は学生の学びがどれだい	ナ成功し	ていた	こかを表す数	対値であり, 授	業フ	ンケー		
トの「i	達成感」の数	値は, 学生がどれだけ学びの	り手応え	を感し	じていたかを	表す数値です	- 。 奉	対育プロ		
グラム(のねらいと照	らし合わせて、その2つの)数字を	どのよ	うに分析し	解釈している	かを	記入し		
てくだ	さい。									
		「達成感」の回答分布		強くる	そう思う	66	5. 7	%		
ĺ		※授業アンケート結果の	グラフ	そう月	思う	33	3. 3	%		
科目 GPA	2. 50	「この授業の一連の経験	を通し	どちら	うでもない		0	%		
		て,達成感を得ましたか」	の値を	そう見	思わない		0	%		
ĺ		転記してください。		全くさ	そう思わない		0	%		
教育プロク	グラムのね	到達度と同様に、達成感が高い	学生がア	ンケー	- トに回答した	に結果と考えられ	いる。			
らいと照り	うし合わせ									
	ΣΔの粉値と									
て, 科目 G	ハッタ川丘									

をどう分析								
いるか								
3. 成績評価	西(「科目 GPA		ていたかを表す数値であ	り,授業ア	ンケー			
トの「刳	学習時間」の	数値は、学生がどれだけ努力して学	:んでいたかを表す数値で	す。教育フ	プログラ			
ムのねり	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈してい	るかを記入	してく			
ださい。								
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	0	%			
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	0	%			
科目 GPA	2. 50	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	0	%			
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	66. 7	%			
		記してください。	30 分未満	33. 3	%			
教育プロク	グラムのね	アンケートに回答した学生は比較的講	義をきちんと受けていると推	定されるこ	とから自			
らいと照ら	らし合わせ	習時間は少ないと判断できる。自習時間	引を増やすことで、GPA はもっ	と上がるこ	とが期待			
て, 科目 GF	PA の数値と	される。						
「学習時間	」の回答分							
布をどう分	が析・解釈し							
ているか								
4. 成績評値	西(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て,想定したレベク	ルが適切て	ぎあった			
かどうフ	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうかり	こついてご記入ください。					
想定したし	/ベルが適	GPA から考えると、想定してレベルは適	団と考えられる。					
切であった	かどうか							
その理由		実際の患者の検査データを知らない状況						
		があったと思われる。ただし、検査デー						
		るため、クリニカルクラークシップで患	者の検査データを判断できる	ような意義	があった			
		と考える。						
	こ教育成果	教育効果は得られたと考えられる。						
が得られたかどうか								
そう言える	理由	クリニカルクラークシップにおいて、学						
イスカッションを行うが、基本的な考え方を理解できている学生が多く、講義の効果が								
		ったと考えられる。						

科目名		系統講義	(救急集中治療	医学)								
受講者数		記載不要	115 名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	21%		%			
授業の開講	手日・時限	Ī	前期	対象学	:年	4年	必修選択の	別	必			
達成する学	位授与の方	針			•	意欲	・態度	•				
						技能	・知識					
その学位技	受与の方針	医師として	の高い見識と	誠実な態	度を身	水につけ、病	jめる人をす	 数う強ν	情熱を			
について,	この授業が	持っている	持っている。									
担う部分を	:, 説明して	疾病の正确	雀な診断と適り	口な治療を	を遂行	するための	幅広い知識	散と高度	[な技法			
ください。		を修得して	こいる。									
1. 成績評	価(「科目 GP	A」)は学生	が授業の達成目	目標にどの	りくら	い到達してい	ハたかを表	す数値	であり,			
授業ア	ンケートの	「到達度」の	数値は,学生	が自分は	授業の	達成目標に	.どのくらい	・到達し	ていた			
と思う	のかを表す数	文値です。 教	育プログラム	のねらい	と照ら	し合わせて	, その2~	つの数字	三をどの			
ように	分析し解釈し	ているかを	記入してくだ	さい。	ı							
		「到達度」	の回答分布		強く	そう思う		29. 2	%			
			シロラカボ ノケート結果の	グラフ	そう月	思う		62. 5	%			
科目 GPA	3. 00				どちに	うでもない		8. 3	%			
			受業目標に到達しましたか」 『を転記してください。		そうに	思わない		0	%			
		42 E C 441	10 (\/ \/ \/ \/	•	全く	そう思わない		0	%			
教育プロ	グラムのね	ほとんどの)学生が概ね狙	いどおり	のレヘ	ジルまで到達	している。	と考えて	こいる。			
らいと照り	うし合わせ											
て,科目 GI	PAの数値と											
「到達度」	の回答分布											
	〒・解釈して											
いるか												
)学びがどれた									
			ぶどれだけ学ひ		_							
グラム	のねらいと照	らし合わせ	て、その2つ	の数字を	どのよ	こうに分析し	解釈してい	いるかを	記入し			
てくだ	さい。				ı							
			の回答分布			そう思う		25	%			
			/ケート結果0		そう月	_		54. 2	%			
科目 GPA	3. 00		能の一連の経験			らでもない		12. 5	%			
			を得ましたか	」の値を		思わない		8. 3	%			
lu l. °		転記してく				そう思わない		0	%			
	グラムのね	オンデマン	ドの講義ではあっ	たが、概ね	3狙い?	ごおりの達成愿	繋が得られて	いる。				
	うし合わせ											
て, 科目 GI	PA の数値と											

「達成感」	の回答分布				
をどう分析	「・解釈して				
いるか					
3. 成績評価	西(「科目 GPA	A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であ	り,授業フ	アンケー
トの「兽	学習時間」の	数値は, 学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値で	す。教育に	プログラ
ムのね	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈している	るかを記り	してく
ださい。					
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	0	%
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	4. 2	%
科目 GPA	3. 00	「1 週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	20.8	%
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	33. 3	%
		記してください。	30 分未満	41.7	%
教育プロク	グラムのね	比較的授業外の学習時間が確保されてい	いる。		
らいと照り	らし合わせ				
て,科目 GF	PAの数値と				
「学習時間]」の回答分				
布をどう分	が析・解釈し				
ているか					
4. 成績評(価(「科目 GP	A」), および上記の 3 つの検証作業	から見て,想定したレベル	レが適切で	であった
かどうフ	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。		
想定したこ	レベルが適	適切であったと考えられる。			
切であった	かどうか				
その理由		達成感、授業が医学習時間などから。			
期待された	た教育成果	この評価からは不明である。			
が得られた	かどうか				
そう言える	理由	アンケートの回答率が21%と低いため。			
		但し、10月から行っているクリニカル	クラークシップ I で知識確認	のための小	テストや
]		症例ディスカッションなどの結果から	、講義の内容がある程度は定	着している	印象であ

科目名		系統講義 (臨床遺伝学)				
受講者数		記載不要 115名	授業ア	ンケート回答率	43%	%
授業の開講	日・時限	前期	対象学	年 4年	必修選択の別	必
達成する学	位授与の方	針		技能	• 知識	
その学位技	受与の方針	疾病の正確な診断と適切な	よ治療を	遂行するための	幅広い知識と高	度な技法
について,	この授業が	を修得している。				
担う部分を	, 説明して					
ください。						
1. 成績評(西(「科目 GP	A」) は学生が授業の達成目標	票にどの	くらい到達して	いたかを表す数	値であり,
授業アン	ンケートの	「到達度」の数値は,学生が	自分は持	受業の達成目標に	こどのくらい到達	達していた
と思うの	のかを表す数	α値です。教育プログラムの	ねらいと	:照らし合わせて	, その2つの数	女字をどの
ようにな	分析し解釈し	ているかを記入してください	い。			
		「到達度」の回答分布		強くそう思う	2	8 %
		✓到達及」の固合が相※授業アンケート結果のグ	'ラフ	そう思う	6	6 %
科目 GPA	3. 75			どちらでもない		6 %
		の値を転記してください。	.70	そう思わない		0 %
		シ		全くそう思わない		0 %
教育プロク	グラムのね	「強くそう思う」「そう思う	う」合わ	せて、94%であり)、十分な到達度	ぜであった
らいと照り	らし合わせ	と考えられる。				
て,科目GF	PA の数値と					
「到達度」	の回答分布					
をどう分析	解釈して					
いるか						
2. 成績評価	ffi(「科目 GP』	A」)は学生の学びがどれだけ	成功し	ていたかを表すす	数値であり, 授業	をアンケー
		値は、学生がどれだけ学びの		- · - ·		
		引らし合わせて,その 2 つの	数字を	どのように分析し	レ解釈しているか	ゝを記入し
てくだ	さい。	est h h	-			
		「達成感」の回答分布		強くそう思う		4 %
el =		※授業アンケート結果のク		そう思う	-	8 %
科目 GPA	3. 75	「この授業の一連の経験を		どちらでもない		8 %
		て、達成感を得ましたか」の	の値を	そう思わない		0 %
		転記してください。		全くそう思わない		0 %
	グラムのね	「強くそう思う」「そう思う	う」合わ	せて、92%であり)、十分な達成原	※であった
	らし合わせ	と考えられる。				
	Aの数値と					
「達成感」	の回答分布					

をどう分析	·解釈して				
いるか					
3. 成績評価	西(「科目 GPA	- A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であり、技	受業フ	アンケー
トの「当		数値は,学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値です。	教育 フ	プログラ
ムのねり	ういと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈しているかる	と記り	してく
ださい。					
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	0	%
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	2	%
科目 GPA	3. 75	「1週間あたりどのくらい時間	1時間以上2時間未満	8	%
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	46	%
		記してください。	30 分未満	44	%
教育プロク	ブラムのね	2 時間未満が、合計 98%であった	。他方、適切な授業外学習に	関する	る設問で
らいと照り	らし合わせ	は、「強くそう思う」「そう思う」	合わせて 76%であった。今回、	授美	
て, 科目 GF	A の数値と	びを重視するものであり、その充	実のために比較的短時間授業を	小学	習をして
「学習時間	」の回答分	いたと考えられる。			
布をどう分	・析・解釈し				
ているか					
4. 成績評価	西(「科目 GP	A」), および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベルが近	適切で	であった
かどうた	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。		
想定したし	/ベルが適	想定されたレベルは適切であった	と考える。		
切であった	かどうか				
その理由		本講義は知識習得をメインとした	プログラムである。授業外での	り学習	習の意義
		は理解しているが過度な時間を割	くことなく、講義時間内で十分	分な到	引達度、
		達成感を感じられていたため。			
期待された	に教育成果	期待された教育成果は十分に得ら	れたと考える。		
が得られた	かどうか				
そう言える	理由	到達度、達成感に加えて、できる	ようになったこと、価値があっ	ったこ	ことに関
		する自由記載でも、3 年次の遺伝	医学演習・実習Ⅰ、Ⅱ (特にì	貴伝オ	カウンセ
		リングロールプレイ実習) の発展	版と位置づけられ一貫した学	図成 男	長があっ
		たことが確認されたため。			

科目名		系統講義 (医療情報)						
受講者数		記載不要 115 名	授業ア	ンケー	- 卜回答率	27%		%
授業の開講	日・時限	前期	対象学	年	4年	必修選択の別		必
達成する学	位授与の方	計		1	技能	• 知識		
その学位技	受与の方針	疾病の正確な診断と適切	な治療を	遂行	するための	幅広い知識と	高度	まな技法
について,	この授業が	を修得している。						
担う部分を	, 説明して							
ください。								
1. 成績評(西(「科目 GP	A」) は学生が授業の達成目	標にどの	くら	い到達してい	いたかを表す	效値	であり,
授業アン	ンケートの	「到達度」の数値は,学生が	5自分は	受業の	達成目標に	どのくらい到	達し	ていた
と思うの	のかを表す数	(値です。教育プログラムの	ねらい	ヒ照ら	し合わせて	, その2つの	数与	こをどの
ようにな	分析し解釈し	ているかを記入してくださ	(V)					
		「到達度」の回答分布		強く	そう思う	19). 4	%
		※授業アンケート結果の	グラフ	そう月	思う		71	%
科目 GPA	3. 89	「授業目標に到達しました		どちに	うでもない	(9. 7	%
		の値を転記してください。		そう月	思わない		0	%
				全く	そう思わない		0	%
教育プログ	グラムのね	到達度について「そう思れ	っない」「	全くる	とう思わなレ	」と言った否	定的	りな回答
	うし合わせ	がなく、医療情報学を理解		と自覚	住している学	生が多いため)、	哥レト GPA
	A の数値と	に反映されていると考える	5.					
_	の回答分布							
	・解釈して							
いるか								
		A」)は学生の学びがどれだり						
		値は、学生がどれだけ学び						
		らし合わせて,その 2 つ6	り数子を	800 J	こうに分析し	解釈している	カュを	ご記入し
てくだ	∴ v '°	「達成感」の回答分布		融 / :	そう思う	1.0). 4	%
		「達成感」の回合が作 ※授業アンケート結果の	ガラつ	強くっ			1.4 1.5	%
科目 GPA	3. 89	「この授業の一連の経験			いり うでもない		i. 5 2. 9	%
TT D UTA	0.00	て、達成感を得ましたか」			思わない		2. 9 3. 2	%
		転記してください。	v / 旧で		そう思わない	·	0	%
数音プログ	 ブラムのね	学生の多くが高い達成感	を得たレ			えられる こ	_	
	うし合わせ	の回答結果と整合性があり						
	PAの数値と	らの結果より医療情報学の						-
	の回答分布	- Complete S Market III I	,			20.20		

をどう分析	・ 解釈して						
いるか							
3. 成績評価	西(「科目 GPA	- A」) は学生の学びがどれだけ成功し	ていたかを表す数値であ	り,授業フ	アンケー		
トの「賞	学習時間」の	数値は, 学生がどれだけ努力して学	んでいたかを表す数値で	す。教育に	プログラ		
ムのねり	らいと照らし	合わせて,その2つの数字をどの	ように分析し解釈している	るかを記り	してく		
ださい。							
		「学習時間」の回答分布	3 時間以上	0	%		
		※授業アンケート結果のグラフ	2時間以上3時間未満	0	%		
科目 GPA	3. 89	「1 週間あたりどのくらい時間	「1 週間あたりどのくらい時間 1時間以上2時間未満 3.2				
		外で学習しましたか。」の値を転	30 分以上 1 時間未満	9. 7	%		
		記してください。	30 分未満	87. 1	%		
教育プロク	グラムのね	自習時間が少ないが、分野的に学	習が後回しにされがちで	あることか	『影響し		
らいと照ら	らし合わせ	ていると考えられる。また病態を	考えるような医学的に高原	度な理解を	求めら		
て,科目GF	PA の数値と	れる科目ではないため長い自習時	間は必要ないと考えられる	る。到達度	と、達成 としょう こうしょう こうしょ こうしょ しょく かんしょ しょく かんしょう かんしょう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し		
「学習時間	」の回答分	感が十分得られているため問題な	いと考えられる。				
布をどう分	が析・解釈し						
ているか							
4. 成績評(西(「科目 GP	A」),および上記の3つの検証作業	から見て、想定したレベル	レが適切で	であった		
かどうた	かと、期待さ	れた教育成果が得られたかどうか	についてご記入ください。				
想定したし	レベルが適	想定したレベルは適切であったと	考える。				
切であった	かどうか						
その理由		GPA は高値であり、かつ学生が自	覚する到達度、達成感が-	ト分得られ	いている		
		ため、バランスが良かったと考え	ている。				
	と教育成果	教育効果は得られたと考えられる	0				
が得られた							
そう言える	理由	短時間の学習時間であるが、成果					
		報学は法律の条文等の普段気にす		Fが多く含	まれる		
		が、しっかり知識を得ることがで	きていると考えられる。				

令和5年度 医学部における教育課程の点検・評価結果報告書

※赤字は留意事項または記入例ですので、提出時は削除または修正してください。 ※各部局で定める「教育課程の点検・評価実施手順」に基づき、①点検・評価、②その結果の学部内での報告・改善の提言、③改善事項の策定までが適切に実施されたことが本報告書で見えるように記載してください。

部局名 点検・評価の実施主体 医学部 医学部医学科カリキュラム評価委員会

| . 点検・評価の結果

No.		評価項目	点検・評価の実施方法	実施時期	確認した根拠資料 又は具体的な取組	結果	改善事項	改善に向けて実施 する取組・時期
(1)	学位授与方針が具体的かつ明確であること	学位授与方針を,大学等の 目的を踏まえて,具体的か つ明確に策定していること	学位授与の方針において, 社会的ニーズ,学生の学習 目標,卒業に必要な学習成 果等が具体的に示されてい ることを確認する。	3年ごと	(令和5年度は非該当)	-	-	_
	【大学評価基準6-1】							
(2)		教育課程方針において,学 生や授業科目を担当する教 員が解り易いように,						
	【大学評価基準6-2】	①教育課程の編成の方針,						
		②教育課程における教育・ 学習方法に関する方針,		3年ごと	(令和5年度は非該当)	_	_	_
		③学習成果の評価の方針						
		を明確かつ具体的に明示し ていること						
		教育課程方針が学位授与方 針と整合性を有しているこ と	の内容が, 学位授与の方針	3年ごと	(令和5年度は非該当)	_	l	_
	教育課程の編成及び授業 科目の内容が、学位授与 方針及び教育課程方針に 即して、体準であること にしい水準であること	教育課程の編成が,体系性 を有していること	・教育課程編成・実施の方 針に基づいたカリキュラム マップが作成されているこ とを確認する。	3年ごと	(令和5年度は非該当)		-	-
	【大学評価基準6-3】		・教育課程の編成における 体系性を検討し、確認す る。					
		授業科目の内容が, 授与す る学位に相応しい水準と なっていること	シラバスガイドラインに基 づくシラバス点検が実施さ れていることを確認する。	毎年度	資料No.7-1 シラバス点検記録	0		
•	1			1	•			

No.	点検・	評価項目	点検・評価の実施方法	実施時期	確認した根拠資料 又は具体的な取組	結果	改善事項	改善に向けて実施 する取組・時期
		他の大学又は大学以外の教 育施設等における学習, 学前の既修得単位等の単認 定を行っている場合, 定に関する規定を法令に従 い規則等で定めていること	の活動成果の単位認定,入 学前の既修得単位認定等に ついて,定められた規程に 基づき,手続きが行われて	教育課程の変更があるとき	(令和5年度は非該当)		1	-
, ,	学位授与方針及び教育課程方針に即して,適切な授業形態,学習指導法が採用されていること	面別し1 アの週にもたてす	学年暦により確認する。	毎年度	資料No.7-2 学年歷	0		
	【大学評価基準6-4】	を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育 効果をあげていること	15週と異なる授業期間を設定する集中講義。e・ Learning授業等について は実験目前が15回に相当 する内容であることがシラ バスガイドラインに基づき 点検されていることを確認 する。	毎年度	資料No.7-2 学年歷	0		
		適切な授業形態,学習指導 法が採用され,授業の方法 及び内容が学生に対して明 示されていること	づくシラバス点検が実施さ れていることを確認する。	毎年度	資料No.7-1 シラバス点検記録	0		
		教育上主要と認める授業科 目は,原則として専任の教 授・准教授が担当している こと	授・准教授であることが, カリキュラム編成において 点検されていることを確認 する。	毎年度	資料No.7-3 授業主担当教員一覧	0		
(5)	切な履修指導,支援が行 われていること 【大学評価基準6-5】	学生のニーズに応え得る履 修指導の体制を組織として 整備し、指導、助言が行わ れていること	ループ別懇談会等の実施を 確認する。	毎年度	資料No.7-4 ガイダンスとグループ懇談会 開催スケジュール表	0		
		学生のニーズに応え得る学 習相談の体制を整備し、助 言、支援が行われていること	教員等連絡先, 学習相談窓	毎年度	資料No.7-5 教員連絡先/学生相談窓口	0		

No.	点検・	評価項目	点検・評価の実施方法	実施時期	確認した根拠資料 又は具体的な取組	結果	改善事項	改善に向けて実施 する取組・時期
		社会的・職業的自立を図る ために必要な能力を培う取 組を実施していること		毎年度	資料No.7-6 医学概論 I シラバス 臨床実習シラバス抜粋	0		
		障害のある学生、留学生、 その他履修上特別な支援者 要する学生に対する支援者 援を行う体制を整えている こと	情報が、学生便覧やホーム ページへの掲載等により周 知されていることを確認す る。	毎年度	資料No.7-7 令和6年度学生便覧「27. 学 生相談窓口について」	0	障がい学生及び留学生へ の学習支援、相談窓口等 の情報について、令和6 年度学生便覧に記載し た。	
(6)		成績評価基準を学位授与方 針及で教育課程方針に即し 下変められている学習成果 の評価の方針と整合性を もって、組織として策定し ていること	づくシラバス点検が実施されていることを確認する。	毎年度	資料No.7-I シラバス点検記録	0		
	【大学評価基準6-6】	成績評価基準を学生に周知していること	成績評価基準がシラバス検 索システムに掲載されてい ることを確認する。	毎年度	シラバス点検時に確認済。 (2023シラバス参照)	0		
		ていることについて、組織 的に確認していること	位認定が厳格かつ客観的に 行われていることを, 進級 判定会議において確認す る。	毎年度	各学年の進級判定会議におい て確認済。	0		
		成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること		毎年度	学生便覧2023 P56【信州大学医学部医学科 履修及び試験内規】に記載	0		
(7)	(7) 大学等の目的及び 学位授与方針に即して, 公正な卒業判定が実施さ れていること	大学等の目的及び学位授与 方針に即して、卒業の要件 (以下「卒業要件」とい う。)を組織的に策定して いること		教育課程の変更があるとき	(令和5年度は非該当)	-	_	_
	【学位授与方針6-7】	策定した卒業要件を学生に 周知していること	学生便覧への掲載等により 周知されていることを確認 する。	毎年度	学生便覧2023 P48【医学部規程】に記載	0		
		卒業の認定を,卒業要件に 即して組織的に実施してい ること	卒業判定基準に基づき実施 されていることを確認す る。	毎年度	【資料No.7-8】 進級・卒業判定基準 進級判定会議時に基準を基に 行っている。	0		

3

No.	点検・	評価項目	点検・評価の実施方法	実施時期	確認した根拠資料 又は具体的な取組	結果	改善事項	改善に向けて実施 する取組・時期
(8)	与方針に即して, 適切な	標準修業年限内の卒業率及び「標準修業年限×1.5」 年内卒業率、資格取得等の 状況が、大学等の目的及び 学位授与方針に即した状況 にあること	されていることを確認す	毎年度	議題3【医学科における進級状況について】参照	0		
		就職(就職希望者に対する 就職者の割合)及び進学の 状況が、大学等の目的及び 学位授与方針に即した状況 にあること	状況が把握されていること を確認する。	毎年度	【資料No.7-9】 就職先一覧	0		
		卒業時の学生からの意見聴 取の結果により,大学等の 目的及び学位授与方針に即 した学習成果が得られてい ること	関するアンケートが実施され、結果に基づく検証が行	毎年度	【資料No.7-10】 卒業生面談結果	0		
		卒業後一定期間の就業経験 等を得た卒業生からの意見 聴取の結果により、大学等 応見的及び学位授与方針に 即した学習成果が得られて いること	を経た卒業生からの意見聴 取の結果に基づく検証が行 われていることを確認す	6年ごと	(令和5年度は非該当)	-	1	_
		就職先等からの意見聴取の 結果により,大学等の目的 及び学位授与方針に即した 学習成果が得られていること	見聴取の結果に基づく検証が行われていることを確認	3年ごと	(令和5年度は非該当)		_	_

- 2. 点検・評価の実施及び点検・評価結果に基づく改善計画策定の過程 ・令和6年3月27日 カリキュラム評・
 - ・令和●年●月●日
- る カリキュラム評価委員会において、点検・評価を実施(別紙議事要録参照) ●●会議から●●委員会に対して、点検・評価の結果を報告するとともに、当該結果に基づく教育課程の改善を提言(別紙参照)
- ·令和●年●月●日
- ●●委員会において、●●会議からの提言を踏まえて、教育課程の改善計画を策定(別紙議事要録参照)

科日名【医学概論 1】

【シラバス作成時のチェックリスト】

√カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

図成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

②事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

受学教育研修センター

.

【シラバス作成時のチェックリスト】

科目名【ヒト生物学 I】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

・日実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

□ 放績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受請生に伝わるように書きました。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センタ



科目名【ヒト生物学Ⅱ】

【シラバス作成時のチェックリスト】

√プカリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

□試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。
□授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。
□実習やフィールドワーク等で学外に出る機業日を示しました。 (該当者のみ)
□知希点を加算していません。

☑ 成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

科目名【生化学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

√授業アンケートの実施,実務経験のある教員による授業,の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)—

☑出席点を加算していません。

(近成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

√事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



確認者署名



科目名【新入生ゼミナール】

【シラバス作成時のチェックリスト】

ロカリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験, レポート提出, 中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

- 日実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

区成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【ゲノム・染色体・遺伝子】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリンーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)....

□/出席点を加算していません。

☑ 対議の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし
**

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

「大学者では、フィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

位成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

医学教育研修センター



科目名【発生学総論/再生医学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

□ カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

図授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

- 日実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

科目名【人体の構造】

成目標を設定しました。

□出席点を加算していません。

【シラバス作成時のチェックリスト】

囚事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



確認者署名



科目名【解剖学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

図試験,レポート提出,中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑放績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【薬理学総論】

【シラバス作成時のチェックリスト】

□カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

□試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

- ロ実習やフィールドワーク等で学外に出る授業目を示しました。(該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

口放績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

↓事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センタ・



科目名【病理学総論】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施,実務経験のある教員による授業,の記載がある。

一口実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。
(該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑ ☑ 成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

科目名【感染症】 (2**年**生)

【シラバス作成時のチェックリスト】

図カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成月標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

──日実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



確認者署名



科目名【免疫・アレルギー】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の違 成目標を設定しました。

☑試験, レポート提出, 中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)---

☑出席点を加算していません。

■事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【消化器】

【シラバス作成時のチェックリスト】

√(カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

□出席点を加算していません。

区成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

■事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センタ



科目名【循環器】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

口試験, レポート提出, 中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施, 実務経験のある教員による授業, の記載がある。

- 日実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

科目名【医学概論 II 】

【シラバス作成時のチェックリスト】

図カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□実習やフィールドワーク等で学外に由る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑/成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



確認者署名



科目名【腎·泌尿器】

【シフバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成目標を設定しました。

□試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施,実務経験のある教員による授業,の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

図成績の評定は、授業の達成日標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし た。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【乳腺・産科・婦人科】

【シラバス作成時のチェックリスト】

□分カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施, 実務経験のある教員による授業, の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

た。

上事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【糖尿病・内分泌・代謝】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の違 成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

以成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし た

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科日名【精神】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成日標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

- □実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名



科目名【境界医療・老年医学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

√カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施, 実務経験のある教員による授業, の記載がある。 ハ代政・衛

- 回実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑放鎖の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【神経】

【シラバス作成時のチェックリスト】

√カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

り受業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

- 日実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

区成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし . た。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【運動器(筋骨格)】

【シフバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成日標を設定しました。

☑授業アンケートの実施, 実務経験のある教員による授業, の記載がある。

口実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

□ (奴績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

科日名【呼吸器】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成日標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施, 実務経験のある教員による授業, の記載がある。

-- 口実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

▽事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



確認者署名



科目名【視覚器】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑出席点を加算していません。

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の遠 成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。 ☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。 □実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ) -

□ 成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科日名【頭頭部】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。 ☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。 □実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ) □出席点を加算していません。

☑成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし た

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【皮膚】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成日標を跨定しました。

図試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

区授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

「□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

「□出席点を加算していません。

区成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし た。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

科目名【成長と発達】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

□試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。
□授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。
□集習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)
□出席点を加算していません。

図成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



確認者署名



科目名【心理学・行動科学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

□試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

田実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)。

☑出席点を加算していません。

☑成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受請生に伝わるように書きまし、

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【血液】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の遠 成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

団授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

図成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし た

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【腫瘍】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施,実務経験のある教員による授業,の記載がある。

口実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

□出席点を加算していません。

口成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 . 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

□出席点を加算していません。

区成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達

□試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

√□授業アンケートの実施,実務経験のある教員による授業,の記載がある。

-□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

t=.

科目名【基礎医学実験】

成日標を設定しました。

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



確認者署名



科目名【感染症(4年)】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)_

☑出席点を加算していません。

☑成績の評定は,授業の違成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し, 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

反事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

医学教育研修センター



科目名【症候・症例からのアプローチと臨床検査】



□カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成目標を設定しました。

□試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

□出席点を加算していません。

□成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【移植】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

- □実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑成績の評定は、授業の違成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

科目名【救急・麻酔・外傷】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成目標を設定しました。

☑試験,レポート提出,中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター





科目名【遺伝医療・ゲノム医療】

【シラバス作成時のチェックリスト】

√カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に連合するようこの授業の達成目標を設定しました。

□試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

○授業アンケートの実施,実務経験のある教員による授業,の記載がある。

口実習やフィールドワーケ等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし、

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【医療安全・医療情報・放射線】

【シラバス作成時のチェックリスト】

□分リキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に連合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

□出席点を加算していません。

図成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし た

□ 事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センタ-



科目名【地域医療】

【シラバス作成時のチェックリスト】

■かりキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

口試験, レポート提出, 中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施,実務経験のある教員による授業,の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

□成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、 何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし .

図事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

科日名【社会医学(4年)】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達 成日標を設定しました。

□試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☑実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

√事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



確認者署名



科目名【臨床実習前集中講義】

【シラバス作成時のチェックリスト】

√カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

口試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

- 口実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。 (該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

□ 放績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【ユニット講義(社会医学・医療管理)】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☑カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の違 ・ 成目標を設定しました。

☑試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

□授業アンケートの実施, 実務経験のある教員による授業, の記載がある。

□実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

☑ 成績の評定は、授業の達成日標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受請生に伝わるように書きまし

☑事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【合同チーム医療演習】

【シラバス作成時のチェックリスト】

√カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の違
成目標を設定しました。

立試験,レポート提出,中間試験や小試験等の日程を示しました。

☑授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

- 口実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☑出席点を加算していません。

□放験の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、
何ができていればどの評定になると言えるのかが受請生に伝わるように書きまし

□事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名



令和5年度 共通教育・医学科 学年暦 (1年生)

		育	Í	期						移	ź	期			
月\曜	日	月	火	水	木	金	土	月\曜	日	月	火	水	木	金	上:
							1								
	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7
4	9	10	11	12	13	1/4		10	8	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21	22	10	15	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28	29		22	23	24	25	26	27	28
	30								29	30	31				
		1	2	3	4	5	6					1	2	3	4
	7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11
5	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25	26	27		19	20	[21]	22	23	24	25
	28	29	30	31					26	27	28	29	30		
					1	2	3							1	2
	4	5	6	7	8	9	10		3	4	5	6	7	8	9
6	11	12	13	14	15	16	17	12	10	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23	24		17	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30			24	25	26	[27]	28	29	30
									31						
	0		4	_	C	-7	1			-	- 0	0	4	_	
	2	3	4	5	6	7	8		7	1	2	3	4	5	6
7	9	10	11	12	13	14	15	1	7	8	9	10	11	12	13
	16		18	19	20	21	22		14	15	16	17	18	19	20
	23	24	25	26	27	28	29		21	22 29	23	24	25	26	27
	30	31		2			_		28	29	30	31	-	0	0
	C	7	1 8	9	3	4	5		4	г	C	7	1	2	3
8	6 13	_	15		10	11 18	12	2	11	5 12	6	14	8 15	9	10 17
0	20	14 21	22	16 23	24	25	19 26	۷	18	19	13 20	21	22	16 23	24
	27	28	29	30	31		20		25	26	27	28	29	23	24
	41	- 20	_ 43	- 50	- 51	1	2		_20	20	41	- 20	_ 23	1	2
	3	4	5	6	7	8	9		3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16		10	11	12	13	14	15	16
9	17	18	19	$\frac{13}{20}$	21	22	23	3	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30		24	10 2 >	26	27	28	29	30
	24	20	20	41	20	49	30		31	~j/	20	41	20	49	30
									IJΙ						

曜日別日数

開学記念日:6月1日

後期授業開始:9月25目

		前		其	月					後		其	月		
区分\曜	日	月	火	水	木	金	土	区分\曜	日	月	火	水	木	金	土
授業日	_	15	15	15	15	15	1	授業日		15	15	15	15	15	_
試験日	_	1	1	1	1	1		試験日	_	1	1	1	1	1	
合 計				80				合 計				80			

> 後期 11月21日(火) (木曜日の授業) 12月27日(水) (金曜日の授業)

前期授業開始: 4 月 1 0 日 臨時休業日: 5 月 2 日 (火)

1月12日(金)(大学入学共通テスト準備)

新2年生ガイダンス: 令和6年3月25日 (月)

※令和6年3月25日から解剖学(2年生講義)のガイダンス及び講義を実施する場合がありますので、予定は空けておいてください。

令和5年度 共通教育・医学科 学年暦 (2年生)

		育	ĺĴ	期						後	ź	期			
月\曜	日	月	火	水	木	金	土	月\曜	月	月	火	水	木	金	土:
							1								
	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7
4	9	10	11	12	\odot	14	15	10	8	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21	22	10	15	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28	29		22	23	24	25	26	27	28
	30								29	30	31				
		1	2	3	4	5	6					1	2	3	4
	7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11
5	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25	26	27		19	20	[21]	22	23	24	25
	28	29	30	31					26	27	28	29	30		
					1	2	3							1	2
	4	5	6	7	8	9	10		3	4	5	6	7	8	9
6	11	12	13	14	15	16	17	12	10	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23	24	1.0	17	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30			24	25	26	【27】	28	29	30
							-		31						
	0		4	-	0	-	1			4	0	0		-	
	2	3	4	5	6	7	8		7	1	2	3	4	5	6
7	9	10	11	12	13	14	15	1	7	8	9	10	11	12	13
	16	17	18	19	20	21	22		14	15	16	17	18	19	20
	23	24	25	26	27	28	29		21	22	23	24	25	26	27
	30	31	<u>_</u>				_		28	29	30	31			
	0	-	1	9	3	4	5		4	_		-	1	2	3
8	6	7	8		10	11	12	2	4	5	6	7	8	9	10
8	13	14	15	16	17	18	19	۷	11	12	13	14	15	16/	17
	20	21 28	22	23	24 31	25	26		18 25	19 26	20	21 28	22 29	23	24
	21	28	29	30	31	1	2		25	26	21	28	29	1	2
	3	4	5	6	7	8	9		3	1	5	6	7	8	9
										4			_		
9	10	11	∮	13	$\frac{14}{21}$	15	16	3	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	$\frac{21}{20}$	22	23		17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30		24	25	26	27	28	29	30
									31						

曜日別日数

健康診断:4月13日(木)午後

唯日 口 力丁	口奴														
	前期									後		其	月		
区分\曜	Ш	月	火	水	木	金	土	区分\曜	П	月	火	水	木	金	±
授業日	I	15	15	15	15	15	_	授業日	_	15	15	15	15	15	
試験日	-	1	1	1	1	1	_	試験日	_	1	1	1	1	1	_
合 計				80				合 計				80			

h. 44977 1		H. 4007 C 111		•			•	
合 計	80	合 計			80			
	授業期間		ガイダンス	: 4月	5日(水)午往	爰	
	共通教育試験期間		遺骨返還式・	慰霊祭	: 10月	6日(金	<u>E</u>)	
	医学概論Ⅱ(2年早期体験実習)(9/15~9/22)	[]	振替授業日:	前期 な	:L			
	休 業 日			後期 1	1月2	1日 (火) (オ	曜日の授業
	開学記念日:6月1日	\Diamond	医学概論Ⅱ説					定曜日の授業
	前期授業開始: 4月6日(専門科目) :4月10日(共通教育科目)	$\overline{}$	2年後期総合	試験:	2月1	6月(生	全)	
	後期授業開始:9月25日	臨時休	業日: 5月21	目 (火)				

1月12日(金)(大学入学共通テスト準備)

令和5年度 医学科 **学 年 暦** (3年·4年)

•	3年生】		100							
		月	週	目	月	火	水	木	金	<u>±</u>
		4	1 2 3 4 5	2 9 16 23 30	3 10 17 24	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29
		5	5 6 7 8 9	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27
前空	前期授業	6	9 10 11 12 13	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24
		7	13 14 15 16 17 18	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29
	夏季休業	8	18 ① ② ③ ④	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26
	後期授業前倒し	9	1 2 3 4	3 10 17 24	11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30
		10	5 6 7 8 9	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28
		11	9 10 11 12 13	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24	4 11 18 25
後生	学期	12	13 14 15 16 17	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	2 9 16 23 30
		1	18 19 20 21 22	7 121 28	1 8 15 22 29	9 16 23 30	3 10 17 24 31	11 18 25	5 12 19 26	6 20 27
		2	22 23 ①	4 11 18 23	5 12 19	6 13 20 27	$ \begin{array}{r} 7 \\ 14 \\ \hline 21 \\ \hline 28 \\ \end{array} $	1 8 15 22 29	2 9 16 23	3 10 17 24
	春季休業	3	2 3 4 5 6 7	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30
	- 416	HR	28							

学期	週数	月	火	水	木	金	計
前学期	18W	17	17	17	17	17	85
後学期	23W	19	21	21	21	20	102

	行 事
令和5年3月28日(火)	3・4年合同ガイダンス
4月13日(木)	健康診断(終日休講)
9月4日(月)	前期科目総合試験
1月12日(金)	臨時休業日(大学入学共通テスト準備)
2月21日(水)	後期科目総合試験

•	4年生】									
K'	++- <u></u>	月	週	月	月	火	水	木	金	土
		4	1 2 3 4 5	2 9 16 23 30	3 10 17 24	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29
	前期授業	5	5 6 7 8 9	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27
前令	之期 試験期間	6	9 10 11 試1 試2	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24
	p*\.38天约1(n)	7	試3 試4	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29
	夏季休業	8	0 0 0	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26
	臨床実習前集中講義	9		3 10 17 24)	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21) 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30
	<u></u>	10	1 2 3	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5	6 (13) 20 (27)	7 14 21 28
	臨床実習	11	3 4 5 6 7	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24	4 11 18 25
後雪	上	12	7 8 9 10	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	2 9 16 23 30
		1	11 12 13 14	7 \$\frac{21}{28}\$	1 8 15 22 29	9 16 23 30	3 10 17 24 31	11 18 25	5 12 19 26	6 20 27
	臨床実習	2	14 15 16 17 18	4 11 18 ��	5 12 19	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	9 16 23	3 10 17 24
	春季休業	3	18 19 20 ① ② ③	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30

行事	
令和5年3月28日(火)	3・4年合同ガイダンス
4月13日(木)	健康診断(終日休講)
7月27日(木)	臨床総合試験(13時~)
8月24日(木), 25日(金)	共用試験CBT
8月28日(月)~9月15日(金	臨床実習前集中講義
9月21日(木)	共用試験CBT追再試
9月23日(土)	共用試験OSCE①
9月24日(日)	共用試験OSCE②
10月13日(金)	白衣授与式, ガイダンス
10月14日(土)	共用試験OSCE追再試
10/13-27, 11/10-24, 12/3	医学部合同チーム医療演習
19/99 1/18/9/9-16 9/1-10	/// カルカラ・ルン・・ブフェロ・ア・・ブブロガラト

 学期
 週数
 月
 火
 水
 木
 金
 計

 前学期
 11W
 11
 10
 10
 10
 10
 51

12.23.1 1923年は、A/I-12 / リーカルクラークシップフォローアップブログラム ※12月1日(金) (学校推薦型選抜) ※1月13日(土), 14日(日)(大学入学共通テスト) ※2月25日(日), 26日(月)(前期日程)

令和5年度 医学科 **学 年 暦** (5年·6年)

76	左41					IJ (T	Ц О.	7-12	Z.		_
ľΟ	年生】	月	週	月	月	火	水	木	金	土	1
		4	1 2 3 4	2 9 16 23 30	3 10 17 24	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 (20 27 (7 14) 21 28	1 8 15 22 29	
	臨床実習	5	5 6 7 8	7 14 21 28	1 8 15 22 29	9 16 23 30	3 10 17 24 31	11 18 (25	12 19 26	6 13 20 27	
前学期		6	8 9 10 11 12	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 (8 15 (22 29	2) 9 16) 23 30	3 10 17 24	
		7	13 14 15 16	2 9 16 23 30	3 10 17 24	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22	
	夏季休業	8		6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	
		9	1 2 3 4	3 10 17 24	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	(1) 8 15 22 29	2 9 16 23 30	
	150通り	10	5 6 7 8 9	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	$ \begin{array}{c c} 3 \\ 10 \\ 17 \\ 24 \\ \hline 31 \end{array} $	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	
		11	9 10 11 12 13	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24	4 11 18 25	
後学期		12	13 14 15 16	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	2 9 16 23 30	
	150通り	1	17 18 19 20	7 12 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 20 27	
		2	20 21 22 23 24	4 11 18 2	5 12 19	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	9 16 23	3 10 17 24	
	春季休業	3	24	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	2 9 16 23 30	
			期		数						
	All ACT T / EDG elector VIII \		7.189	17	1117	ĺ					

	学期	週数
クリクラⅠ(臨床実習)	前期	16W
クリクラⅡ(150通り)	後期	24W

行 事					
令和5年3月24日(金)	健康診断				
4/14 • 28, 5/19, 6/2 • 16					
7月29日(土)午前	臨床総合試験(講義室AB)				
7月29日(土)午後	Midterm OSCE (2実)				
9月1日(金)	ガイダンス				
1月19日(金)~1月20日(土)	スキー合宿研修会				

(月13日(金) (学校社店型建設) ※12月1日(金) (学校推店型建設) ※1月13日(土), 14日(日)(大学入学共通テスト) ※2月25日(日), 26日(月)(前期日程)

T.	一			(3	+ ·	Ο.	+)				
[6	年生	.]	月	週	月	月	火	水	木	金	土
			4	1 2 3 4	2 9 16 23 30	3 10 17 24	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14) 21 28)	1 8 15 22 29
	臨床実習	5	1 2 3 4	7 14 21 28	1 8 15 22 29	9 16 23 30	3 10 17 24 31	11 18 (25	12 19 26	6 13 20 27	
前台	之期		6	4 1 2 3 4	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 9 22 29	9 16 23 30	3 10 17 24
ユニット講義	社会医学·医 卒試前講家	臭期間	7		9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22
	夏季休	業	8		6 13 20 27	7 14 21	1 8 15 22	2 9 16 23	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26
	講義・卒詩	対問	9		3 10 17 24	4 11 18 25	5 12 18 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30
		10		1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 <u>2</u> 1 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	
			11		5 12 19 26	6 (13 20 27	7 14 21 28	$ \begin{array}{c} 1 \\ 8 \\ 15 \\ 22 \\ 29 \end{array} $	2 9 16 23 30	3 10 17 24	4 11 18 25
後学期			12		3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	2 9 16 23 30
			1		7 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 20 27
			2		4 11 18 2	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23	3 10 17 24
			3		3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30

	学期	週数	
パウ I (遊択総用実資)	前期	12W	

	行 事
令和5年3月24日(金)	ガイダンス
令和5年3月24日(金)	健康診断
4/14.28, 5/19, 6/2.16	5.6年合同授業
7月2日(日)	臨床実習後OSCE①
	臨床実習後OSCE②
8/28, 9/19, 10/23,24	総合卒業試験
9/28-29, 11/7-8	模試
3月21日(木)	卒業式〈長野県松本文化会館〉
V(10 H 1 H (A) /6	マキや 1位 単位 取け 2014年 /

※12月1日(金) (学校推薦型選抜) ※1月13日(土), 14日(日)(大学入学共通テスト) ※2月25日(日), 26日(月)(前期日程)

	令和5年度授業担当教員一覧						
学年	題目コード	科目名	主担当教員				
1	M0100300	医学概論 I	森淳一郎				
1	M0100700	ヒト生物学 I	加藤 沢子				
1	M0100800	ヒト生物学Ⅱ	加藤 沢子				
1	M0103000	生化学	平塚 佐千枝				
1	M0105000	ゲノム・染色体・遺伝子	古庄 知己				
1	M0106000	発生学総論/再生医学	柴 祐司				
1	M0200100	人体の構造	福島 菜奈恵				
2	M0200500	解剖学	福島 菜奈恵				
2	M0200700	薬理学総論	山田 充彦				
2	M0200800	病理学総論	菅野 祐幸				
2	M0200900	感染症(2年)	花岡 正幸				
2	M0201000	免疫・アレルギー	関島 良樹				
2	M0201200	消化器	梅村 武司				
2	M0201300	循環器	桑原 宏一郎				
2	M0202000	医学概論Ⅱ	森 淳一郎				
2	M0202800	発生学	柴 祐司				
4	M0301100	臨床実習前集中講義	森 淳一郎				
3	M0302000	腎・泌尿器	小川 輝之				
3	M0303000	糖尿病・内分泌・代謝	駒津 光久				
3	M0304000	乳腺・産科・婦人科	塩沢 丹里				
3	M0305000	精神	鷲塚 伸介				
3	M0306000	境界医療・老年医学	森淳一郎				
3	M0307000	神経	関島 良樹				
3	M0308000	運動器(筋骨格)	髙橋 淳				
3	M0309000	呼吸器	花岡 正幸				
3	M0310000	視覚器	村田 敏規				
3	M0311000	頭頸部	工穣				
3	M0312000	皮膚	奥山 隆平				
3	M0313000	成長と発達	中沢洋三				
3	M0314000	心理学・行動科学	鷲塚 伸介				
3	M0315000	血液	中沢洋三				
3	M0316000	<u> 腫瘍 </u> 基礎医学実験	神田 慎太郎 森 淳一郎				
<u> </u>	M0317000		森 淳一郎 森 淳一郎				
4	M0415500 M0422700	<u>臨床医学TBL 4年</u> 系統講義(皮膚科)	奥山 隆平				
4	M0422700	系統講義(麻酔科)	川眞田樹人				
4	M0423000	系統講義(病態解析診断学)	上原剛				
4	M0423000	系統講義(救急集中治療医学)	今村 浩				
4	M0423100	系統講義(臨床遺伝学)	古庄 知己				
4	M0423200	系統講義(医療情報)	北口良晃				
6	M0511400	ユニット講義(社会医学・医療管理)	森淳一郎				
4	M0512800	ユニット講義(臨床薬理学)	内藤隆文				
4	M0512000	ユニット講義(呼吸器)	花岡 正幸				
4	M0513000	ユニット講義(消化器)4年	梅村武司				
4	M0513000	ユニット講義(感染症)	花岡 正幸				
4	M0513100	ユニット講義(免疫・アレルギー)	関島 良樹				
4	M0513200	ユニット講義(成長発達)	中沢洋三				
4	M0513400	ユニット講義(神経)	関島 良樹				
4	M0513500	ユニット講義(運動器)	高橋 淳				
4	M0813000	医学部合同チーム医療演習	木村 貞治				
<u> </u>		一,明日177 一个产水次日	1:1:1.1 天相				

2023/3/23 (Ver.5.1)

令和5年度 医学部医学科 新入生ガイダンス

【1日目 第1部】

◆日時:令和5年4月4日(火)9時00分~11時00分

場所:講義室A·B(旭総合研究棟9階)

対象:新入生

保護者については、第2実習室へ

- 1. 学部長挨拶 (9:00~9:05)
- 2. 病院長挨拶 (9:05~9:10)
- 3. 父母会長挨拶 (9:10~9:15)
- 4. 学部長講演「信州大学における医学教育」(9:15~9:45) (休憩 10分)
- 5. 医学教育研修センター
 - ・中澤地域医療推進部門長「地域医療をどう学ぶか」(9:55~10:10)
 - ・上條臨床研修部門長「卒後の臨床研修と専門研修について」(10:10~10:25)
 - ・森医学教育部門長「検温システム,カリキュラム,修学上の注意,進級判定」(10:25~10:40)
- 6. 父母会創設7人賞 授賞式 (10:40~11:00)
 - ~ 入学式@キッセイ文化ホール ~ (入場完了:13:10 退場14:35)

【1日目 第2部】

◆日時:令和5年4月4日(火)15時30分~終了次第

<新入生>

場所:講義室A・B(旭総合研究棟9階)

- 1. 生協から教科書販売等の案内【生協購買部】(15:30~15:40)
- 2. 学生会によるクラス運営のガイダンス【医学科学生会長】 (15:40~)

<保護者>

場所:第一講義室(医学部講義棟1階)

1. 信州医学会の紹介【古庄教授(RO5)】

[2月目]

◆日時:令和5年4月5日(水) 9時00分~15時00分

場所:講義室A・B (旭総合研究棟9階)

対象:新入生

- 1. 中央図書館の利用について【中央図書館職員】(9:00~9:20)
- 2. 医学部図書館の利用案内 (9:20~9:25) 【図書係長】
- 3. 安全の手引きについて (9:25~9:30) 【人事係長】
- 4. 学生生協, AIU信和会(1社約8分) (9:30~09:50)
- 5. 学務事務担当から学生便覧等説明 (9:50~10:30)
- 6. 医学部・附属病院見学(10: 30~11: 30)

※H26年度からは横割り担任とする。

【小児医学、人体構造学、眼科学、国際医学研究推進学、加齢生物学、分子薬理学、遺伝医学に依頼する】

- 7. 学生会によるクラス運営のガイダンス【医学科学生会長】(12:00~13:00)
- 8. 「新入生ゼミナール (学部長)」(13:40~15:10)

令和5年度 医学部医学科在校生の新学年ガイダンス

2年次生

◆日時:令和5年4月5日(水)13時20分~16時40分

場所:第1講義室

- 1. 学部長挨拶(13:20~13:25)
- 2. 2年生 授業担当教員からのメッセージ (13:30~13:50) 福島、藤永、山田、菅野、桑原、副島各教授, 山条准教授
- 3. 感染制御室 金井先生「新型コロナ感染症を踏まえた感染対策」(13:50~14:20)
- 4. 医学教育研修センター・①加藤先生(14:20~14:50)②森医学教育部門長(14:50~15:10) ①生活習慣(未成年飲酒,交通事故,地域住民として,犯罪行為)医道審議会,法的処罰,信大1年間の不祥事 ②検温システム,カリキュラム,修学上の注意,進級判定 (休憩 10分)
- 5. 教授講演【担当:副島先生】(15:20~16:00)
- 6. レポート作成・提出 (16:00~16:10) 1年を振り返って本日のまとめ,これからの1年間の目標,将来の目標
- 7. 事務連絡(16:10~16:40)

3, 4年次生

◆日時:令和5年3月28日(火)13時00分~16時00分

場所:第2実習室・(第1実習室)

- 1. 学部長挨拶(13:00~13:05)
- 2. 感染制御室 金井先生「新型コロナ感染症を踏まえた感染対策」(13:10~13:40)
- 3. 医学教育研修センター
 - ・上條臨床研修部門長「卒後の臨床研修と専門研修について」(13:40~14:00)
 - ·森医学教育部門長(14:00~14:20)

「検温システム,カリキュラム,修学上の注意,進級判定,生活習慣(未成年飲酒,交通事故,地域住民として,犯罪行為)医道審議会,法的処罰,信大1年間の不祥事」

- ・「eMDコース及びクリニカルクラークシップ I 希望アンケートについて」 (休憩 10 分)
- ・3,4年次生合同で、スモールグループディスカッション(14:30~16:00)

研究者行動規範教育「APRINe-learning」について【森先生】

レポート作成・提出 (e-ALPS)

・事務連絡

令和5年度 医学部医学科在校生の新学年ガイダンス

4年次生「白衣授与式, 臨床実習前ガイダンス」

◆日時:令和5年10月13日(金)10時30分~15時00分

場所:講義室A·B(旭総合研究棟9階)

【白衣授与式】(10:30~11:45)

- 1. 学部長挨拶(5分)
- 2. 病院長挨拶(5分)
- 3. 白衣授与 (グループ別に写真撮影する)
- 4. 誓いのことば (4年生代表) (5分)
- 5. 父母会長挨拶(5分)
- 6. 記念撮影(全員で写真撮影する)

【ガイダンス】(13:00~14:30)

1. 医学教育研修センター

「卒後の臨床研修と専門研修について」: 上條臨床研修部門長 (13:00~13:20)

2. 国際交流推進室

「海外協定校での研修の準備をはじめよう!」:田中国際交流推進室長(13:20~13:30)

3. 上級生からのメッセージ

5年生1名 (13:30~14:00)

4. 医学教育研修センター

「検温システム,カリキュラム,修学上の注意,進級判定」,「電子カルテ,診療参加型実習誓約書」 森医学教育部門長 $(14:00\sim14:30)$

5. 事務連絡

5年次生

◆日時:令和5年9月1日(金)9時~11時

場所:講義室A・B (旭総合研究棟9階)

- 1. 感染制御室 金井先生「新型コロナ感染症を踏まえた感染対策」(9:00~9:30)
- 2. 森医学教育部門長「MdtermOSCEの講評」(9:30~9:40)
- 3. 森医学教育部門長「150 通りの選択肢からなる参加型臨床実習について」($9:40\sim$)
- 4. 質疑応答
- 5. 事務連絡

令和5年度 医学部医学科在校生の新学年ガイダンス

6年次生

◆日時:令和5年3月24日(金)13時30分~15時30分

場所:講義室A・B (旭総合研究棟9階)

- 1. 学部長挨拶(13:30~13:35) 病院長挨拶(13:35~13:40)
- 2. 感染制御室 金井先生「新型コロナ感染症を踏まえた感染対策」(13:40~14:10)
- 3. 医学教育研修センター
 - ・「近年のマッチングの流れ」増田先生(14:10~14:30)
 - ·森医学教育部門長(14:30~14:50)

「検温システム,カリキュラム,修学上の注意,進級判定,ポートフォリオの作成(うち「電子カルテ」5分)」

- 4. 先輩からのメッセージ1名(14:50~15:00)
 - 6 年:山田 大雅
- 5. 事務連絡(15:00~15:30)

2023年 春のグループ懇談会 日程一覧

グループ 番 号	教室名	懇談会 開催日	時間	場所			
1	子どものこころ発達医学	6月6日(火)	18:30~20:00	附属病院外来棟4F研修室 4 · 5			
2	人体構造学	6月30日(金)	12:00~12:30	基礎棟4Fミーティングルーム (3)			
3	分子病態学	6月1日(木)	18:30~19:30	附属病院 5 Fレストランソレイユ			
4	分子細胞生理学	5月11日 (木)	18:00~19:00	基礎棟3Fミーティングルーム (2)			
5	血液・腫瘍内科学	6月9日(金)	12:00~13:00	血液・腫瘍内科学教室カンファレンスルーム			
6	分子薬理学	5月26日(金)	18:00~20:00	分子薬理学教室セミナー室			
7	薬剤部	5月25日(木)	18:00~19:00	附属病院 5 Fレストランソレイユ			
8	病理組織学	6月9日(金)	18:30~20:00	基礎棟3Fミーティングルーム (2)			
9	免疫・微生物学	5月15日 (月)	17:30~19:00	医学部基礎棟4F免疫・微生物学教室			
10	遺伝医学	5月15日 (月)	12:20~13:10	基礎棟3Fミーティングルーム (2)			
11	衛生学公衆衛生学	5月29日(月)	12:30~13:10	基礎棟3Fミーティングルーム (2)			
12	法医学教室	5月19日(金)	18:00~19:00	基礎棟3Fミーティングルーム (2)			
13	内科学第一	6月2日 (金)	18:00~19:30	臨床棟4F第一内科ゼミナール室もしくは医局			
14	内科学第二	5月26日 (金)	18:45~19:45	臨床棟5F第二内科医局			
15	内科学第三	5月23日(火)	18:00~19:00	臨床外来棟4F第三内科医局カンファレンス室			
16	精神医学	5月31日 (水)	17:00~18:30	臨床棟6F精神科研究室			
17	小児医学	5月19日(金)	18:30~20:30	臨床棟2F小児医学教室図書室			
18	皮膚科学	5月25日 (木)	18:30~19:30	臨床棟7F皮膚科医局			
19	画像医学	6月2日 (金)	18:00~20:00	臨床棟2F画像医学教室医局			
20	外科学【消化器・移植・小児外科学分野】	5月11日(木)	18:30~19:00	臨床棟6F医局またはカンファレンスルーム			
21	外科学【心臓血管外科学分野】	5月17日(水)	18:00~	臨床棟7F外科学教室内カンファレンスルーム			
22	運動機能学	6月2日(金)	18:00~19:00	附属病院 5 Fレストランソレイユ			
23	脳神経外科学	5月25日 (木)	18:00~19:00	臨床研究棟4F脳神経外科学教室医局ホール			
24	歯科口腔外科学	5月24日(水)	18:30~19:30	基礎棟1F歯科口腔外科学教室カンファレンスルーム			
25	泌尿器科学	6月2日(金)	18:00~20:00	臨床棟4F泌尿器科医局カンファレンスルーム			
26	眼科学	5月19日(金)	16:00~16:30	臨床棟5F眼科学教室プロジェクトルームまたは医局図書室			
27	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	5月26日(金)	18:00~19:00	臨床棟1F耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室医局			
28	産科婦人科学	5月16日(火)	18:00~19:30	臨床棟3F産科婦人科学教室ゼミ室			
29	麻酔蘇生学	6月23日(金)	18:00~19:00	臨床棟1F麻酔科医局			
30	形成再建外科学	5月19日(金)	18:00~19:00	疾患予防西棟3F形成外科医局			
31	病態解析診断学	5月16日(火)	12:00~13:00	附属病院南中央診療棟2F臨床検査部カンファレンスルーム			
32	救急集中治療医学	6月16日 (金)	18:30~19:30	基礎東棟2Fプロジェクトルーム			
33	寄生虫感染症学	6月19日 (月)	18:00~20:00	基礎棟2F分子病理学教室または旭総合研究棟6F寄生虫学教室			
34	免疫制御学	5月29日 (月)	18:00~19:00	旭総合研究棟6F免疫制御学教室内セミナー室&会議室			
35	内科学第五	5月26日 (金)	17:30~18:00	旭総合研究棟5F循環器内科学教室			
36	分子病理学	6月19日 (月)	18:00~20:00	基礎棟2F分子病理学教室または旭総合研究棟6F寄生虫学教室			
37	循環病態学	6月8日(木)	18:00~19:00	旭総合研究棟9F講義室C			
38	地域医療推進学	5月29日 (月)	17:30~19:00	基礎棟4Fミーティングルーム(3)			
39	再生医科学	6月6日(火)	12:15~13:15	旭総合研究棟8F再生医科学教室会議室			
40	外科学【乳腺内分泌外科学分野】	※日程調整中					
41	内科学第四	5月30日(火)	18:00~19:00	臨床外来棟1F内科学第4教室図書室			
42	国際交流推進学	※日程調整中					
43	分子医化学	5月22日 (月)	18:30~	基礎棟4Fミーティングルーム(3)			
44	外科学【呼吸器外科学分野】	5月31日 (水)	12:00~13:10	臨床棟7F カンファレンスルーム			

[※]日程調整中の教室については別途、教室から連絡がいきますのでご確認ください。

2023年 秋のグループ懇談会 日程一覧

グループ 番 号	教室名	懇談会 開催日	時間	場所				
1	子どものこころ発達医学	11月7日(火)	18:30~20:00	附属病院外来棟 4 F研修室3, 4, 5				
2	人体構造学	11月2日 (木)	12:00~12:30	基礎棟 4 F ミーティングルーム (3)				
3	分子病態学	11月21日(火)	18:00~19:00	附属病院 5 Fレストランソレイユ				
4	分子細胞生理学	10月24日(火)	18:00~19:00	基礎棟3Fミーティングルーム(2)				
5	血液・腫瘍内科学	10月17日(火)	12:00~13:00	血液・腫瘍内科学教室医局カンファレンスルーム				
6	分子薬理学	11月17日(金)	18:00~20:00	基礎棟2F分子薬理学教室セミナー室				
7	薬剤部	10月23日 (月)	17:00~18:00	附属病院 5 Fレストランソレイユ				
8	病理組織学	9月29日(金)	18:00~19:30	基礎棟3Fミーティングルーム(2)				
9	免疫・微生物学	10月12日(木)	17:30~19:00	基礎棟4Fミーティングルーム(3)				
10	遺伝医学	10月2日 (月)	12:15~12:45	基礎棟3Fミーティングルーム(2)				
11	衛生学公衆衛生学	※日程調整中						
12	法医学教室	10月13日 (金)	18:00~19:00	基礎棟 3 F ミーティングルーム(2)				
13	内科学第一	10月6日 (金)	18:00~19:30	臨床棟4F第一内科医局・ゼミナール室(予定)				
14	内科学第二	2月16日 (金)		臨床棟 5 F第二内科医局				
15	内科学第三	10月31日 (火)	18:00~	臨床外来棟4F第三内科医局カンファレンス室				
16	精神医学	11月29日(水)	17:00~18:30	臨床棟 6 F精神科プロジェクトルーム				
17	小児医学	12月1日 (金)	18:30~20:30	臨床棟 2 F小児医学教室医局図書室				
18	皮膚科学	9月28日 (木)	18:30~	臨床棟7F皮膚科医局				
19	画像医学	11月24日(金)	18:00~	臨床棟 2 F画像医学教室医局				
20	外科学【消化器・移植・小児外科学分野】	12月21日 (木)	18:00~	臨床棟 6 F消化器・移植・小児外科医局				
21	外科学【心臟血管外科学分野】	10月17日(火)	18:00~	医局カンファレンスルーム				
22	運動機能学	11月14日(火)	18:00~19:00	附属病院 5 Fレストランソレイユ				
23	脳神経外科学	11月2日 (木)	17:30~18:30	臨床研究棟 4 F脳神経外科学教室医局ホール(医学部図書館東側)				
24	歯科口腔外科学	10月25日 (水)	18:00~19:00	基礎棟1F歯科口腔外科学教室カンファレンスルーム				
25	泌尿器科学	10月20日 (金)	18:00~	臨床棟4F泌尿器科医局カンファレンスルーム				
26	眼科学	10月27日(金)	18:00~					
27	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	11月15日(水)	17:30~18:30	臨床棟 1 F耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室医局				
28	産科婦人科学	10月31日(火)	18:00~20:00	臨床棟3F産科婦人科学教室ゼミ室				
29	麻酔蘇生学	10月26日(木)	18:00~20:00	臨床棟1F麻酔科医局				
30	形成再建外科学	10月3日(火)	18:00~19:00	疾患予防西棟3F形成外科医局カンファレンスルーム				
31	病態解析診断学	10月17日(火)	12:00~13:00	附属病院南中央診療棟 2 F臨床検査部カンファレンスルーム				
32	救急集中治療医学	11月24日(金)	18:00~19:00	基礎東棟2Fプロジェクトルーム				
33	寄生虫感染症学	11月17日(金)	18:00~20:00	旭総合研究棟 6 F会議室				
34	免疫制御学	11月10日(金)	18:00~	旭総合研究棟 6 F会議室				
35	内科学第五	10月18日(水)	17:30~18:10	旭総合研究棟 5 F循環器内科学教室・会議室				
36	分子病理学	11月17日(金)	18:00~20:00	旭総合研究棟 6 F会議室				
37	循環病態学	10月5日 (木)	18:00~19:00	旭総合研究棟 9 F講義室C				
38	地域医療推進学	11月1日(水)	17:30~19:00	基礎棟 3 F ミーティングルーム(2)				
39	再生医科学	10月4日(水)	12:15~13:15	旭総合研究棟 8 F再生医科学教室会議室				
40	外科学【乳腺内分泌外科学分野】	※日程調整中						
41	内科学第四	10月6日 (金)	17:00~18:00	臨床外来棟1F內科学第4教室医局図書室				
42	国際交流推進学	※日程調整中						
43	分子医化学	11月10日(金)	18:30~	基礎棟4Fミーティングルーム (3)				
44	外科学【呼吸器外科学分野】	10月24日(火)	18:30~	臨床棟7F呼吸器外科医局				
		•						

[※]日程調整中の教室については別途、教室から連絡がありますのでご確認ください。

27. 教室連絡先

(R5.4.1現在)

			(R5. 4. 1現在)
	教室名	電話番号	教授氏名(敬称略)
1	分子病理学教室	0263-37-3395	
2	循環病態学教室	0263-37-2578	新藤隆行
3	スポーツ医科学教室	0263-37-2682	増 木 静 江
4	組織発生学教室	0263-37-2590	
5	人体構造学教室	0263-37-2593	福島菜奈恵
6	分子病態学教室	0263-37-2595	沢村達也
7	分子細胞生理学教室	0263-37-3775	田渕克彦
8	分子医化学教室	0263- 37- 3296	平 塚 佐千枝
9	分子薬理学教室	0263- 37- 2606	山 田 充 彦
10	病理組織学教室	0263- 37- 2607	菅 野 祐 幸
11	寄生虫感染症学教室	0263- 37- 2626	髙本雅哉
12	免疫・微生物学教室	0263-37-2615	
13	免疫制御学教室	0263-37-2612	
14	遺伝医学教室	0263-37-2618	古 庄 知 己
15	衛生学公衆衛生学教室	0263- 37- 2622	野見山 哲 生
16	法医学教室	0263-37-3218	浅 村 英 樹
17	再生医科学教室	0263-37-3535	柴 祐 司
18	内科学第一教室	0263-37-2631	花 岡 正 幸
19	内科学第二教室	0263-37-2634	梅村武司
20	内科学第三教室	0263- 37- 2673	関島良樹
21	内科学第四教室	0263-37-2686	駒 津 光 久
22	内科学第五教室	0263-37-3194	桑 原 宏一郎
23	精神医学教室	0263-37-2638	鷲 塚 伸 介

	教室名	電話番号	教授日	モ名	(敬和	尔略)
24	子どものこころ診療部	0263-37-2638	本	田	秀	夫
25	小児医学教室	0263-37-2642	中	沢	洋	=======================================
26	皮膚科学教室	0263-37-2647	奥	Щ	隆	平
27	画像医学教室	0263-37-2650	藤	永	康	成
28	外科学 消化器・移植 ・小児外科学分野	0263-37-2654	副	島	雄	<u>-</u>
29	外科学 心臟血管 外科学分野	0263-37-3577	瀬	戸	達-	一良区
30	外科学 呼吸器 外科学分野	0263-37-3576	清	水	公	裕
31	外科学 乳腺内分泌 外科学分野	0263-37-2657	伊	藤	研	_
32	運動機能学教室	0263-37-2659	髙	橋		淳
33	脳神経外科学教室	0263-37-2690	堀	内	哲	吉
34	歯科口腔外科学教室	0263-37-2677	栗	田		浩
35	泌尿器科学教室	0263-37-2661				
36	眼科学教室	0263-37-2664	村	田	敏	規
37	耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室	0263-37-2664	-	Г	看	É
38	産科婦人科学教室	0263-37-2719	塩	沢	丹	里
39	麻酔蘇生学教室	0263-37-2670	وَاال	真田	樹	人
40	形成再建外科学教室	0263-37-2833	杠		俊	介
41	病態解析診断学教室	0263-37-2805				
42	救急集中治療医学教室	0263-37-3018	今	村		浩
43	地域医療推進学教室	0263-37-2548				
44	血液・腫瘍内科学教室	0263-37-2554				
45	附属病院 総合診療科	0263-37-3591	関	П	健	<u>-</u>
46	薬剤部	0263-37-3021	内	藤	隆	文
47	国際交流推進室	0263-37-2354	田	中	直	樹
48	医学教育研修センター	0263-37-3118				

25. 学生相談窓口について

医学部医学科では皆さんの悩みに応える学生支援体制を組んでいます。

☆担任制度

医学科の全学生にはクラス担任がいます。何でも気軽に相談してください。

☆学業で困っている人は医学教育研修センターへ

森 淳一郎 (臨床外来棟3階 医学教育研修センター)

電話:0263-37-3118

e-mail: jimori@shinshu-u.ac.jp

☆健康・メンタルヘルス・心や体の相談 (カウンセリング) は総合健康安全センターへ

電話:0263-37-2157

☆学生相談センター 全学教育機構南校舎1階

電話:0263-37-3165

e-mail: nandemo@shinshu-u.ac.jp

☆セクハラ、アカハラ、パワハラで困っている人はハラスメント相談員へ

詳細は次項をご覧ください。

☆その他どんな悩みごとでも学務・臨床研修グループへ

(学生委員会等と連携し対応いたします。)

基礎医学研究棟1階 学務第1係

電話:0263-37-3250

e-mail: igakumu01@shinshu-u.ac.jp

開講年度: 2023				(10.00.27) 資料
科目名	医学概論 I	題目(副題)	早期休驗	医学の歩みと未来を考える
71 11 71	Overview of Medicine 1		十-2911十-40大	区子の少のこれれを与える
担当教員、教員連絡先内線	森 淳一郎 田中 直樹		森淳一郎	3 (5821)
学年、講義期間、曜日・時限	1年次 通年	月曜,3時限土	雇, 午後 (13:	00-17:50)
単位数、講義室	2 単位	医学科第2実習	 室	
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針	+」要素 ↔	授業達成目	標(一般学修目標GI0)
	M23カリ・医学 《基礎的・専門的な知識と技能≫疾病の正確ル適切な治療を遂行するための幅広い知識と高を修得している。 《プロフェッショナリズム≫温かい人間性や観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の展のために行動できる。	度な技能 ⇔ い知識 高い倫理 温かい	せい 表表 と 高度な技能を と 高度な技能を と あんぱん しゅう	適切な治療を遂行するための幅広 を修得している。 倫理観を裏付ける幅広い教養を身 な発展のために行動できる。
臨床実習前の到達目標	・医学・医療の歴史的な流れ、臨 範を概説できる。 ・患者の基本的権利、自己決定権 の意義と必要性を説明できる。 ・患者のプライバシーに配慮し、 ・必要な課題を発見し、他の学習 ことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを ・必要最低限の病歴を聴取し、基 ・必要最低限の病歴を聴力法とが ・良好な人間関係を築くことの重 ・患者・家族に共感することの重 ・災害医療を説明できる。 ・研究は医学・医療の発展や患者 ・生命科学の講義や実習から得 ることができる。 ・生涯学習の重要性を説明でき、 ・信州の医療圏の特徴を説明でき、 ・信州の医療圏の特徴を説明でき	の意義、患者の価 守秘義務の重要性 者や教員と協力し 基に、自らの考察を 能およびその及ぼ を能およびそのとでででいて概説 の権利の増進のた でなり体にのが増進のた の権情報や知識を をは続め学習に必要	値観、イン: を説明 できっこと でまる。 かに疾患の! ないにない かにない かにない かにない かんに かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	フォームドコンセントなど る。 具体的な解決方法を見出す ができる。 できる。 説できる。 出てとを説明できる。 理解・診断の深化につなげ
授業のキーワード	医学概論講義:科学と医術,医学 医療経済,医療と安全,医師の使 早期体験実習:医療・介護・福祉 ーション,人間の尊厳,信州,フ 信州大学の基礎研究を知る 自分の取り得るキャリアについて 実務経験のある教員による授業科	命,地域医療, ,高齢者,重症心 ィールド学習 知る。		
個別行動目標SBO s (授業の概要)	A-1-1)医療と医学研究における倫理 A-1-2) 患者及びその家族の秘密を者の安全を最優先し、常に患者中 A-2-1)自分の力で課題を発見し、ける。 A-4-1)、患者やその家族との対話・ョン能力について概説できる。 A-4-2)患者の個別的背景を理解し、A-7-1)地域医療・地域保健の在り、A-8-1)医学・医療の進歩と改善に入る-9-1)生涯にわたり自己研鑽を続いるーラ)生活習慣とそのリスクについるB-1-6)個体及び集団をとりまく環境のいて概説できる。B-1-7)地域医療・地域保健の在り、B-1-8)保健・医療・福祉・介護のF-2-16)緩和ケアについて概説できる早期体験実習:	守り、医師の義系 心の立場に立よって 自己学習により を通じて、良田現状との大きで を通じでは、大変には を通じでは、大変に がいたとのででで ででででででででででででででででででででででででででででででででで	5や医療倫理 との重要解決 との重要解決 人間関係のですで 人間関係のですで を遂ですて は でするが は できるが は できるが は できるが は できるが は のできるが は のできるが は のできるが は のできるが は ので も ので も の の の の も の も の も の も の も の も	を遵守するとともに、患こついて概説できる。 するための能力を身に付 楽くためのコミュニケーシ 要性を概説できる。 る。 意欲を身に付ける。 党できる。 建康と社会生活への影響に 党できる。
テキスト,教材,参考書	1) 礼儀正しく患者(施設利用者 2) 礼儀正しく謙虚に職員と接す 3) 患者の苦痛や障害に配慮でき 4) 患者・障害者の人格を尊重し 5) 高齢者介護や障害者医療にお その他の参考図書は講義の際に適	ることができる. る. た人間関係を築く けるチーム連携に 宜紹介する.	ことができ [,] ついて説明 [*]	る. できる.
履修上の注意	医学概論の中間部分で行なわれる	日期休除宝羽は	信用大学のI	至学部生の埓束のために

履修上の注意	各施設の皆様のご理解とご指導により成り立っていることを深く認識し、謙虚な気持ちで 実習させて頂く姿勢を忘れないで頂きたい.
	講義、実習のいずれについても、遅刻や無断欠席など社会規範を遵守しない態度は許されない.
	講義室は、第2実習室を使用する. 個々の日程と講義室については教員からその都度連絡する.
授業の形式, 視聴覚機器等の活 用	医学概論講義:パワーポイントなどを用いた講義形式およびグループ討論.
	早期体験実習:各施設において終日実習を行う.
成績評価の方法	期末試験を40点、授業中の小レポート等40点、早期体験実習20点、教員評価を10点とし、 合計点にて評価を行う。ただし、合計点は100点は超えないものとする。
	※なお、何らかの理由により、早期体験実習ができない時には期末試験を60点とする。
	期末試験では、各授業日に掲げてある内容を達成しているかをはかる。 小レポートは、各授業後に、授業内容について再度考えることを促す内容とする。
	【全体を通して】 専門家の話を聞いて、自身の問題として考えることを促すことを重視する授業となっていることから、学外講師の授業については参加必須とし、学外講師の授業を欠席する毎に成績から3点減点する。
成績評価の基準	早期体験実習の発表およびレポートをふくめ、授業への取り組み状況、期末試験、レポートおよび発表の内容により評価する. 小レポートは、各授業後に、授業内容について再度考えることを促す内容とする。
	合計が60点未満は不可とする。
事前事後学習の内容	課題については、授業中、指示をする。
	本授業の単位修得には22.5時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー (質問,相談への対応)	
	連絡先:森淳一郎(医学教育研修センター:内線5821、jimori@shinshu-u.ac.jp) 田中直樹(国際交流推進室:naopi@shinshu-u.ac.jp)

授業日 講義室 GIO	第1回 4月10日(月3) 図学科第2実習宝 修学ガイダンス/ 「健康」について考える	SB0s	B-1-6) ①健康(健康の定義)、障害と疾病の概念と社会環境を説明できる。 ②社会構造(家族、コミュニティ、地域社会、国際化)と健康・疾病との関係(健康の社会的決定 要因(social determinant of health))を概説できる。
担当			○ WHO (世界保健機構)が示す健康の定義とその内容を説明できる。○ 現代および将来の医学が求めるべき「健康」について自分の考えを述べることができる。
-	# 0 P 4 P 1 E P (P 0)	ane	
授業日	第 2 回 4月17日(月 3) 医学科第 2 実習室	SBOs	[A-6-1] 安全の確保 [A-6-1] 安全の確保 [A-6-1] [
講義室 GIO	○ 原文中部2 美質章 「感染症」について学ぶ	_	A-6-3) 医療従事者の健康と安全 E-2-4) 院内感染 ①標準予防策
担当	金井 信一郎 (感染制御室)		○感染症蔓延予防についての基本的な知識を習得する。
授業日	第 3 回 4月24日(月 3)	SB0s	
講義室 GIO	医学科第2実習室 日本の医療システムを理解する	-	①日本における社会保障制度と医療経済(国民医療費の収支と将来予測)を概説できる。 ②医療保険、介護保険及び公費医療を概説できる。 ⑧医療における費用対効果について概説できる。 ⑨医療資源と医療サービスの価格形成を概説できる。診療報酬制度を概説できる。
担当	野見山哲生 (衛生学公衆衛生学)		
授業日	第 4 回 5月 1日(月 3)	SB0s	
講義室 GIO			①医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ③ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規 範を概説できる。
担当	福嶋義光 (遺伝医学)		○ 先端医療技術に関連した生命倫理学的問題について自分の考えを述べることができる。
42 42 14 1		SB0s	A-2-1) A-8-1) A-9-1)
講義室 GIO	医学科第2実習室e-Learning を用いた医学英語、 オンライン国際共修(COIL) のガイダンス	-	 基礎的な医学英単語のルール (スペル、発音、接頭辞・接尾辞)を学ぶ。 ○ e-Learningシステム (ALC NetAcademy NEXT) 教材を用いた医学英語勉強法について、説明する。 ○ 夏休み明けのオンライン国際共修 (COIL) について、説明する。
担当	田中直樹(国際交流推進室)		○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
	第 6 回 5月15日(月 3)	SBOs	B-1-6)
講義室	医学科第2 実習室 リハビリテーションとノーマ	3503	①障害と疾病の概念と社会環境(機能障害、活動制限、参加制約、生活の質⟨QOL⟩、ノーマライゼーション、バリアフリー、 ユニバーサルデザイン等)を説明できる。
GIO	ライゼーションを理解する。		 ○ リハビリテーションのアプローチを説明できる。 ○ リハビリテーションにおけるチーム医療と役割分担について説明できる。
担当	木村貞治 (保健学科)	1	○ノーマライゼーションの概念を説明できる。○ノーマライゼーションにおける医療者と社会の役割について自分の考えを述べることができる。
42 -21 -	第7回 5月22日(月3)	SB0s	
講義室 GIO	医学科第2実習室 長野県の地域医療と信州大学 の取り組みを知る	_	①地域社会(へき地・離島を含む)における医療の状況、医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状を概説できる。 ④かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。
			○わが国の地域医療の現状と課題を述べることができる。 ○長野県の地域医療推進に対する信州大学の取り組みを概説することができる。
担当	中澤勇一 (地域医療推進学)		○地域医療と集中型先進医療の両者の重要性について自分の考えを述べることができる。
	第 8 回 5月29日(月3)	SB0s	
講義室 GIO	<u>医学科第2実習室</u> 救急医学を学ぶ	-	⑤地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
担当	今村 浩 (救急集中治療医学)		
授業日	第 9 回 6月 5日(月 3)	SB0s	
講義室 GIO	医学科第2実習家 救急医学・災害医学を学ぶ	_	⑤地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。 ⑥災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム <dmat>、災害派遣精神医療チーム〈DPAT〉、日本医師会災害医療チーム〈JMAT〉、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。</dmat>
#0.7V	白子 隆志 (飯田市立病院)	-	○災害時、非常時における医師の使命について自分の考えを述べることができる。
担当		l and	D + 5)
授業日	第 10 回 6月12日(月 3) ^{医学科第 2} 集習室	SB0s	B-1-7) ③地域における、保健(母子保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を
GIO	「新しい生命を育む医療」につ いて理解する		含む)の連携の必要性を説明できる。 ○超低体重出生児を救う第一線の医療の最近の成果について説明できる.
+11 11/	中村友彦(長野県立こども消突総合周産郷母子恢療セケー長		○それが患者および家族にとってどのような福音となるか説明できる。 ○今後の医療の発展について自分の考えを述べることができる。
担当)		

極紫口	第 11 回 6月19日(月 3)	SPOs	A-1-2)
講義室	展学科第2東晋宝 医師の責務と裁量について考える。 早期体験実習準備	SDUS	①リスポン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 ②患者の自己決定権の意義を説明できる。 ③選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 ④インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。
			A-1-3) ②患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを説明できる。 ③医師が患者に最も適した医療の考え方を概説できる。 ④医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。
			早期体験実習は9月初旬から中旬にかけて2班に分かれて行う. 実習施設は医学概論の講義の際に各自の希望を優先して学生の委員が調整する. 今年度の実習施設については後日通知する. 実習に際しては現地集合,現地解散が原則となる. 学生保険に加入していることが前提となる.
			[第1班 9月6日 (月) 9:00- 第1講義室に集合・事前の注意/13:00-17:00 実習施設でオリエンテーション・実習 9月7日 (火) ~10日 (金) おおむね9:00-17:00 実習施設で実習]
	森 淳一郎	-	[第2班 9月13日 (月) 9:00- 第1講義室に集合・事前の注意/13:00-17:00 実習施設でオリエンテーション・実習 9月14日 (火) ~17日 (金) おおむね9:00-17:00 実習施設で実習]
担当	探 停一以		
授業日	第 12 回 6月26日(月3) 医学科第 2 実習室	SB0s	F-2-16) ①緩和ケア (緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む)を概説できる。
研疫生 GIO	緩和ケアを理解する	-	① 飯柏グノ 「飯柏グノラーム、ホスピス、飯柏グノ 病保、任宅飯柏グノ を含む) を概認できる。② 金人的苦痛を概説できる。③ 緩和ケアにおける心理社会的苦痛を概説できる。A-4-1)
			①コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。
担当	山田祐司 (愛和病院)	1	○Bad News を伝える方法としての SPIKES を説明できる。
授業日	第 13 回 7月 3日(月 3)	SB0s	B-1-7)
講義室 GIO	医学科第2実習室 「新112件会を含む医療」につ		③地域における、保健(母子保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(
GIO	「新しい生命を育む医療」について理解する2		行政を含む)の連携の必要性を説明できる。
担当	菊地範彦 (産婦人科学)		
		SB0s	A-2-1) A-8-1) A-9-1)
講義室 GIO	E学科第2実習室 e-learningを用いた医学英語		① e-Learningシステム (ALC NetAcademy NEXT) を用いて、指定されたセクションをオンデマンドで自習してくる。確認の小テストあり。
010	1		② 自習内容のアウトプットとして、お互いにロールプレイ形式で確認し、最後に全員で復習、まとめ、次回の課題を確認する。 ③ オンライン国際共修(COIL)の準備を行いたい。
	オンライン国際共修(COIL) の準備 		○ 基礎的な医学英単語(スペル、発音、接頭辞・接尾辞)をマスターする。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。
担当	森 淳一郎,田中 直樹	1	○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
授業日		SB0s	A-2-1) 課題探求・解決能力
講義室 GIO	医学科第2実習室 【早期体験実習の発展学習】	}	①必要な課題を自ら発見できる。
GIO	早期体験実習で学んだ内容をもとに、 ブレゼンテーションの基礎を身に付ける。		②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができ
	【基礎医学教室訪問】※参加必須 基礎医学教室訪問に向けたグループ		る。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-4-1) コミュニケーション
	分けと準備を行う。		②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
	e-Learning を用いた医学英語① オンライン国際共修 (COIL) の準備		
担当	森淳一郎, 田中直樹 (国際交流推進室)		
授業日	第 16 回 10月 2日(月 3)	SB0s	A-2-1) A-8-1) A-9-1)
講義室 GIO	医学科第2実習室 e-Learning を用いた医学英語	1	① e-Learningシステム (ALC NetAcademy NEXT) を用いて、指定されたセクションをオンデマンドで自習してくる。確認の小テストあり。
	2		・
	オンライン国際共修(COIL) の準備		 ○ 基礎的な医学英単語(スペル、発音、接頭辞・接尾辞)をマスターする。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。
担当	田中直樹(国際交流推進室),森淳一郎		○ 医子編文・レホートの構成を理解し、サマリーや簡単な医子編文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
授業日	第 17 回 10月16日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室 GIO	医学科第2実習室 オンライン国際共修 (COIL)	-	① 1年生を3グループに分け、グループ1が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州(日本)と
910	A フ		協定校 (海外) との違いを英語で討論・自己学習する。 ② 発表にむけて、プレゼンテーションの準備を行う。 ③ 残りのグループは講義時間を早期体験実習の発表準備(森先生)、e-Learningシステムを用いて医学英語の学習を行う。
			○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。
担当	田中直樹、森淳一郎(医学教育研修センター)	_	※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。

極紫口	第 18 回 10月23日(月 3)	CDO-	A-2-1)
技来口	第 10 回 10月 23 口 (月 3) 医学科第 2 実習室	SBOS	① グループ1が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。
GIO	COILグループ1 発表会		○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。
			○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。
担当	川中直樹(国際交流推進室)、森淳一郎(医学教育研修センター)		※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
授業日	第 19 回 10月30日(月3) 医学科第 2 実習室	SB0s	A-2-1)
講義室 GIO	医学科第2実育室 オンライン国際共修(COIL) ②	-	 ① 総いてグループ2が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州(日本)と協定校(海外)との違いを英語で討論・自己学習する。 ② 来週の発表にむけて、1週間かけてプレゼンテーションの準備を行う。 ③ 残りのグループは、医学英語オンデマンド教材で自習する。
			○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。
担当	田中直樹 (国際交流推進室) 、森淳一郎 (医学教育研修センター)		※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
授業日	第 20 回 11月 4日(土午後)	SB0s	早期体験実習のまとめとして、施設ごとのグループに分かれて実習で学んだことの発表を行
講義室 GIO	医学科第2実習室 早期体験実習成果発表会 13時~		う. 司会や進行,来賓の招待などすべて学生の運営による。 場所: 旭総合研究棟9階A/B講義室(予定) レポートを提出し報告書を作成する. この編集も学生が行う。
	【土曜日であることに留意すること】		
担当	田中直樹(国際交流推進室)、森淳一郎(医学教育研修センター)		
授業日	第 21 回 11月 6日(月 3) 医学科第 2 実習室	SB0s	A-2-1)
GIO	COILグループ2 発表会		① グループ2が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。
			○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。
担当	田中直樹(国際交流推進室)、森淳一郎(医学教育研修センター)		※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
授業日	第 22 回 11月13日(月 3) 医学科第 2 実習室	SB0s	
GIO	オンライン国際共修 (COIL) ③		 ① 最後にグループが済外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州(日本)と協定校(海外)との違いを英語で討論・自己学習する。 ② 来選の発表にむけて、1週間かけてプレゼンテーションの準備を行う。 ③ 残りのグループは、医学英語オンデマンド教材で自習する。
			○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。
担当	田中直樹(国際交流推進室)、森淳一郎(医学教育研修センター)		※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
授業日	第 23 回 11月20日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室 GIO	医学科第2実習室 COILグループ3 発表会		① グループ3が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。
	※基礎教室訪問、事前課題の提出締め切り日		○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。
担当	田中直樹 (国際交流推進室) 、森淳一郎 (医学教育研修センター)		※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
授業日	第 24 回 11月27日(月 3)	SB0s	【教室訪問日】
講義室 GIO	医学年第2ま習室 【基礎医学について知る】 基礎医学教室訪問で学んだ内容をも とに、基礎医学についての理解を深 める。	-	担当する教室への訪問のみ。教室に集合する必要はありません。
担当	森淳一郎 (医学教育研修センター)	-	
授業日	第 25 回 12月 4日(月 3)	SB0s	A-8-1)
講義室 GIO	医学科第2実習家 海外研究留学の勧め: ノーベル賞 受賞者 オルター先生との共同研究 の思い出 —C型肝炎ウイルス発見の 恩恵は計り知れない—	-	A-9-1) ① 医学研究の楽しさ、海外の研究者との交流が人生の財産となることを理解してほしい。 ② 信州や日本にとどまらず、グローバルに活躍する気持ちを持ってほしい。
担当	清澤研道先生(信州大学名誉教授)、田中直樹〈国際交流 推進室〉		
授業日	第 26 回 12月11日(月 3)	SB0s	各グループパワーポイント3枚以内、3分以内で発表を行う。当日までにグループ毎にパワー
講義室 GIO	医学科第2実習室 【基礎医学について知る(発表会)】 基礎医学教室訪問で学んだ内容をもと に、基礎医学についての理解を深める。	-	ポイントを用意すること。 以下を必ず入れること。 ・教室の主な研究概略 ・研究室の様子や雰囲気
担当	森淳一郎(医学教育研修センター)		

授業日 講義室 GIO 担当	第 27 回 12月18日(月 3) 医学科第2実習室 【医療行政職について知る】 自身がとり得る職業の一つとして、 医療行政職とはどんな職業かを知る。 森 淳一郎	SB0s	○厚生労働省の機能と役割について概説できる。
授業日 講義室 GIO 担当	第 28 回 12月25日(月3) 医学科第2実習家 【キャリアパス】 医師の使命とキャリアパスについて考える。 森 淳一郎、田中 直樹	SB0s	①キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。○医師の使命とやりがいについて説明できる。○生涯学習について考える。○医師のパーソナルライフについて考える。
授業日 講義室 GIO 担当	第 29 回 1月15日(月 3) 医学科第 2 実習室 【コミュニケーション概論】 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションについて考える。 森 淳一郎	SB0s	A-4-I) ①コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築ことの重要性を説明できる。 ③傾聴と共感について説明できる。
授業日 講義室 GIO	第 30 回 1月22日(月 3) 医学科第2実習家 【医師について考える】 医師とはどのような職業であるかを知り、心構えやそれまでに身に付けておくべき事柄について理解する。 授業アンケートを実施する 森 淳一郎	SB0s	A-9-1) 生涯学習への準備 ②生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ③キャリア開発能力を獲得する。 A-4-1) コミュニケーション ③患者・家族の話を傾聴し、共感することの必要性を概説できる。 A-4-2) 患者と医師の関係 ①患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮することの必要性を説明できる。 ③患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握することの必要性を説明できる。 A-4-2) ④医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 A-9-1)

令和5年度入学生

進級・卒業判定の基準について

【1年次生】

- 進級判定の資料
 - 共通教育科目の単位取得状況
 - 専門科目の成績
- 進級の条件 次のすべての条件を満たすこと

条件1:共通教育科目の単位数が基準を満たしていること。

条件2:専門科目の単位をすべて取得すること。

【2年次生】

- 進級判定の資料
 - 共通教育科目の単位取得状況
 - 専門科目および臨床総合試験の成績
- 進級の条件 次の条件を満たすこと

条件1:取得すべき科目の必要単位数を満たしていること。

条件2:臨床総合試験に合格すること。

【3年次生】

- 進級判定の資料
 - 専門科目および臨床総合試験の成績
- 進級の条件 次のすべての条件を満たすこと

条件1:専門科目の単位をすべて取得すること。

条件2:臨床総合試験に合格すること。

【4年次生】

- 進級判定の資料
 - 専門科目および臨床総合試験の成績
- 進級の条件 次の条件をすべて満たすこと

条件1:専門科目の単位をすべて取得すること。

条件2:共用試験(OSCEとCBT)、臨床総合試験に合格すること。

【5年次生】

- 進級判定の資料
 - 臨床実習、Midterm OSCE、臨床総合試験の成績

○ 進級の条件 次の条件をすべて満たすこと

条件1:臨床実習をすべて修了すること。

条件2: Midterm OSCE、臨床総合試験に合格すること。

【6年次生】

○ 卒業判定の資料

■ 臨床実習終了後 OSCE、選択臨床実習、すべての試験の成績

○ **卒業の条件** 次の条件をすべて満たすこと

条件1:選択臨床実習をすべて修了すること。

条件2:すべての試験に合格すること。

臨床総合試験の扱いについて

○ 学生は、原則として当該学年のすべての試験に合格することが求められる。

○ 臨床総合試験の得点が合格ラインに達していない場合や不合格となった専門科目がある場合には、当該科目の得点や実習、その他の試験の成績を勘案し、進級・卒業を総合的に判断する。

再試験制度について

- 担当教員が必要と認める場合は再試験を1回行う。
- 科目によっては臨床総合試験をもって再試験とする。
- 臨床総合試験をもって再試験とする科目については、別途通知する。

留年生の履修について

- 進級・卒業判定で進級・卒業が不可となった学生は、次年度、不可となった専門科目を再履修するとともに、原則としてすべての専門科目(ただし、医学概論 II など経験することが求められる課程を除く)を再受講する必要がある。
- 留年生は、医学教育研修センター教員、グループ担当教員、不可となった授業科目の担当教員と個別面談を行い、留年期間中の学習について、 以下の項目を明記した学習計画書を作成し、学務第1係に提出する。
 - ・不可となった授業科目の学習計画について。
 - ・不可となった科目以外の専門科目で再受講を希望する科目について。
 - ・留年期間中の生活について。

27. 学生相談窓口について

医学部医学科では皆さんの悩みに応える学生支援体制を組んでいます。

☆担任制度

医学科の全学生にはクラス担任がいます。何でも気軽に相談してください。

☆学業で困っている人・障がいがあり、学習支援を希望する人は医学教育研修センターへ

森 淳一郎 (臨床研究棟3階 医学教育研修センター)

電話:0263-37-3118

e-mail: jimori@shinshu-u.ac.jp

☆留学生の方で学業等について相談したい人は国際交流推進室へ

田中 直樹 (臨床研究棟3階 国際交流推進室)

電話:0263-37-2354

e-mail: naopi@shinshu-u.ac.jp

☆健康・メンタルヘルス・心や体の相談(カウンセリング)は総合健康安全センターへ

電話: 0263-37-2157

☆医学部以外に相談したい場合は学生相談センターへ 共通教育第1講義棟南校舎1階

電話: 0263-37-3165

e-mail: nandemo@shinshu-u.ac.jp

☆セクハラ、アカハラ、パワハラで困っている人はハラスメント相談員へ 詳細は次項をご覧ください。

☆その他どんな悩みごとでも学務・臨床研修グループへ

(学生委員会等と連携し対応いたします。)

基礎医学研究棟1階 学務第1係

電話:0263-37-3250

e-mail: igakumu01@shinshu-u.ac.jp

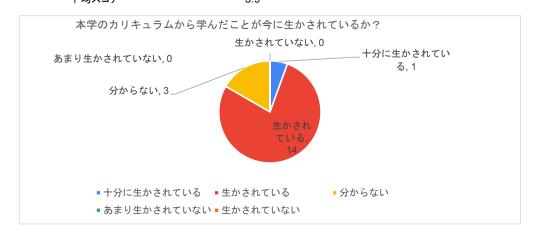
諏訪赤十字病院 長野赤十字病院 信州大学附属病院 伊那中央病院	5 5 4 4 4 3
信州大学附属病院 伊那中央病院	4 4 3
伊那中央病院	4 4 3
	3
	3
信州上田医療センター	
浅間総合病院	3
長野中央病院	
南長野医療センター篠ノ井総合病院	3
まつもと医療センター	2
横浜栄共済病院	2
君津中央病院	2
江南厚生病院	2
済生会習志野病院	2
埼玉医科大学総合医療センター	2
三井記念病院	2
千葉大学医学部附属病院	2
相澤病院	2
筑波大学附属病院	2
長野市民病院	2
東京大学医学部附属病院	2
平塚共済病院	2
北アルプス医療センターあづみ病院	2
いなべ総合病院	1
さいたま市民医療センター	1
愛知医科大学病院	1
安城更生病院	1
安曇野赤十字病院	1
越谷市立病院	1
遠州病院	1
横浜労災病院	1
岡崎市民病院	1
岡谷市民病院	1
沖縄県立南部医療センター	1
海南病院	1
海浜病院	1
刈谷豊田総合病院	1
関東労災病院	1
丸の内病院	1
岐阜市民病院	1
京都市立病院	1

卒後研修先(病院名)	人数
国立相模原病院	1
佐久総合病院	1
済生会横浜市南部病院	1
災害医療センター	1
埼玉医科大学病院	1
埼玉石心会病院	1
市立大町総合病院	1
春日井市民病院	1
小牧市民病院	1
松本協立病院	1
湘南東部総合病院	1
焼津市立総合病院	1
上越総合病院	1
聖マリアンナ医科大学病院	1
西神戸医療センター	1
静岡済生会総合病院	1
带広厚生病院	1
町田市民病院	1
東京医科歯科大学病院	1
東京都立駒込病院	1
東京都立多摩総合医療センター	1
東京都立大塚病院	1
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	1
飯田市立病院	1
磐田市立総合病院	1
浜松医科大学医学部附属病院(たすきがけ研修)	1
浜松医療センター	1
富士市立中央病院	1
豊田厚生病院	1
北信総合病院	1
北里大学メディカルセンター	1
名古屋市立大学病院	1
名古屋大学医学部附属病院	1
立川相互病院	1
一般企業就職	1
未定	1

卒業生との面談結果

本学のカリキュラムから学んだことが今に生かされているか?

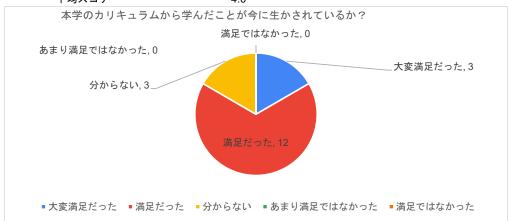
	スコア	回答数	
十分に生かされている		5	1
生かされている	4	1	14
分からない	(3	3
あまり生かされていない	2	2	0
生かされていない	•	1	0
平均スコア	3.9	9	



学生生活は満足でしたか?

	スコア	回答数	
大変満足だった		5	3
満足だった		4	12
分からない		3	3
あまり満足ではなかった		2	0
満足ではなかった		1	0





その他

卒業生: 県外出身だが、長野県を研修先に選んで満足している

研修医より:学生さんとの関わりが薄いので、研修責任者と相談してもっと関われるようにしたいと考え ています。

研修医:行きなりに対応できている。

研修医1年目のDrより、もっと学生さんと関わりたい、今後研修センター長に要望を出す予定とのこと

研修医のDrから:入職前に想像していた以上に救急外来が忙しい。やりがいはあると思う。

腎臓内科への要望が昨年度あったので、改善しているところですとのこと。(研修医の先生よりご回答頂 いた)、今後も信大卒の研修医の先生を積極的に採用したい希望がある。(指導医より)